

令和4(2022)年度

製革業実態調査報告書



令和5年3月

一般社団法人 日本皮革産業連合会

一般社団法人 日本タンナーズ協会

目 次

実態調査結果

1. 実態調査の目的と経過	1
1-1. 目 的	1
1-2. 調査要項	1
① 調査手段	1
② 調査対象	1
③ 調査項目	2
④ 調査票	2
⑤ 調査日程	2
⑥ 回収結果	2
⑦ 集計・分析	2
2. 日本の製革業者の実態	3
2-1. 従業者規模別にみる製革業者	3
2-2. 年代別・性別従業者数にみる製革業者	7
2-3. 従業者数の増減	10
2-4. なめしの区分	11
2-5. 主な使用原皮	13
3. 生産販売動向	16
3-1. 国内革種別生産販売枚数、仕向け先別生産販売（月間）動向	16
3-2. 革種による用途別、仕向け先別生産販売（月間）動向	23
3-3. 主要革種別地域別・用途別生産販売動向（詳細）	27
① 成牛革	27
② 豚 革	34
③ 山羊・羊革	38
④ 牛床革	42
4. 日本の製革業者の生産能力と生産実績	46
4-1. 生産能力と生産実績	46
① 生産能力と生産実績の経年変化及び操業率	46
② 地区別・革種別生産能力と生産実績	50
③ 革種別なめし工法・なめし製造工程比率	59

5. 日本の製革業者の経営についての意識	60
5-1. 今後の経営について	60
① 経営に対する考え方	60
② 経営に対する考え方の理由	64
5-2. インターネットの活用について	67
6. 地区別集計	72
① 松原地区	72
② 誉田地区	74
③ 沢田地区	76
④ 高木地区	78
⑤ 御着地区	80
⑥ 川西地区	82
⑦ 大阪他地区	84
⑧ 和歌山地区	86
⑨ 東京地区	88
⑩ 埼玉他地区	90
7. 巻末資料	
7-1. 生産販売実績	92
7-2. 生産実績内訳	98
7-3. なめし革輸入統計	102
調査票見本	

図表の内容

表 1 - 1. 実態調査票の回収結果	2
図 2 - 1. 従業者規模別企業数構成比（令和 4 年）	3
表 2 - 1. 従業者規模別企業数の推移（全国）	3
表 2 - 2. 従業者規模別企業数と男女別従業者数（令和 4 年）	4
図 2 - 2. 地区別 1 企業あたり平均従業者数推移	5
図 2 - 3. 地区別従業者規模別企業数構成比推移	6
図 2 - 4. 年代別従業者数比率（令和 4 年）	7
図 2 - 5. 年代別従業者数比率推移（全国）	7
表 2 - 3. 従業者年代別地区別従業者数（令和 4 年）	8
図 2 - 6. 地区別従業者年代別構成比推移	9
図 2 - 7. 従業者数の変化（全国）（令和 2 年との比較）	10
図 2 - 8. 地区別従業者数の変化（令和 2 年との比較）	10
図 2 - 9. なめし区分（全国）	11
図 2 - 10. 地区別なめし区分	12
図 2 - 11. 主な原皮使用率（全国）	13
表 2 - 4. 地区別主な使用原皮	14
表 2 - 5. 地区別主な使用原皮・令和 3 年調査結果からの増減	14
図 2 - 12. 地区別主な原皮使用率	15
図 3 - 1. 日本のなめし革総生産枚数（ひと月あたり）推移	16
図 3 - 2. 革種別生産販売枚数構成比（全国）	17
図 3 - 3. 主要革種の生産販売枚数推移	17
図 3 - 4. 仕向け先別生産販売枚数比率（全国）	18
図 3 - 5. 革種別仕向け先別生産販売枚数比率（全国）	18
図 3 - 6. 地区別生産販売革種比率	19
表 3 - 1. 革種別地区別生産販売枚数内訳	21
表 3 - 2. 主要革種による地区別生産販売枚数 4 年間対比	22
図 3 - 7. 用途別生産販売枚数構成比（全種）	23
表 3 - 3. 革種による用途別仕向け先別生産販売枚数内訳	24
図 3 - 8. 主要革種別用途構成比	25
表 3 - 4. 主要革種の用途別生産販売枚数 4 年間対比	26

図 3 - 9.	成牛革の用途別生産販売枚数推移	27
図 3 - 10.	成牛革の仕向け先別地区生産販売枚数比率	28
表 3 - 5.	成牛革の地区別生産販売枚数別企業数	28
表 3 - 6.	成牛革の地区別用途別生産販売枚数	29
表 3 - 7.	成牛革の地区別用途別生産販売枚数 (詳細)	30
表 3 - 8.	成牛革の地区別用途別生産販売枚数 4 年間対比	31
図 3 - 11.	成牛革の地区別用途別販売枚数比率	32
図 3 - 12.	成牛革の地区別仕向け先販売枚数比率	33
図 3 - 13.	豚革の用途別生産販売枚数推移	34
図 3 - 14.	豚革の仕向け先別地区生産販売枚数比率	34
表 3 - 9.	豚革の地区別用途別生産販売枚数	35
表 3 - 10.	豚革の地区別用途別生産販売枚数 (詳細)	36
図 3 - 15.	豚革の地区別用途別販売枚数比率	37
図 3 - 16.	豚革の地区別仕向け先販売枚数比率	37
図 3 - 17.	山羊・羊革の用途別生産販売枚数推移	38
図 3 - 18.	山羊・羊革の仕向け先別地区生産販売枚数比率	38
表 3 - 11.	山羊・羊革の地区別用途別生産販売枚数	39
表 3 - 12.	山羊・羊革の地区別用途別生産販売枚数 (詳細)	40
図 3 - 19.	山羊・羊革の地区別用途別販売枚数比率	41
図 3 - 20.	牛床革の用途別生産販売枚数推移	42
図 3 - 21.	牛床革の仕向け先別地区生産販売枚数比率	42
表 3 - 13.	牛床革の地区別用途別生産販売枚数	43
表 3 - 14.	牛床革の地区別用途別生産販売枚数 (詳細)	44
図 3 - 22.	牛床革の地区別用途別販売枚数比率	45
図 4 - 1.	生産能力／生産実績 (丸革・全革種計)	46
図 4 - 2.	主要革種別生産能力／生産実績 (令和 1 年～令和 4 年)	47
表 4 - 1.	革種別生産能力と生産実績の対比	49
表 4 - 2.	地区別生産能力／生産実績	50
表 4 - 3.	地区別生産能力と生産実績の 4 年間対比①	52
表 4 - 3.	地区別生産能力と生産実績の 4 年間対比②	53
表 4 - 4.	革種別生産能力と生産実績①	54
表 4 - 4.	革種別生産能力と生産実績②	55

表4-4.	革種別生産能力と生産実績③	56
表4-4.	革種別生産能力と生産実績④	57
表4-4.	革種別生産能力と生産実績⑤	58
図4-3.	革種別なめし工法比率	59
図4-4.	主要革種別なめし工程比率	59
図5-1.	経営に関する帯する考え方	60
表5-1.	経営に対する考え方・3年間回答対比	61
図5-2.	従業者規模別にみる経営に対する考え方	61
図5-3.	地区別経営に対する考え方・回答構成比	62
図5-4.	休業後の意向	63
図5-5.	経営に前向きな要因	64
図5-6.	経営に前向きな要因（関西／関東比較）	64
図5-7.	経営の不安材料	65
図5-8.	経営の不安材料（関西／関東比較）	65
図5-9.	コスト高で採算が取れない要因	66
図5-10.	ホームページ所有率	67
図5-11.	従業者規模別ホームページ所有率	68
図5-12.	ネット販売・ネットによるPR展開率	68
図5-13.	従業者規模別ネット販売・ネットによるPR展開率	69
図5-14.	販売やPRの展開ツールについて	69
図5-15.	従業者規模別ネット販売・PRの展開ツール比率	70
図5-16.	インターネットを活用した販売について	70
図5-17.	インターネットを活用した販売について（令和1年調査結果との比較）	71

実態調査結果

1. 実態調査の目的と経過

1-1. 目的

当協会が実施している実態調査事業は製革業の全容を知る上での唯一の資料として、業界の内外を問わず各方面からも大きな評価を受けている。今回も当協会会員のみならず非会員も含め、協力いただいた企業を対象に調査を実施した。

調査項目は、例年欠かすことなく行ってきた全体調査である。すなわち生産販売量の変化及び操業率の状況を最重点項目とし、多方面から詳細に分析した。同時に、経営維持についての意識調査も行い、経営者の現在の心境を把握することに努めた。

本調査事業は昭和54年の当協会設立時から行われており、本年度も昨年度に引き続き（一社）日本皮革産業連合会の補助事業として、製革業全体の活動状況の骨格を反映する各データに関して、全体調査に絞り込んで調査を行ったものである。

今回の報告書では、過去の調査結果との比較を重視すると共に、より分かり易く、見やすい形にするために、編集の形や集計内容をこれまでとは一部変更している。この調査結果を内部だけでなく対外的にも発信できるように、まずは日本の皮革産業が現在どのような状況となっているのかを把握できるようにすると共に、可能な限りグラフで集計結果を表している。

1-2. 調査要項

① 調査手段

調査にあたっては各支部による配布・回収とし、巡回及び持参・面接方式で行った。

② 調査対象

当協会の会員及び非会員の全製革業者を対象とした。非会員の調査には各支部の協力を得て、できるだけ多くの非会員の方々に協力をお願いした。令和4年8月1日現在の地区別の会員数は下記の通りで、全国合計は昨年の303社に比べて10社減少している。

松原	74社	誉田	44社	沢田	16社	高木	63社
御着	25社	川西	10社	大阪他	9社	和歌山	7社
東京	33社	埼玉他	12社			全国合計	293社

③ 調査項目

本調査事業開始時から一貫して行われている以下の項目に関する調査を行った。

- 1) 事業の概要
- 2) 生産販売動向
- 3) 生産能力及び最近の生産実績
- 4) 経営意識調査

④ 調査票

調査票の様式は巻末資料の通り。

⑤ 調査日程

調査は、令和4年8月1日（月）から8月31日（水）にかけて一斉に行った。

⑥ 回収結果

令和4年度実態調査回収状況を過去3年間の回収状況と併せて、表1-1にとりまとめた。

これらの全回収数の中には無記入もあるため、各項目の集計数も異なっている。

⑦ 集計・分析

クルーシャルモーメント株式会社

表1-1. 実態調査票の回収結果

(社)

項目 年度	会 員 数				会 員 提 出 数				非 会 員 提 出 数				回 収 合 計				回 収 合 計 対 する 非 会 員 の 割 合 (%)			
	令1	令2	令3	令4	令1	令2	令3	令4	令1	令2	令3	令4	令1	令2	令3	令4	令1	令2	令3	令4
地区																				
松 原	80	75	74	74	79	75	74	74	1	0	0	0	80	75	74	74	1.3	0	0	0
誉 田	48	48	48	44	47	48	48	44	0	0	0	0	47	48	48	44	0	0	0	0
沢 田	16	16	16	16	16	16	16	16	0	0	0	0	16	16	16	16	0	0	0	0
高 木	65	66	64	63	64	64	63	62	4	8	8	6	68	72	71	68	5.9	11.1	11.3	8.8
御 着	25	26	26	25	24	24	25	22	0	1	0	0	24	25	25	22	0	4.0	0	0
川 西	12	12	12	10	11	10	10	8	0	0	0	0	11	10	10	8	0	0	0	0
大阪他	9	9	9	9	7	9	7	7	0	0	0	0	7	9	7	7	0	0	0	0
和歌山	8	7	7	7	7	7	7	7	0	0	0	0	7	7	7	7	0	0	0	0
関西計	263	259	256	248	255	253	250	240	5	9	8	6	260	262	258	246	1.9	3.4	3.1	2.4
東 京	38	36	33	33	38	36	33	31	2	1	2	0	40	37	35	31	5.0	2.7	5.7	0
埼玉他	11	11	10	12	11	11	10	11	3	2	2	2	14	13	12	13	21.4	15.4	16.7	15.4
関東計	54	53	47	45	49	47	43	42	5	3	4	2	54	50	47	44	9.3	6.0	8.5	4.5
全国計	317	312	303	293	304	300	293	282	10	12	12	8	314	312	305	290	3.2	3.8	3.9	2.8

※会員数は令和4年8月1日現在

2. 日本の製革業者の実態

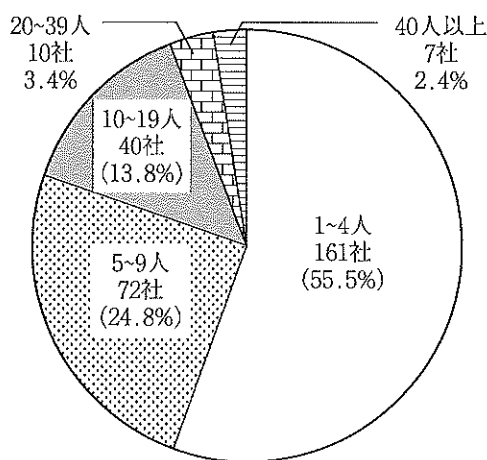
本調査では、各企業の従業員規模、従業者数の変動、生産販売動向及び操業率、現在の生産販売、経営についての意識等を重点項目として実施した。

2-1. 従業者規模別にみる製革業者

まず今回の調査対象企業数290社を、従業者規模別に1-4人、5-9人、10-19人、20-39人、40人以上の5分類とした。また、休業中の企業は1-4人の企業に含めている。下記の図2-1は、今回の調査結果から、従業者規模別の全体集計結果を表したものである。1-4人規模の企業が全体の55.5%（161社）を占め、5-9人規模の企業が24.8%（72社）と続いており、10人未満の企業が全体の8割強を占める結果となっている。

また令和元年調査から今回調査までの推移をみても、10人未満の企業数比率がおおよそ80%前後で推移していることがわかる。また1-4人規模の企業の比率が年々高まっていたが、今回の調査においては、少しその比率、企業数が減少している。全体の企業数の減少やそれぞれの規模における企業数にほとんど増加が見られないことなどから、休業する企業の増加が背景にあると思われる。また40人以上規模の企業比率が少し上昇していること等、そうした傾向は1企業あたりの平均従業者数の上昇にも表われ、令和4年度は僅かながらも従業員総数が増加している。

図2-1. 従業者規模別企業数構成比（令和4年）
（全国・n=290社）



※休業中の企業は1-4人の区分に含まれている。

表2-1. 従業者規模別企業数の推移（全国）

（社）

	1~4人	5~9人	10~19人	20~39人	40人以上	企業数	従業者数	1企業平均
令1	166	84	45	12	7	314	2,643人	8.4人
令2	175	77	43	11	6	312	2,508人	8.0人
令3	174	74	40	11	6	305	2,425人	8.0人
令4	161	72	40	10	7	290	2,431人	8.3人

表2-2. 従業員規模別企業数と男女別従業員数 (令和4年)

(社・人)

地区	従業員規模	企業数	従業員数			地区	従業員規模	企業数	従業員数			地区	従業員規模	企業数	従業員数		
			男	女	計				男	女	計				男	女	計
松原	1~4	33	56	32	88	御着	1~4	8	12	8	20	関西計	1~4	110	184	96	280
	5~9	14	60	42	102		5~9	7	39	9	48		5~9	58	250	140	390
	10~19	9	70	42	112		10~19	3	24	7	31		10~19	31	265	119	384
	20~39	3	47	25	72		20~39	1	18	13	31		20~39	7	106	75	181
	40~69	1	34	17	51		40~69	0	0	0	0		40~69	1	34	17	51
	70以上	1	39	46	85		70以上	0	0	0	0		70以上	2	100	62	162
	休業中	13	12	7	19		休業中	3	3	0	3		休業中	37	31	13	44
	小計	74	318	211	529		小計	22	96	37	133		小計	246	970	522	1,492
誉田	1~4	23	40	15	55	姫路計	1~4	41	67	37	104	東京	1~4	10	26	3	29
	5~9	9	31	26	57		5~9	23	100	54	154		5~9	10	53	15	68
	10~19	3	22	13	35		10~19	14	125	50	175		10~19	8	73	24	97
	20~39	0	0	0	0		20~39	1	18	13	31		20~39	2	50	9	59
	40~69	0	0	0	0		40~69	0	0	0	0		40~69	0	0	0	0
	70以上	0	0	0	0		70以上	0	0	0	0		70以上	0	0	0	0
	休業中	9	5	4	9		休業中	11	11	0	11		休業中	1	2	1	3
	小計	44	98	58	156		小計	90	321	154	475		小計	31	204	52	256
沢田	1~4	5	10	3	13	川西	1~4	4	5	4	9	埼玉他	1~4	3	9	1	10
	5~9	5	21	10	31		5~9	2	10	4	14		5~9	4	24	6	30
	10~19	0	0	0	0		10~19	1	6	4	10		10~19	1	9	1	10
	20~39	2	24	33	57		20~39	1	17	4	21		20~39	1	22	10	32
	40~69	0	0	0	0		40~69	0	0	0	0		40~69	3	99	54	153
	70以上	0	0	0	0		70以上	0	0	0	0		70以上	1	302	146	448
	休業中	4	3	2	5		休業中	0	0	0	0		休業中	0	0	0	0
	小計	16	58	48	106		小計	8	38	16	54		小計	13	465	218	683
たつの計	1~4	61	106	50	156	大阪他	1~4	2	3	1	4	関東計	1~4	13	35	4	39
	5~9	28	112	78	190		5~9	2	9	2	11		5~9	14	77	21	98
	10~19	12	92	55	147		10~19	2	18	6	24		10~19	9	82	25	107
	20~39	5	71	58	129		20~39	0	0	0	0		20~39	3	72	19	91
	40~69	1	34	17	51		40~69	0	0	0	0		40~69	3	99	54	153
	70以上	1	39	46	85		70以上	1	61	16	77		70以上	1	302	146	448
	休業中	26	20	13	33		休業中	0	0	0	0		休業中	1	2	1	3
	小計	134	474	317	791		小計	7	91	25	116		小計	44	669	270	939
高木	1~4	33	55	29	84	和歌山	1~4	2	3	4	7	全国計	1~4	123	219	100	319
	5~9	16	61	45	106		5~9	3	19	2	21		5~9	72	327	161	488
	10~19	11	101	43	144		10~19	2	24	4	28		10~19	40	347	144	491
	20~39	0	0	0	0		20~39	0	0	0	0		20~39	10	178	94	272
	40~69	0	0	0	0		40~69	0	0	0	0		40~69	4	133	71	204
	70以上	0	0	0	0		70以上	0	0	0	0		70以上	3	402	208	610
	休業中	8	8	0	8		休業中	0	0	0	0		休業中	38	33	14	47
	小計	68	225	117	342		小計	7	46	10	56		合計	290	1,639	792	2,431

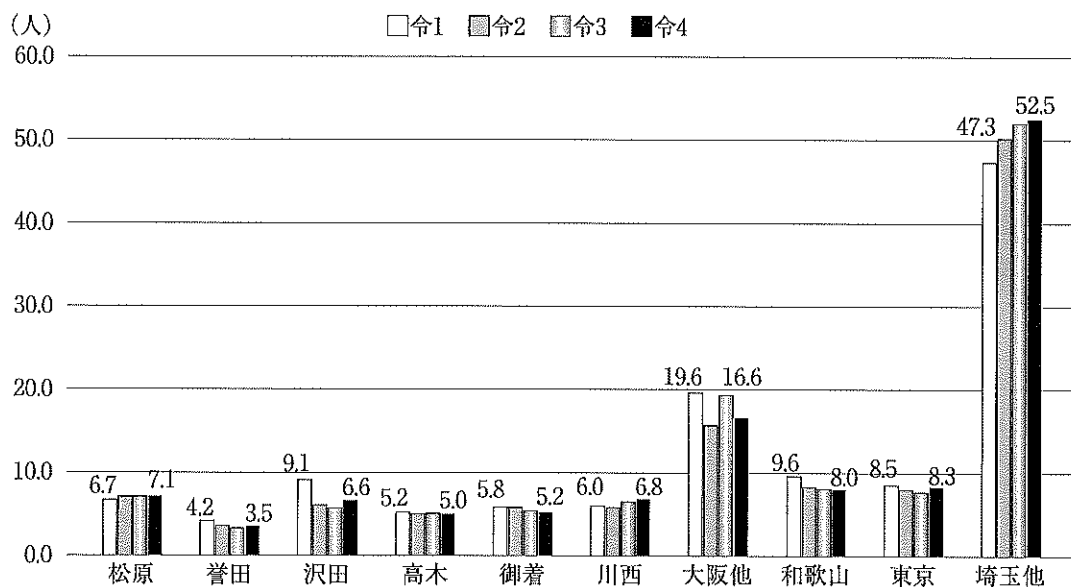
前頁の表2-2は、今回の調査における地区別の従業者規模別の企業数及び男女別の従業者数を集計したものである。全国の製革業者における従業者総数は2,431人となり、昨年より僅かながらも増加した。また地区別に見ると、昨年より増加したのは松原地区と沢田地区、埼玉他地区の3地区となり、その他の地区は横ばい、もしくは減少という結果となった。増加した埼玉他地区の増加幅が大きかったことによって、全体の従業者数の増加に繋がっている。休業中の企業数は昨年より1社減少したが、会員数の減少などにみられるように実質廃業となった企業もあり、これは好材料とは言い難い。また男女の従業員数は昨年と比較して、男性は13人の減少、女性は19人の増加という結果になっている。

図2-2は、地区別の1企業あたりの平均従業者数の推移を表したものである。例外的に比較的規模の大きい企業が存在する埼玉他地区や、大阪他地区の数字が大きくなっているが、他地区の状況を見ても分かるように、平均して5-6人程度の従業者数となっている。

また従業者数の推移に注目すると、規模の大きい企業が位置する埼玉他地区だけが増加傾向にあり、他地区はおしなべて減少、もしくは横ばい状態にあることがわかる。

図2-3は、地区別に従業者規模別企業数の比率を表したものである。総体的に企業数の多い地区が従業者規模の小さい企業の割合が大きく、企業数の少ない地区はその割合が比較的低い傾向にある。

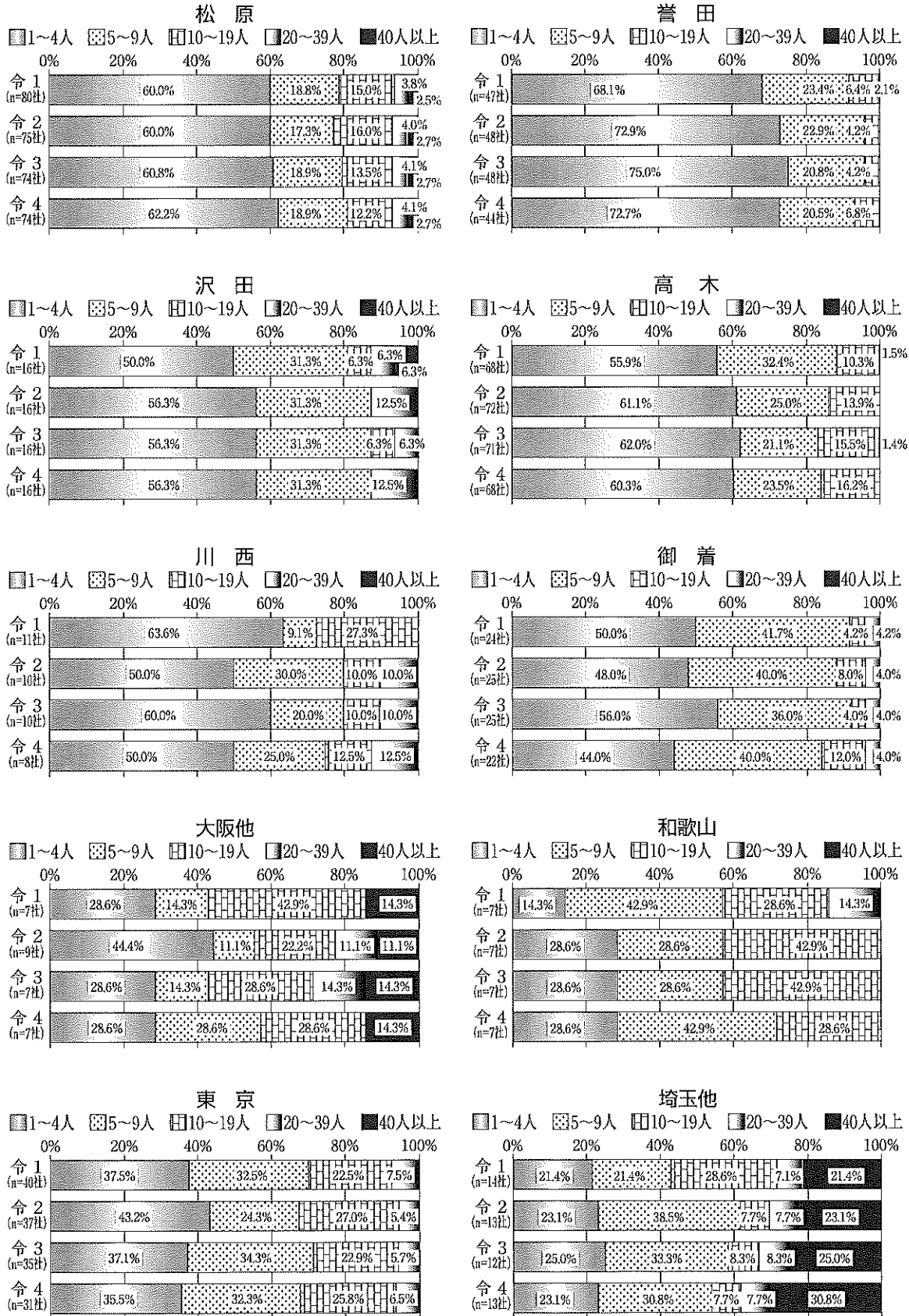
図2-2. 地区別1企業あたり平均従業者数推移



(人)

	松原	誉田	沢田	高木	御着	川西	大阪他	和歌山	東京	埼玉他
令1	6.7	4.2	9.1	5.2	5.8	6.0	19.6	9.6	8.5	47.3
令2	7.1	3.6	6.1	5.0	5.8	5.8	15.7	8.3	8.0	50.2
令3	7.1	3.3	5.7	5.1	5.4	6.5	19.3	8.1	7.7	52.0
令4	7.1	3.5	6.6	5.0	5.2	6.8	16.6	8.0	8.3	52.5

図2-3. 地区別従業者規模別企業数構成比推移



2-2. 年代別・性別従業者数にみる製革業者

次に各企業の年代別の構成比をみた。年代を30歳未満、30歳代、40歳代、50歳以上の4分類とし、図2-4はその分類で年代別従業者数の比率を表したものである。その結果、50歳以上の構成が52.1%となり、過半数を超えていることがわかる。30歳未満は10%弱の割合で、全体的な高齢化が顕著になっている。また図2-5は令和2年からの推移を表したものであるが、50歳以上の比率が年々上昇しているが、ここでは逆に30歳未満の比率も上昇しており、明るい材料ではあるが、中間年齢層の減少ということで、製革産業にも今後2極化現象が進んでいくことになる。

表2-3は地区別とその年代別従業者数に男女数を加えたものであるが、昨年と比較して関西地区が男女とも減少していることに対し、関東地区は男女とも増加しており、特に女性の増加が目立っている。ただ関西地区も30歳未満の比率は僅かに上昇しているなどの傾向はみられる。関東地区においても30歳未満の比率は上昇している。

図2-6は地区別に年代構成の推移を表したものであるが、50歳以上の比率の上昇がどの地区においても見えており、若年層従業者数が増えている埼玉他地区においても、50歳以上の比率が年々高まっていることがわかる。

図2-4. 年代別従業者数比率（令和4年）
（全国・n=2,431人）

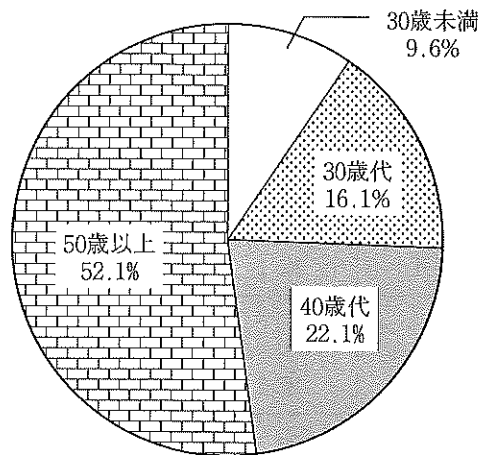


図2-5. 年代別従業者数比率推移（全国）

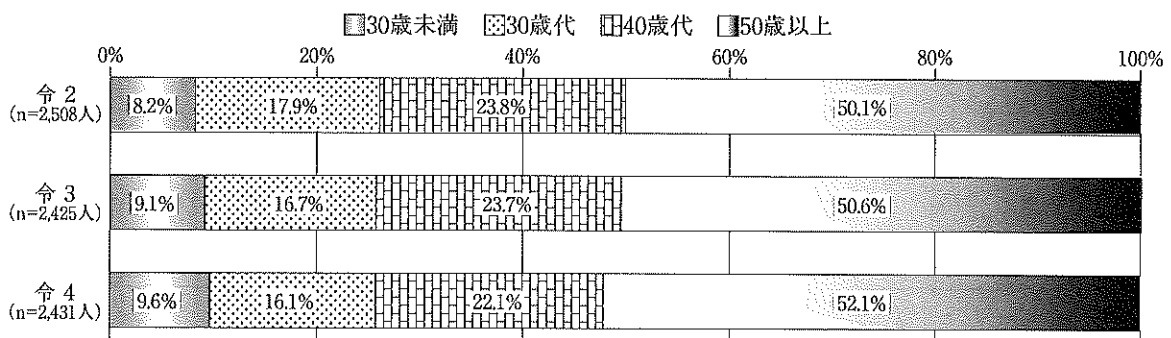
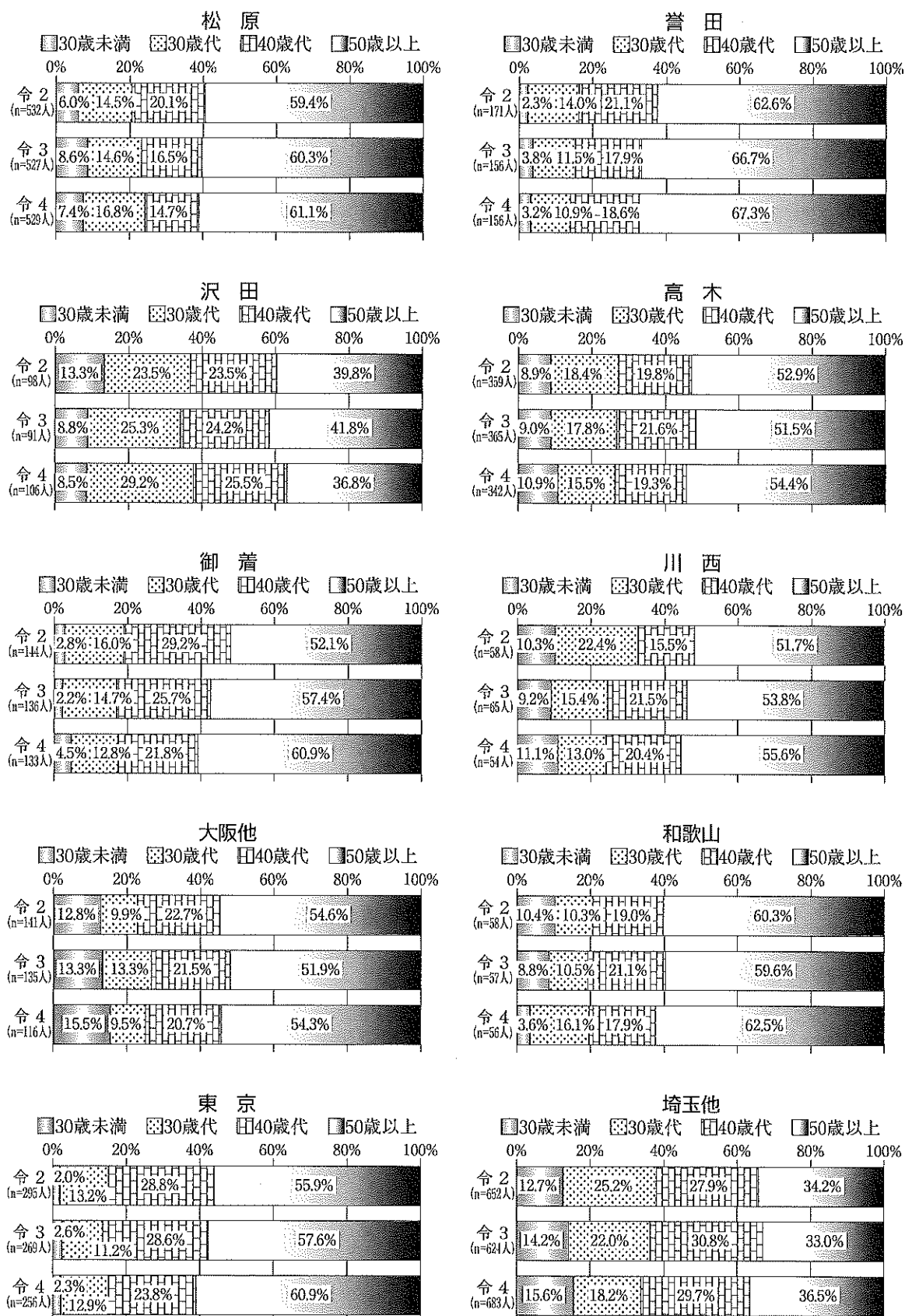


表 2 - 3. 従業者年代別地区別従業者数 (令和 4 年)

(人)

地区	年齢 性別	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳以上		合 計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
松 原	従業者数	2	0	16	21	62	27	46	32	192	131	318	211	529
	比率(%)	0.4		7.0		16.8		14.7		61.1		60.1	39.9	
誉 田	従業者数	0	0	2	3	8	9	17	12	71	34	98	58	156
	比率(%)	0.0		3.2		10.9		18.6		67.3		62.8	37.2	
沢 田	従業者数	0	0	5	4	14	17	12	15	27	12	58	48	106
	比率(%)	0.0		8.5		29.2		25.5		36.8		54.7	45.3	
高 木	従業者数	3	2	21	11	37	16	35	31	129	57	225	117	342
	比率(%)	1.5		9.4		15.5		19.3		54.4		65.8	34.2	
御 着	従業者数	0	0	3	3	14	3	19	10	60	21	96	37	133
	比率(%)	0.0		4.5		12.8		21.8		60.9		72.2	27.8	
川 西	従業者数	0	0	6	0	5	2	8	3	19	11	38	16	54
	比率(%)	0.0		11.1		13.0		20.4		55.6		70.4	29.6	
大 阪 他	従業者数	1	1	10	6	11	0	19	5	50	13	91	25	116
	比率(%)	1.7		13.8		9.5		20.7		54.3		78.4	21.6	
和 歌 山	従業者数	0	0	2	0	8	1	9	1	27	8	46	10	56
	比率(%)	0.0		3.6		16.1		17.9		62.5		82.1	17.9	
関 西 計	従業者数	6	3	65	48	159	75	165	109	575	287	970	522	1,492
	比率(%)	0.6		7.6		15.7		18.4		57.8		65.0	35.0	
東 京	従業者数	0	0	5	1	29	4	48	13	122	34	204	52	256
	比率(%)	0.0		2.3		12.9		23.8		60.9		79.7	20.3	
埼 玉 他	従業者数	9	5	57	36	90	34	135	68	174	75	465	218	683
	比率(%)	2.0		13.6		18.2		29.7		36.5		68.1	31.9	
関 東 計	従業者数	9	5	62	37	119	38	183	81	296	109	669	270	939
	比率(%)	1.5		10.5		16.7		28.1		43.1		71.2	28.8	
全 国 計	従業者数	15	8	127	85	278	113	348	190	871	396	1,639	792	2,431
	比率(%)	0.9		8.7		16.1		22.1		52.1		67.4	32.6	

图 2-6. 地区別従業者年代別構成比推移



2-3. 従業者数の増減

図2-7は、令和2年と令和4年の調査結果において、従業者数の変化を回答してもらった集計である。その結果、「増加」が18.3%、「減少」が26.6%、「変化無し」が54.8%となった。「減少」の回答が「増加」を上回るのは、昨年調査結果（令和1年と令和3年の比較）と同様であるが、「増加」の回答は昨年から6.4ポイントの上昇、「減少」は16.6ポイントの減少となり、コロナ前とコロナ禍の比較となった昨年調査結果からは明らかに好転した回答結果となった。

図2-8は地区別の傾向をまとめたものであるが、＜御着＞＜大阪他＞＜川西＞地区で「増加」の回答率が比較的高くなった。逆に＜東京＞の＜埼玉他＞地区において＜減少＞の回答率が高くなったことは、地区間において強弱が分かれてきていることを表している。

図2-7. 従業者数の変化（全国）
（令和2年との比較） n=290社

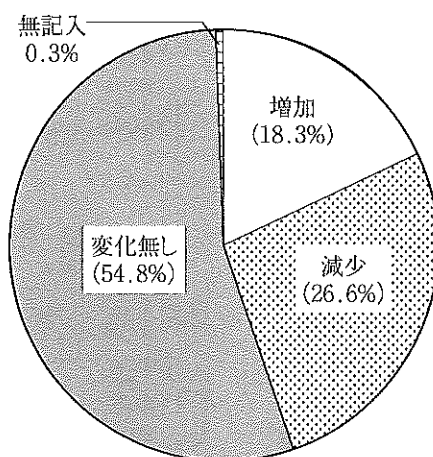
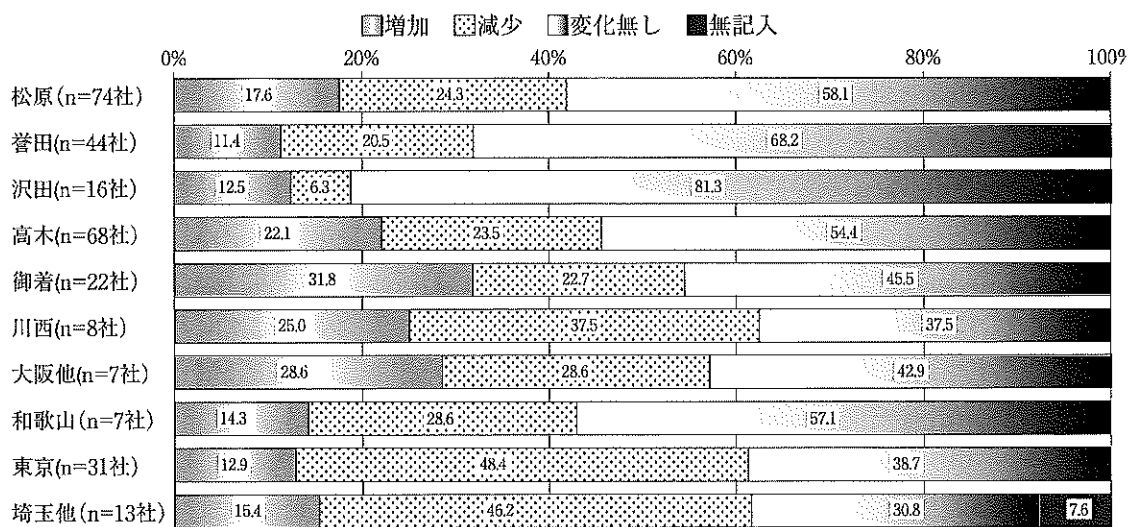


図2-8. 地区別従業者数の変化（令和2年との比較）



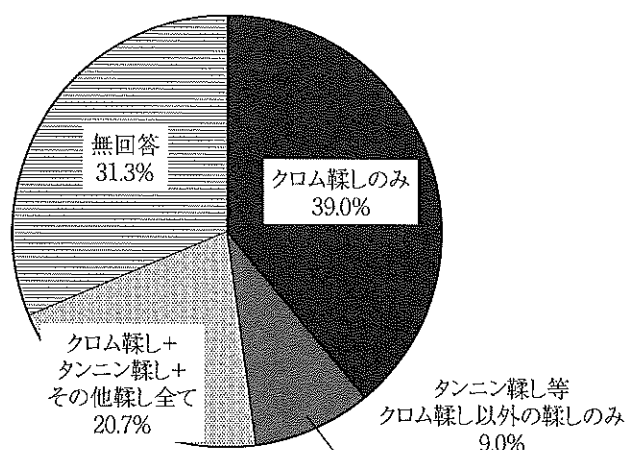
2-4. なめしの区分

図2-9は、製革業者の鞣し区分を集計したもので、複数回答してもらった結果を、なめし区分を「クロム鞣しのみ」の企業、「タンニン鞣しなど、クロム鞣し以外の鞣しのみ」の企業、「クロム鞣し、タンニン鞣し、その他鞣しなど全ての鞣しを行っている」企業に分類して再集計した結果である。

その結果、「クロム鞣しのみ」を行っている企業は全体の39%、そのクロム鞣しは行わず、「タンニン鞣しなど、それ以外の鞣しのみ」を行っている企業は全体の9%、「クロム鞣しをはじめ、タンニン鞣しやそれ以外の鞣し」も行っている企業は全体の20.7%という結果となった。この集計は今回が初めてとなったため、過去からの比較はできないが、「クロム鞣しをはじめ、タンニン鞣しやそれ以外の鞣し」も行っている企業が増加しているものと推測される。また「クロム鞣し」を避けて、それ以外の工法で鞣しを行っている企業の比率が、今後どこまで高まっていくかは注目される。

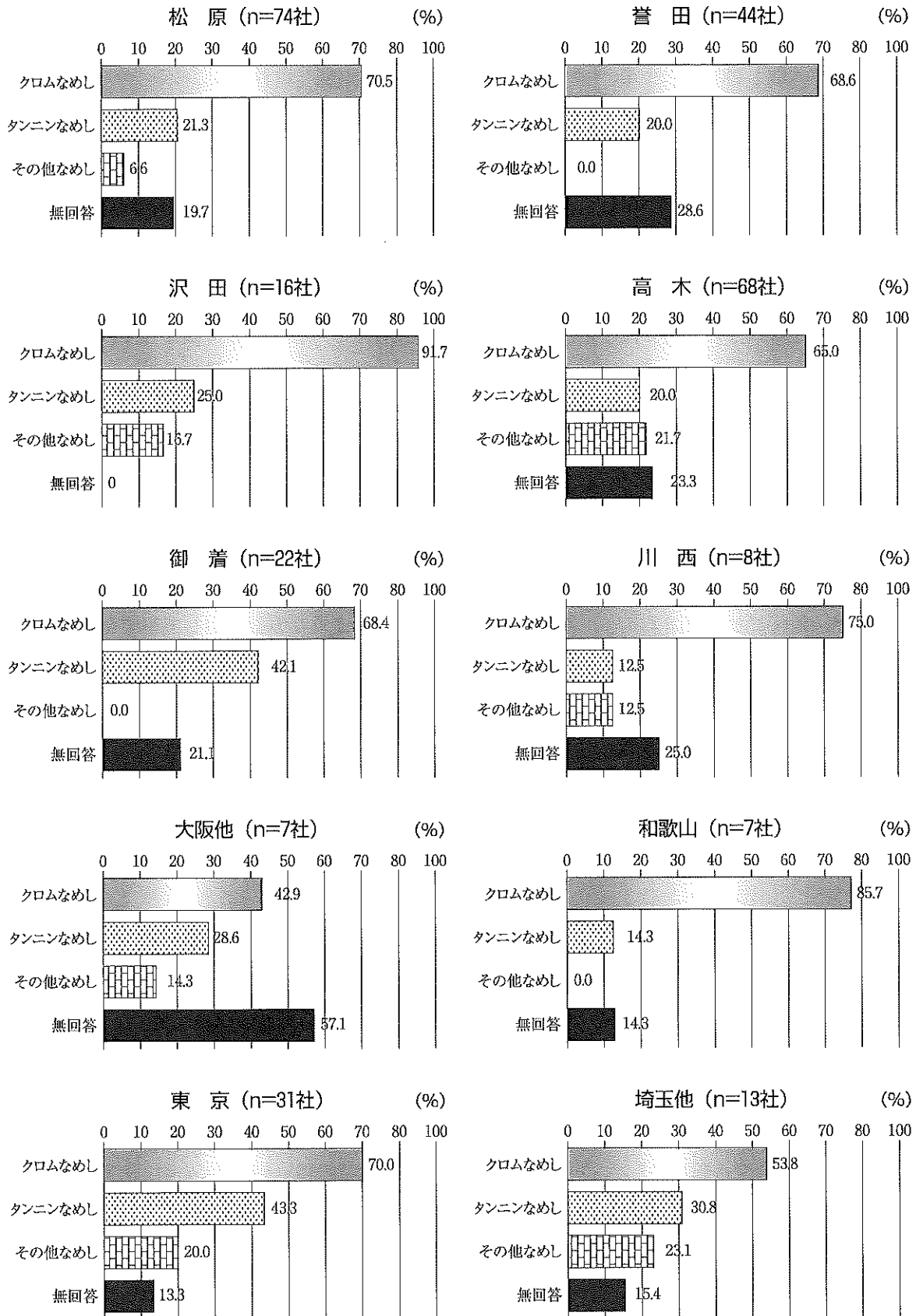
図2-10は地区別に集計したものであるが、いずれの地区も「クロム鞣し」を行っている企業がまだまだ多いことが表れている。中でも<沢田地区>や<和歌山地区>の比率が高いことがわかる。逆に「タンニン鞣し」が多い地区としては<御着地区>や<東京地区><埼玉他地区>が挙げられる。もちろんこれには、扱いの多い革種などが影響しており、一概に良いとか悪いとかの話ではなく、あくまでも傾向として見るべきである。「その他の鞣し」が比較的多い地区としても<東京地区><埼玉他地区><高木地区>が挙げられるが、これも扱っている革種による影響が大きいとみられる。この集計も昨年までとは手法を変えたため、昨年調査との比較はできないが、地区ごとの傾向よりも、各製革業者においてどのような方針を出して事業を進めていくかが大事であり、特に規模の大きい企業の展開が注目される。

図2-9. なめし区分 (全国・n=290社)



※複数回答を鞣し区分を「クロム鞣しのみ」の企業、「タンニン鞣しなど、クロム鞣し以外の鞣しのみ」の企業、「クロム鞣し、タンニン鞣し、その他鞣しなど全ての鞣しを行っている」企業に分類して再集計。

図2-10. 地区別なめし区分（複数回答）



2-5. 主な使用原皮

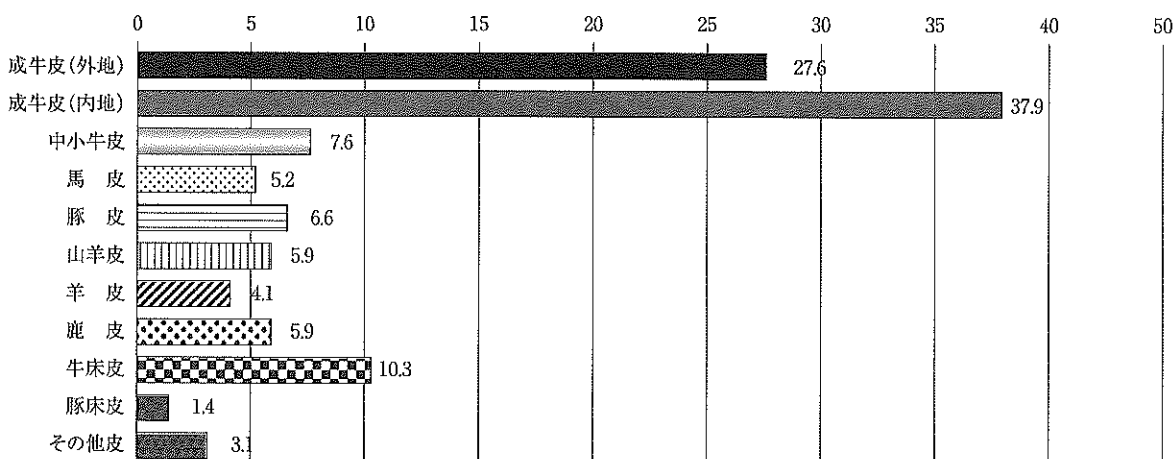
各企業で使用している原皮について、図2-11でまとめた。全体の集計結果としては、「成牛皮」が高い使用率となっているが、「内地調達成牛皮」が全体の37.9%の企業が使用、また「外地調達成牛皮」を全体の27.6%にあたる企業が使用している。それ以外の皮種とは差があり、次いで多くなったのは「牛床皮」で10.3%、「中小牛皮」で7.6%となった。また「鹿皮」は「その他の皮」の回答から数が多く見られたので、そこから外に出して集計している。世間的にジビエやSDG'sのトレンドもあり、今後も扱いが増えてくる可能性が高い。

表2-4は地区別に使用している原皮の詳細を記載したものであるが、扱いが多い皮種としては「ホルス」「一毛」が共に25%強の企業が使用しており、次いで「ヘビーステア」が13.8%、「デリーステア」が13.1%、「牛床皮」が10.3%でこれらの皮が10%を超す企業が扱っている皮種となっている。

この扱い皮種に関しては地域差があり、関西は「牛皮」中心、関東は「豚皮」や「山羊皮」「羊皮」を中心とした展開となっている。また昨年調査との比較として、扱いのある企業数を表2-5にまとめた。その結果、全体的に扱っている皮種が減少傾向にあり、扱う皮種を絞っている企業が多いように見受けられる。減少数が大きいのは「その他皮」で13社の減少、次いで「小牛皮」で8社の減少となっている。増加している皮種は「ヘビーステア」「ホルス」「豚皮」の3種がそれぞれ3社増加となり、最も増加数が大きい皮種となった。

図2-12は地区別の皮種の扱い率をグラフ化したものであるが、前記したが、関西は「牛皮」中心、関東は「豚皮」や「山羊皮」「羊皮」を中心とした展開の傾向、またある程度扱う皮種を特化している地区と、幅広く展開している地区があることもわかる。

図2-11. 主な原皮使用率（全国・n=290社）



※「鹿皮」は「その他」で記載されていたものを集計。

※「その他皮」はカンガルー皮・熊皮・爬虫類皮など

表2-4. 地区別主な使用原皮

(社) 下段は比率

地区	原皮の種類 回答社数	牝牛皮 (ブル)	ヘビーステア	ライトステア	カウヘツファー	デイリーステア	デイリーカウ	豪州NZ		内地		中牛	小牛	馬	豚	山羊	羊	鹿	牛床	豚床	その他の皮
								ジャージー	カウオックス	ホルス	一毛										
松原	74	2	13	1		12	1			22	19	2	1		1			1	9	1	
	(%)	2.7	17.6	1.4		16.2	1.4			29.7	25.7	2.7	1.4		1.4			1.4	12.2	1.4	
誉田	44	3	1		1	5				16	17	1							1		
	(%)	6.8	2.3		2.3	11.4				36.4	38.6	2.3							2.3		
沢田	16	1		1		1				4	8							1	6		2
	(%)	6.3		6.3		6.3				25.0	50.0							6.3	37.5		12.5
高木	68	2	13	2	1	12	1			18	21	5	4	9	1	3	3	7	6		
	(%)	2.9	19.1	2.9	1.5	17.6	1.5			26.5	30.9	7.4	5.9	13.2	1.5	4.4	4.4	10.3	8.8		
御着	22	3	6	1		4				5	9	1			1			1	3		
	(%)	13.6	27.3	4.5		18.2				22.7	40.9	4.5			4.5			4.5	13.6		
川西	8	1				1		1		2	2	1			1	1	1	1	1		
	(%)	12.5				12.5		12.5		25.0	25.0	12.5			12.5	12.5	12.5	12.5	12.5		
大阪他	7	1	1			1				3	1	1	1	1					2	1	
	(%)	14.3	14.3			14.3				42.9	14.3	14.3	14.3	14.3					28.6	14.3	
和歌山	7	1		2						1		2		1	2	2			2		1
	(%)	14.3		28.6						14.3		28.6		14.3	28.6	28.6			28.6		14.3
関西計	246	13	35	7	2	36	2	1	0	71	77	13	6	10	3	7	6	11	30	2	3
	(%)	5.3	14.2	2.8	0.8	14.6	0.8	0.4	0.0	28.9	31.3	5.3	2.4	4.1	1.2	2.8	2.4	4.5	12.2	0.8	1.2
東京	31		1			1				3	3	6	3	2	15	9	5	3		2	4
	(%)		3.2			3.2				9.7	9.7	19.4	9.7	6.5	48.4	29.0	16.1	9.7		6.5	12.9
埼玉他	13		4			1	1			3	3		1	3	1	1	1	3			2
	(%)		30.8			7.7	7.7			23.1	23.1		7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	23.1			15.4
関東計	44	0	5	0	0	2	1	0	0	6	6	6	4	5	16	10	6	6	0	2	6
	(%)	0	11.4	0.0	0.0	4.5	2.3	0.0	0.0	13.6	13.6	13.6	9.1	11.4	36.4	22.7	13.6	13.6	0.0	4.5	13.6
全国計	290	13	40	7	2	38	3	1	0	77	83	19	10	15	19	17	12	17	30	4	9
	(%)	4.5	13.8	2.4	0.7	13.1	1.0	0.3	0.0	26.6	28.6	6.6	3.4	5.2	6.6	5.9	4.1	5.9	10.3	1.4	3.1

その他の皮：カンガルー皮・熊皮・爬虫類皮など

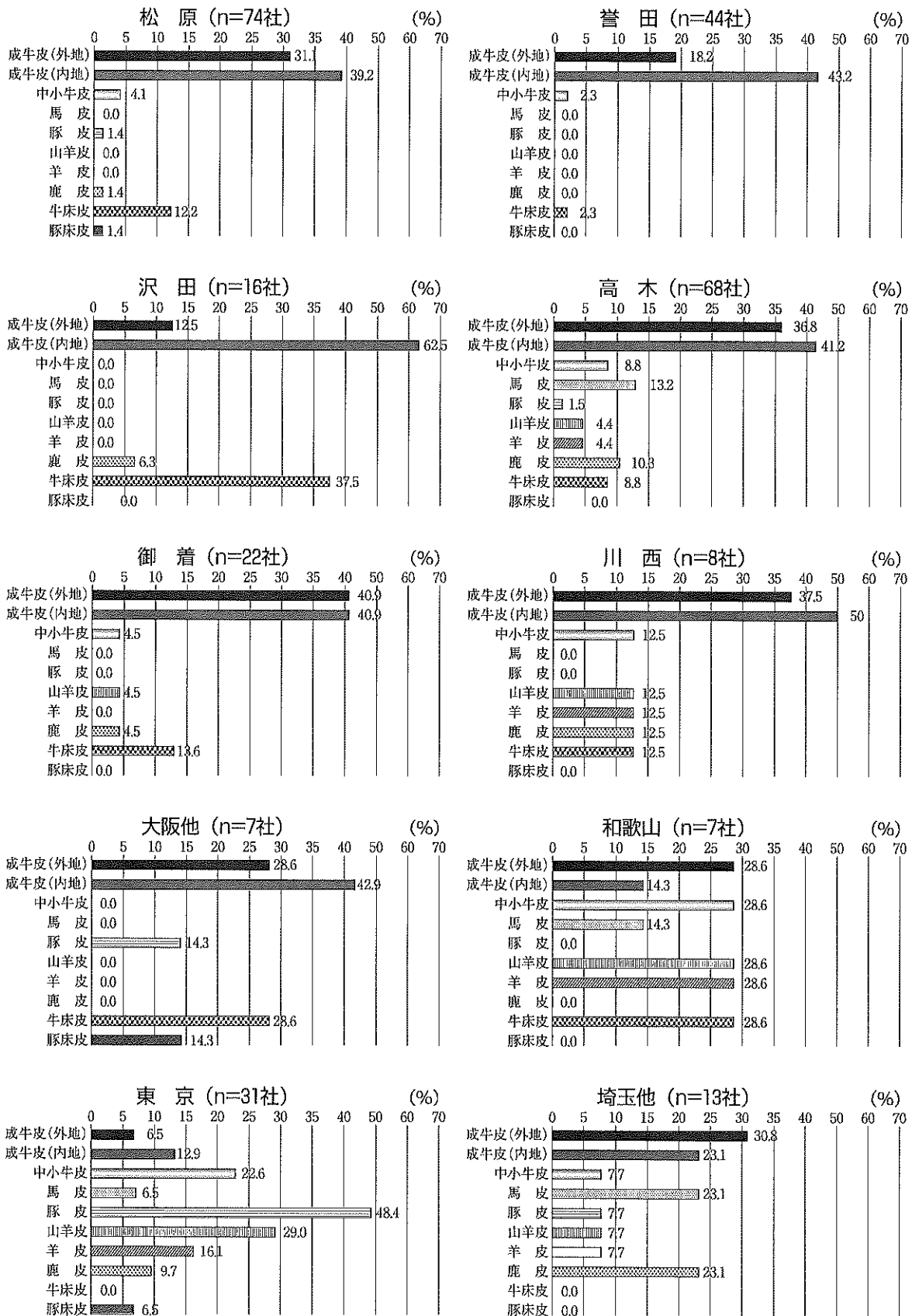
表2-5. 地区別主な使用原皮・令和3年調査結果からの増減

(社)

地区	原皮の種類	牝牛皮 (ブル)	ヘビーステア	ライトステア	カウヘツファー	デイリーステア	デイリーカウ	豪州NZ		内地		中牛	小牛	馬	豚	山羊	羊	鹿	牛床	豚床	その他の皮
								ジャージー	カウオックス	ホルス	一毛										
松原		-1	+2	±0		-1	+1			+2	-1	+2	-1		+1			-	±0	±0	-1
誉田		+2	-3		+1	+1				-1	±0	±0						-	±0		-
沢田		±0	-1	+1	-1	+1				±0	±0							-	+2		+2
高木		-2	+4	+1	+1	-1	-1			+3	±0	±0	-2	1	±0	+2	±0	-	-1		-5
御着		±0	±0	±0		-1				±0	+2	-1				±0	-1	-	±0		-1
川西			+1			-1		-1		-4	-3	±0	-2			+1	+1	-	±0	-1	-1
大阪他		±0	+1			±0				±0	-1	±0	±0		±0			-	±0	+1	-
和歌山		±0	-2	±0						±0	-2	±0		±0		+1	+1	-	±0		±0
関西計		-1	+2	+2	+1	-2	±0	-1	±0	±0	-5	+1	-5	+1	+1	+4	+1	-	+1	±0	-6
関東計		±0	+1	±0	±0	±0	+1	±0	-1	+3	+1	-1	-3	-2	+2	-2	-3	-	±0	±0	-7
全国計		-1	+3	+2	+1	-2	+1	-1	-1	+3	-4	±0	-8	-1	+3	+2	-2	-	+1	±0	-13

※-は昨年集計なし、空欄は昨年も今年も扱えないもの

図2-12. 地区別主な原皮使用率（複数回答）



3. 生産販売動向

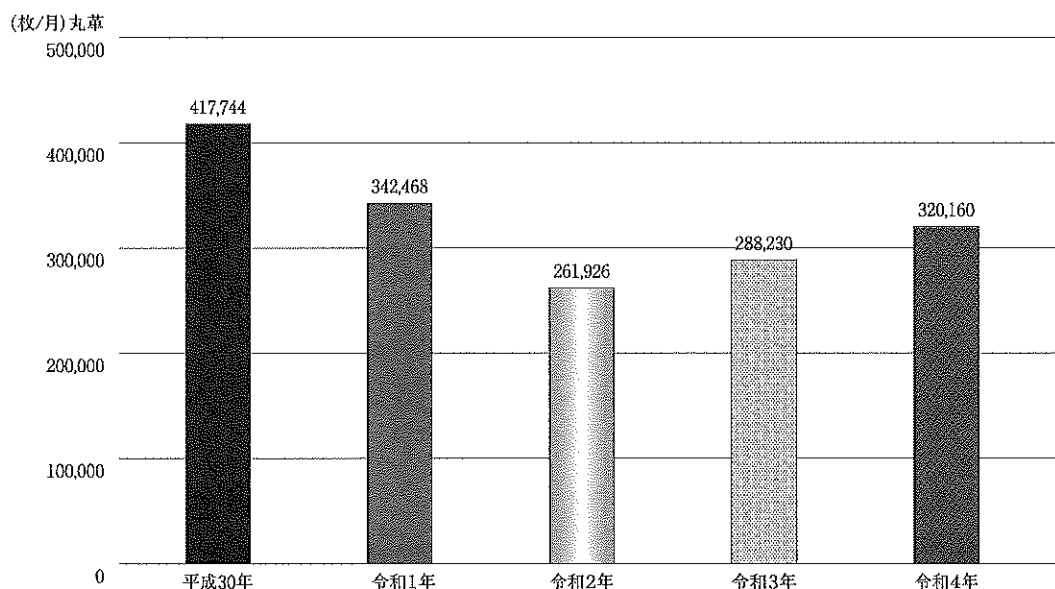
生産販売量は各企業の令和4年1月～令和4年7月の実績を基に、その1ヶ月の平均量を求めたものであり、文中及び図表の数量は全て丸革での月間生産販売数量である。

3-1. 国内革種別生産販売枚数、仕向け先別生産販売（月間）動向

ここでは、まず全国で生産されている全ての革種の令和4年の生産枚数（月間）についてまとめた。

令和4年のなめし革のひと月あたりの総生産枚数は320,160枚/月となった。図3-1は平成30年からの生産枚数の推移を表したものであるが、コロナ禍以前から減少傾向にあった月間生産枚数は、令和2年に底を打ち、令和3年、4年とやや持ち直しつつある。

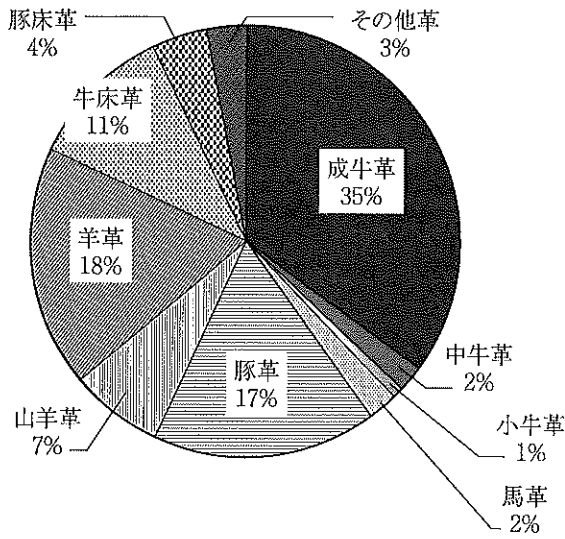
図3-1. 日本のなめし革総生産枚数（ひと月あたり）推移



次に、図3-2は、全国で生産されているなめし革について、革種毎の生産枚数及びそのシェアを表したものである。その結果、「成牛革」が113,292枚/月となり、全体の35.4%のシェアを占めた。次いで大きくなったのは「羊革」で57,162枚/月で全体の17.9%、そして「豚革」が54,428枚/月で17.0%のシェアとなった。この3種で全体の70%強を占めている。その他では「牛床革」が36,203枚/月の11.3%のシェアとなり、この4種が10%を超えるシェアとなっている。

また革種毎の生産枚数を、令和1年からのトレンドをみると、令和1年の生産枚数より令和4年の生産枚数が増えているのは「豚革」21.4%増、「羊革」85.9%増、「牛床革」8.0%増となった。特に「羊革」は令和4年で大きく増加しており、「豚革」を抜いて、日本での生産枚数が2位となっている。その他の革種は全て減少しているが、減少幅が大きくなったのは、「小牛革」55.8%減、「中牛革」33.8%減、「成牛革」30.5%減となり、「牛革」の減少傾向が顕著になっている。

図3-2. 革種別生産販売枚数構成比（全国）

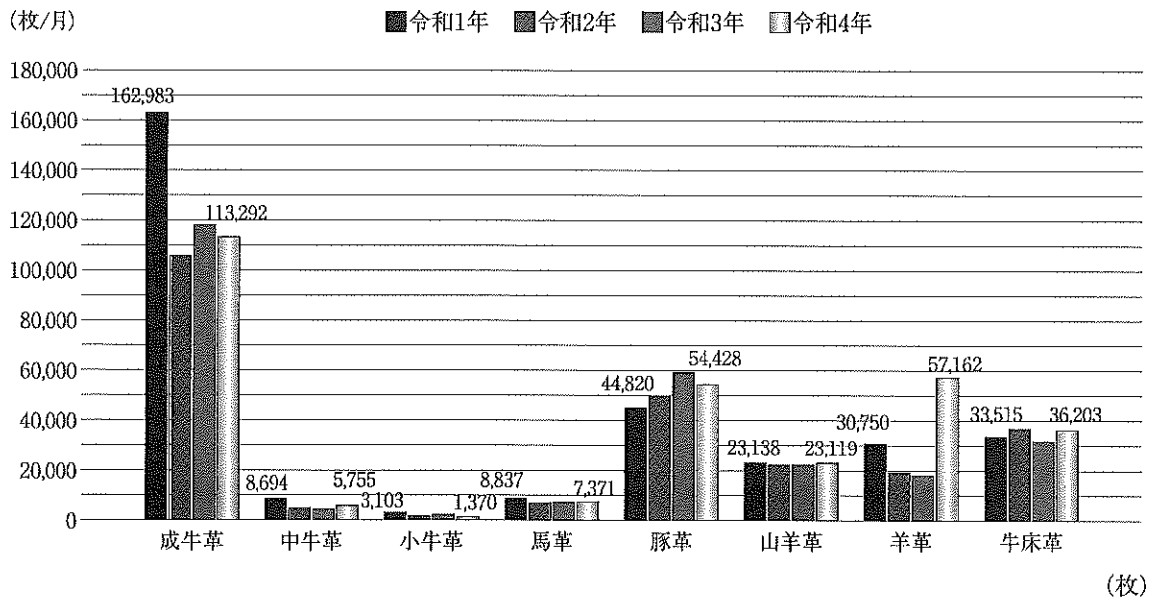


(枚/月) 丸革

全 国	販売枚数	構成比
成牛革	113,292	35.4%
中牛革	5,755	1.8%
小牛革	1,370	0.4%
馬 革	7,371	2.3%
豚 革	54,428	17.0%
山 羊 革	23,119	7.2%
羊 革	57,162	17.9%
牛 床 革	36,203	11.3%
豚 床 革	11,200	3.5%
その他革	10,260	3.2%
計	320,160	100.0%

※販売枚数は一ヶ月あたりの平均販売枚数

図3-3. 主要革種の生産販売枚数推移



(枚)

	成牛革	中牛革	小牛革	馬 革	豚 革	山 羊 革	羊 革	牛床革
令和1年	162,983	8,694	3,103	8,837	44,820	23,138	30,750	33,515
令和2年	105,694	4,870	1,770	6,944	49,587	22,414	19,204	36,728
令和3年	118,176	4,384	2,301	7,251	59,128	22,348	18,173	31,740
令和4年	113,292	5,755	1,370	7,371	54,428	23,119	57,162	36,203
令4/令1	-30.5%	-33.8%	-55.8%	-16.6%	21.4%	-0.1%	85.9%	8.0%

※販売枚数は一ヶ月あたりの平均販売枚数

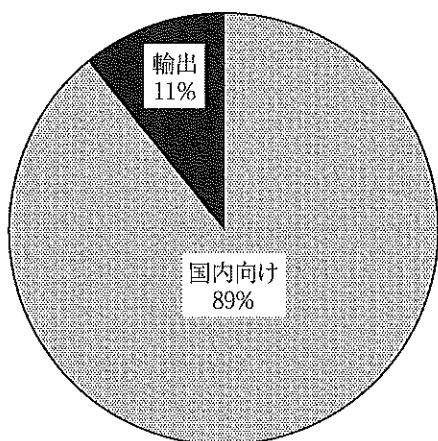
また、生産されたなめし革の仕向け先として、国内向けと輸出の比率をみたのが図3-4であるが、国内向けが全体の89.2%を占めた。輸出は10.8%となり、令和3年調査時の16.9%から6.1ポイントの縮小となった。

革種別に国内向け、輸出の比率をみたのが図3-5であるが、ほとんどの革種において、国内向けの比率が高くなっているが、「豚革」の輸出比率が30.7%、「豚床革」は100%輸出となっている。それ以外の革種は輸出が0~10%に止まっている。

ただ、これも令和3年の調査結果と比べると、「豚革」は20%以上低下しており、逆に「成牛革」「中牛革」「山羊革」などは僅かながらも輸出比率が上がっている。

図3-4. 仕向け先別生産販売枚数比率（全国）

n = 320,160枚

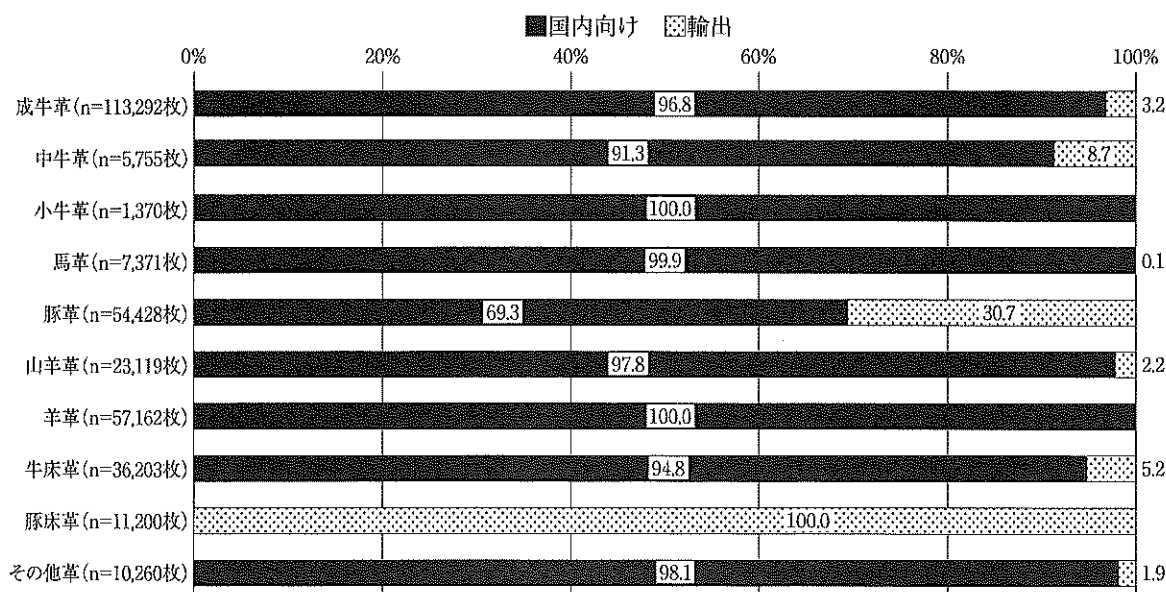


(枚/月) 丸革

全 体	販売枚数	構成比
国内向け	285,477	89.2%
輸 出	34,683	10.8%

※販売枚数は一ヶ月あたりの平均販売枚数

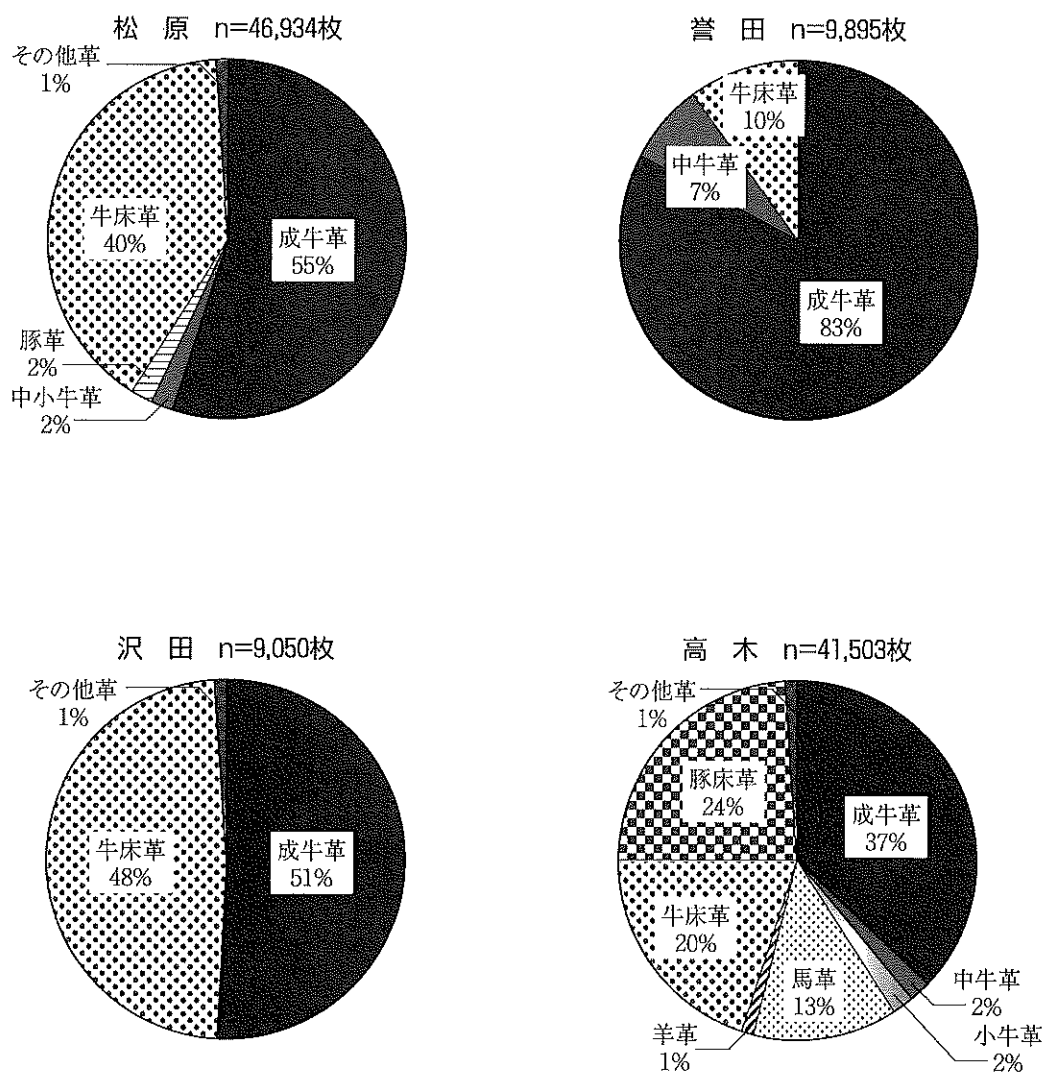
図3-5. 革種別仕向け先別販売枚数比率（全国）



次に地区別に生産しているなめし革の革種別の生産販売枚数及び仕向け先別の生産販売枚数をまとめた。図3-6は、地区別に生産している革種の比率を表したものである。「成牛革」と「牛床革」などが大半を占めるたつの（松原・誉田・沢田）地区及び御着地区と、高木地区や川西地区、和歌山地区、東京地区のように幅広く革種を生産している地区とに大きく分かれているように、地区ごとの特徴が表れている。また、大阪他地区の「中牛革」、高木地区の「豚床革」、そして東京地区の「豚革」のように、得意とする革種を持つ地区もみえている。

表3-1は、令和4年の地区別の生産販売枚数を革種別、仕向け先別に表したものである。こうしてみると、高木地区や東京地区は革種問わず輸出にも対応していることがわかる。また「牛革」「馬革」などは関西地区、「豚革」「山羊・羊革」「その他の革」は関東地区での生産量が多いといった棲み分けがみえているが、前年調査結果と比較すると、よりその傾向が強くなっていることがわかった。また表3-2では、地区ごとの生産されている革種を令和1年から経年で集計している。どの地区もコロナ禍の影響が見受けられるが、比較的関東地区の「豚革」「山羊・羊革」等はその影響から脱している状況が窺える。

図3-6. 地区別生産販売革種比率



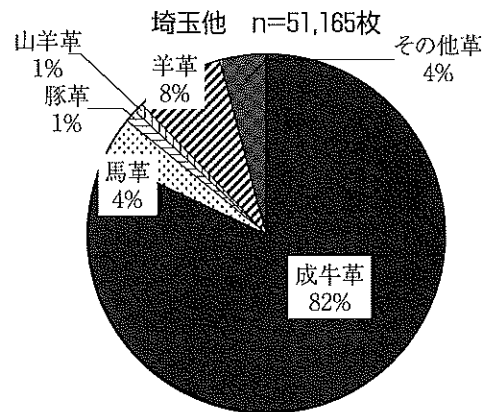
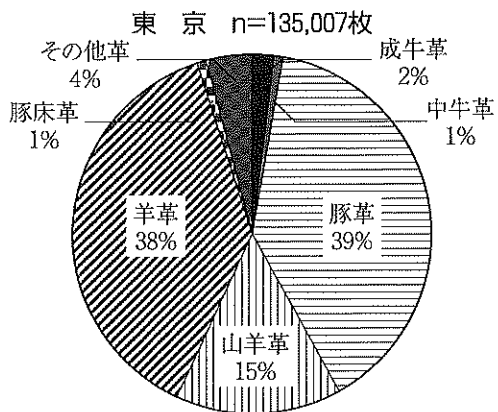
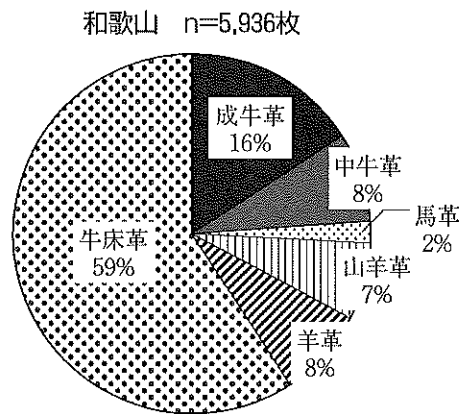
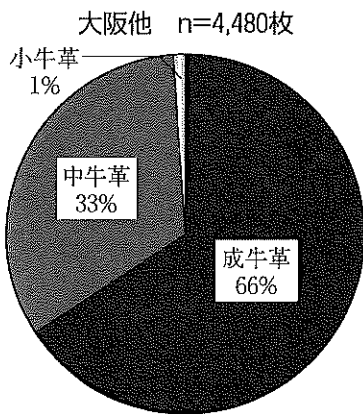
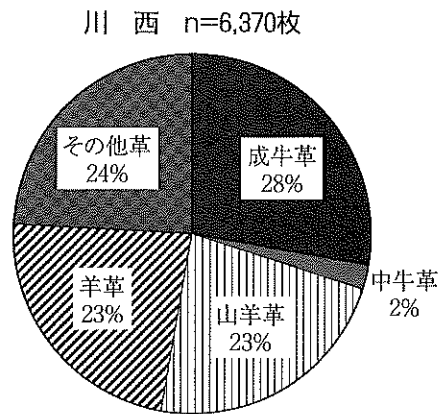
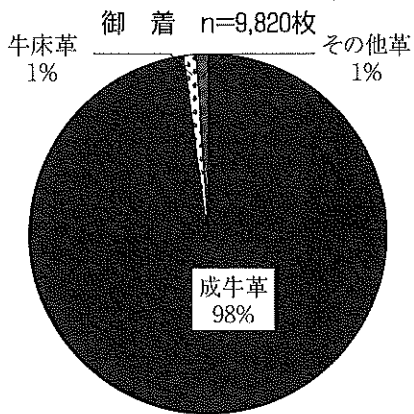


表3-1. 革種別地区別生産販売枚数内訳

(枚) 丸革/月産

地区	成牛革		中牛革		小牛革		馬革		豚革	
	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出
松原	24,884	800	800		50				1,000	
誉田	8,245		650							
沢田	4,650									
高木	12,802	2,513	760		1,053		5,326	10		
御着	9,650									
川西	1,720	50	100							
大阪他	2,830	140	1,490		20					
和歌山	940		480				100			
関西計	65,721	3,503	4,280		1,123		5,426	10	1,000	
	94.9%	5.1%	100.0%		100.0%		99.8%	0.2%	100.0%	
	69,224		4,280		1,123		5,436		1,000	
	61.1%		74.4%		82.0%		73.7%		1.8%	
東京	1,948		975	500	67		10		36,128	16,700
埼玉他	41,920	200			180		1,925		600	
関東計	43,868	200	975	500	247		1,935		36,728	16,700
	99.5%	0.5%	66.1%	33.9%	100.0%		100.0%		68.7%	31.3%
	44,068		1,475		247		1,935		53,428	
	38.9%		25.6%		18.0%		26.3%		98.2%	
全国計	109,589	3,703	5,255	500	1,370		7,361	10	37,728	16,700
	96.7%	3.3%	91.3%	8.7%	100.0%		99.9%	0.1%	69.3%	30.7%
	113,292		5,755		1,370		7,371		54,428	
	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	

地区	山羊革		羊革		牛床革		豚床革		その他革	
	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出
松原					18,900				500	
誉田					1,000					
沢田					3,400	900			100	
高木			300		7,403	1,000		10,000	336	
御着					100				70	
川西	1,500		1,500						1,500	
大阪他										
和歌山	400		500		3,500				16	
関西計	1,900		2,300		34,303	1,900		10,000	2,522	
	100.0%		100.0%		94.8%	5.2%		100.0%	100.0%	
	1,900		2,300		36,203		10,000		2,522	
	8.2%		4.0%		100.0%		89.3%		24.6%	
東京	20,259	500	51,002					1,200	5,518	200
埼玉他	460		3,860						2,020	
関東計	20,719	500	54,862					1,200	7,538	200
	97.6%	2.4%	100.0%					100.0%	97.4%	2.6%
	21,219		54,862				1,200		7,738	
	91.8%		96.0%				10.7%		75.4%	
全国計	22,619	500	57,162		34,303	1,900		11,200	10,060	200
	97.8%	2.2%	100.0%		94.8%	5.2%		100.0%	98.1%	1.9%
	23,119		57,162		36,203		11,200		10,260	
	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	

表3-2. 主要革種による地区別生産枚数4年間対比

丸革/月産

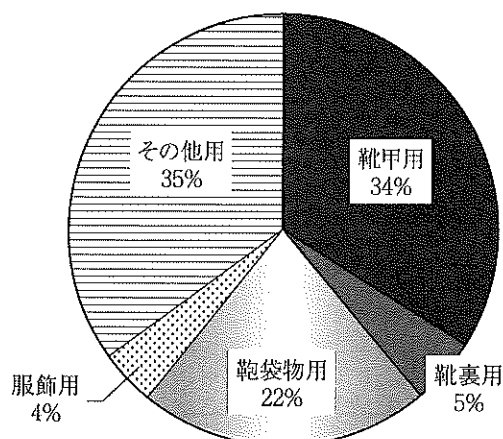
地区 及び年	革種	成牛革		中牛革		小牛革		馬革		豚革		山羊革		羊革		牛床革	
		枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)	枚数	(%)
たつの	令1	61,242	37.6	868	10.0	270	8.7	0	-	0	-	0	-	0	-	16,018	47.8
	令2	39,423	37.3	510	10.5	100	5.6	0	-	275	0.6	0	-	0	-	24,177	65.8
	令3	39,722	33.6	200	4.6	260	11.3	50	0.7	0	-	0	-	0	-	19,420	61.2
	令4	38,579	34.1	1,450	25.2	50	3.6	0	-	1,000	1.8	0	-	0	-	24,200	66.8
姫路	令1	27,728	17.0	2,777	31.9	430	13.9	5,707	64.6	10	0.02	2,010	8.7	1,436	4.7	9,370	28.0
	令2	20,619	19.5	1,499	30.8	300	16.9	5,172	74.5	20,000	40.3	1,850	8.3	330	1.7	10,301	28.0
	令3	23,243	19.7	865	19.7	1,244	54.1	5,292	73.0	20,000	33.8	1,700	7.6	200	1.1	8,120	25.6
	令4	24,965	22.0	760	13.2	1,053	76.9	5,336	72.4	0	-	0	-	300	0.5	8,503	23.5
川西	令1	7,855	4.8	0	-	1,536	49.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	令2	2,211	2.1	240	4.9	300	16.9	20	0.3	0	-	1,000	4.5	0	-	0	-
	令3	2,369	2.0	100	2.3	600	26.1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	令4	1,770	1.6	100	1.7	0	-	0	-	0	-	1,500	6.5	1,500	2.6	0	-
大阪他	令1	3,802	2.3	1,586	18.2	9	0.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	令2	2,998	2.8	1,017	20.9	275	15.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	令3	2,557	2.2	868	19.8	17	0.7	80	1.1	0	-	0	-	0	-	0	-
	令4	2,970	2.6	1,490	25.9	20	1.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
和歌山	令1	1,820	1.1	1,550	17.8	0	-	400	4.5	0	-	1,000	4.3	0	-	7,800	23.3
	令2	1,180	1.1	1,000	20.5	0	-	300	4.3	0	-	400	1.8	500	2.6	2,050	5.6
	令3	1,230	1.0	550	12.5	0	-	0	-	0	-	1,400	6.3	500	2.8	4,200	13.2
	令4	940	0.8	480	8.3	0	-	100	1.4	0	-	400	1.7	500	0.9	3,500	9.7
関西計	令1	102,447	62.9	6,781	78.0	2,245	72.3	6,107	69.1	10	0.02	3,010	13.0	1,436	4.7	33,188	99.0
	令2	66,431	62.9	4,266	87.6	975	55.1	5,492	79.1	20,275	40.9	3,250	14.5	830	4.3	36,528	99.5
	令3	69,121	58.5	2,583	58.9	2,121	92.2	5,422	74.8	20,000	33.8	3,100	13.9	700	3.9	31,740	100.0
	令4	69,224	61.1	4,280	74.4	1,123	82.0	5,436	73.7	1,000	1.8	1,900	8.2	2,300	4.0	36,203	100.0
関東計	令1	60,536	37.1	1,913	22.0	858	27.7	2,730	30.9	44,810	99.98	20,128	87.0	29,314	95.3	327	1.0
	令2	39,263	37.1	604	12.4	795	44.9	1,452	20.9	29,312	59.1	19,164	85.5	18,374	95.7	200	0.5
	令3	49,055	41.5	1,801	41.1	180	7.8	1,829	25.2	39,128	66.2	19,248	86.1	17,473	96.1	0	-
	令4	44,068	38.9	1,475	25.6	247	18.0	1,935	26.3	53,428	98.2	21,219	91.8	54,862	96.0	0	-
全国計	令1	162,983	100.0	8,694	100.0	3,103	100.0	8,837	100.0	44,820	100.0	23,138	100.0	30,750	100.0	33,515	100.0
	令2	105,694	100.0	4,870	100.0	1,770	100.0	6,944	100.0	49,587	100.0	22,414	100.0	19,204	100.0	36,728	100.0
	令3	118,176	100.0	4,384	100.0	2,301	100.0	7,251	100.0	59,128	100.0	22,348	100.0	18,173	100.0	31,740	100.0
	令4	113,292	100.0	5,755	100.0	1,370	100.0	7,371	100.0	54,428	100.0	23,119	100.0	57,162	100.0	36,203	100.0

3-2. 革種による用途別、仕向け先別生産販売（月間）動向

ここでは全国で生産されている全ての革種のその用途別及び仕向け先別の状況を、図と表を用いて報告する。

令和4年の生産販売枚数320,160枚/月を用途別にまとめたのが図3-7である。その結果、「靴甲用」が全体の33.8%（108,190枚/月）、「鞆袋物用」が全体の22.4%（71,663枚/月）となり、多くのシェアを占める結果となったが、「その他用」が全体の34.6%（110,771枚/月）を占めて、それらを上回る結果となっている。「その他用」の内訳としては、「カーシート用」が31,605枚/月、「グローブミット等運動具用」が15,013枚/月などが多くなっている。「家具・インテリア用」（6,188枚/月）や「工業手袋等安全具用」（6,099枚/月）がそれらに次ぐ生産量となっている。また「ウェットブルー」での出荷が21,200枚/月などが別途展開されている。またこれら「その他用」においては、他用途との比較において輸出量も多く、「その他用」全体の28.4%が輸出用に充てられており、ファッション製品以外の用途の方が海外での需要を獲得しているとみられる。

図3-7. 用途別生産販売枚数構成比
(全種)



月産/丸革

全種計	販売枚数	構成比
靴甲用	108,190	33.8%
靴裏用	16,357	5.1%
靴底用	210	0.1%
鞆袋物用	71,663	22.4%
服飾用	12,969	4.1%
その他用	110,771	34.6%
計	320,160	100.0%

※販売枚数は一ヶ月あたりの平均販売枚数

その他用・内訳	枚/月
グローブミット等運動具用	15,013
手芸工芸用	1,454
家具・インテリア用	6,188
カーシート用	31,605
工業手袋等安全具用	6,099
電動ベルトサドルバックキング等工業用	1,110
ウェットブルー	21,200
その他	28,102
計	110,771

次に革種毎に用途をみると、＜成牛革＞ではどの用途にも使われているが、全体集計と同様に、「靴甲用」「鞆袋物用」「その他用」の3用途が全体の95%強を占めている。＜中・小牛革＞は「靴甲用」が最も多く、「鞆袋物用」がそれに次ぐ。＜馬革＞は「鞆袋物用」が半数以上を占める。＜豚革＞は「その他用」「鞆袋物用」、そして「靴裏用」に多く使われている。＜山羊・羊革＞は「靴甲用」が圧倒的に多い。＜牛床革＞は「その他用」が67%以上を占めている。

表3-3. 革種による用途別仕向け先別生産販売枚数内訳

(枚) 丸革/月産

用途 革種	靴甲用		靴裏用		靴底用		鞆袋物用		服飾用		その他用		合計	
	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出
成牛革	19,073	190	710		160		34,369	543	4,395	20	50,912	2,920	109,619	3,673
	99.0%	1.0%	100.0%		100.0%		98.4%	1.6%	99.5%	0.5%	94.6%	5.4%	96.8%	3.2%
	19,263		710		160		34,912		4,415		53,832		113,292	
	17.0%		0.6%		0.1%		30.8%		3.9%		47.5%		100.0%	
中牛革	2,935						1,256	500	114		950		5,255	500
	100.0%						71.5%	28.5%	100.0%		100.0%		91.3%	8.7%
	2,935						1,756		114		950		5,755	
	51.0%						30.5%		2.0%		16.5%		100.0%	
小牛革	710						384		207		69		1,370	0
	100.0%						100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	-
	710						384		207		69		1,370	
	51.8%						28.0%		15.1%		5.0%		100.0%	
馬革	711		980				4,270		1,189	10	211		7,361	10
	100.0%		100.0%				100.0%		99.2%	0.8%	100.0%		99.9%	0.1%
	711		980				4,270		1,199		211		7,371	
	9.6%		13.3%				57.9%		16.3%		2.9%		100.0%	
豚革	6,250		13,167				15,111	300	620		2,580	16,400	37,728	16,700
	100.0%		100.0%				98.1%	1.9%	100.0%		13.6%	86.4%	69.3%	30.7%
	6,250		13,167				15,411		620		18,980		54,428	
	11.5%		24.2%				28.3%		1.1%		34.9%		100.0%	
山羊革	20,232		1,000				1,251	500	136				22,619	500
	100.0%		100.0%				71.4%	28.6%	100.0%				97.8%	2.2%
	20,232		1,000				1,751		136				23,119	
	87.5%		4.3%				7.6%		0.6%				100.0%	
羊革	50,113						4,563		1,986		500		57,162	0
	100.0%						100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	-
	50,113						4,563		1,986		500		57,162	
	87.7%						8.0%		3.5%		0.9%		100.0%	
牛床革	7,750		500		50		1,400		1,200	1,000	23,403	900	34,303	1,900
	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		54.5%	45.5%	96.3%	3.7%	94.8%	5.2%
	7,750		500		50		1,400		2,200		24,303		36,203	
	21.4%		1.4%		0.1%		3.9%		6.1%		67.1%		100.0%	
豚床革											11,200		0	11,200
											100.0%		-	100.0%
											11,200		11,200	
											100.0%		100.0%	
その他革	226						7,016	200	2,092		726		10,060	200
	100.0%						97.2%	2.8%	100.0%		100.0%		98.1%	1.9%
	226						7,216		2,092		726		10,260	
	2.2%						70.3%		20.4%		7.1%		100.0%	
合計	108,000	190	16,357	0	210	0	69,620	2,043	11,939	1,030	79,351	31,420	285,477	34,683
	99.8%	0.2%	100.0%	-	100.0%	-	97.1%	2.9%	92.1%	7.9%	71.6%	28.4%	89.2%	10.8%
	108,190		16,357		210		71,663		12,969		110,771		320,160	
	33.8%		5.1%		0.1%		22.4%		4.1%		34.6%		100.0%	

図3-8. 主要革種別用途構成比

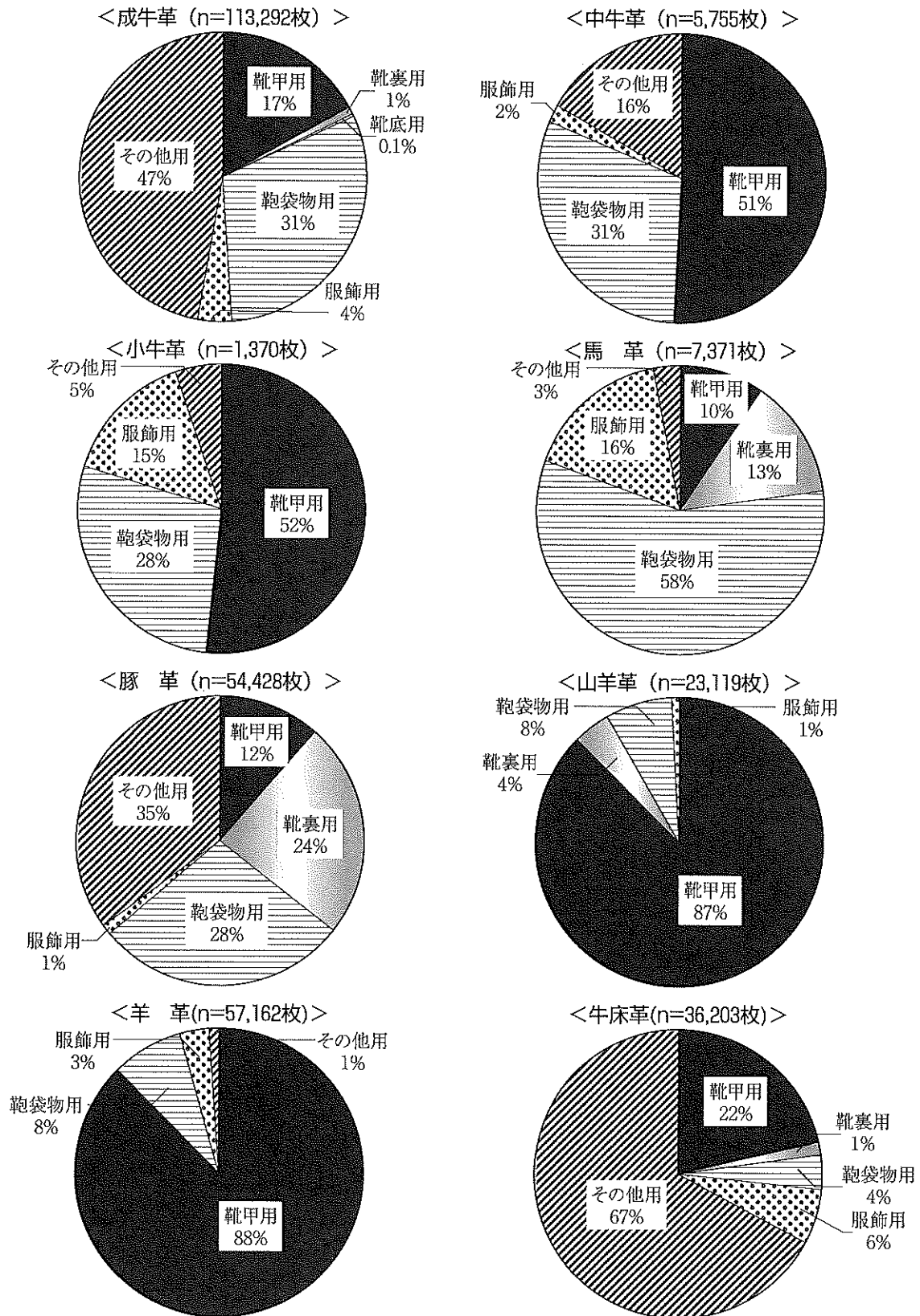


表3-4. 主要革種の用途別生産販売枚数4年間対比

丸革/月産

用途 革種 及び年	靴甲用		靴裏用		靴底用		鞆袋物用		服飾用		その他用		合計(革種別)				
	枚数	%	枚数	%	枚数	%	枚数	%	枚数	%	枚数	%	枚数	%	令4/令3 対比	令4/令1 対比	
成 牛 革	令1	31,795	19.5	1,162	0.7	798	0.5	50,292	30.9	8,115	5.0	70,821	43.5	162,983	100.0	-4.1%	-30.5%
	令2	20,150	19.1	223	0.2	115	0.1	35,954	34.0	3,275	3.1	45,977	43.5	105,694	100.0		
	令3	18,077	15.3	567	0.5	275	0.2	31,990	27.1	3,839	3.2	63,428	53.7	118,176	100.0		
	令4	19,263	17.0	710	0.6	160	0.1	34,912	30.8	4,415	3.9	53,832	47.5	113,292	100.0		
中 牛 革	令1	5,905	67.9	0	-	0	-	1,949	22.4	225	2.6	615	7.1	8,694	100.0	+31.3%	-33.8%
	令2	3,383	69.5	0	-	0	-	1,029	21.1	157	3.2	301	6.2	4,870	100.0		
	令3	2,347	53.5	0	-	0	-	1,643	37.5	184	4.2	210	4.8	4,384	100.0		
	令4	2,935	51.0	0	-	0	-	1,756	30.5	114	2.0	950	16.5	5,755	100.0		
小 牛 革	令1	96	3.1	0	-	0	-	2,421	78.0	156	5.0	430	13.9	3,103	100.0	-40.5%	-55.8%
	令2	343	19.4	0	-	0	-	982	55.5	150	8.5	295	16.7	1,770	100.0		
	令3	1,038	45.1	0	-	0	-	993	43.2	208	9.0	62	2.7	2,301	100.0		
	令4	710	51.8	0	-	0	-	384	28.0	207	15.1	69	5.0	1,370	100.0		
馬 革	令1	550	6.2	1,840	20.8	0	-	4,612	52.2	1,403	15.9	432	4.9	8,837	100.0	+1.7%	-16.6%
	令2	854	12.3	855	12.3	0	-	3,870	55.7	1,254	18.1	111	1.6	6,944	100.0		
	令3	584	8.1	855	11.8	0	-	4,051	55.9	1,660	22.9	101	1.4	7,251	100.0		
	令4	711	9.6	980	13.3	0	-	4,270	57.9	1,199	16.3	211	2.9	7,371	100.0		
豚 革	令1	8,197	18.3	21,111	47.1	1,500	3.3	3,013	6.7	400	0.9	10,599	23.6	44,820	100.0	-7.9%	+21.4%
	令2	8,025	16.2	7,817	15.8	1,500	3.0	2,335	4.7	400	0.8	29,510	59.5	49,587	100.0		
	令3	12,110	20.5	9,890	16.7	1,500	2.5	7,458	12.6	580	1.0	27,590	46.7	59,128	100.0		
	令4	6,250	11.5	13,167	24.2	0	-	15,411	28.3	620	1.1	18,980	34.9	54,428	100.0		
山 羊 革	令1	19,740	85.3	0	-	0	-	3,148	13.6	40	0.2	210	0.9	23,138	100.0	+3.4%	-0.1%
	令2	20,237	90.3	0	-	0	-	1,648	7.4	529	2.4	0	-	22,414	100.0		
	令3	17,277	77.3	2,300	10.3	0	-	1,583	7.1	1,188	5.3	0	-	22,348	100.0		
	令4	20,232	87.5	1,000	4.3	0	-	1,751	7.6	136	0.6	0	-	23,119	100.0		
羊 革	令1	20,840	67.8	0	-	0	-	7,251	23.6	2,629	8.5	30	0.1	30,750	100.0	+214.5%	+85.9%
	令2	14,836	77.3	500	2.6	0	-	2,022	10.5	1,346	7.0	500	2.6	19,204	100.0		
	令3	13,137	72.3	0	-	0	-	2,870	15.8	1,666	9.2	500	2.8	18,173	100.0		
	令4	50,113	87.7	0	-	0	-	4,563	8.0	1,986	3.5	500	0.9	57,162	100.0		
牛 床 革	令1	10,100	30.1	0	-	427	1.3	4,900	14.6	1,800	5.4	16,288	48.6	33,515	100.0	+14.1%	+8.0%
	令2	10,471	28.5	0	-	0	-	3,750	10.2	1,194	3.3	21,313	58.0	36,728	100.0		
	令3	8,800	27.7	0	-	100	0.3	1,520	4.8	800	2.5	20,520	64.7	31,740	100.0		
	令4	7,750	21.4	500	1.4	50	0.1	1,400	3.9	2,200	6.1	24,303	67.1	36,203	100.0		

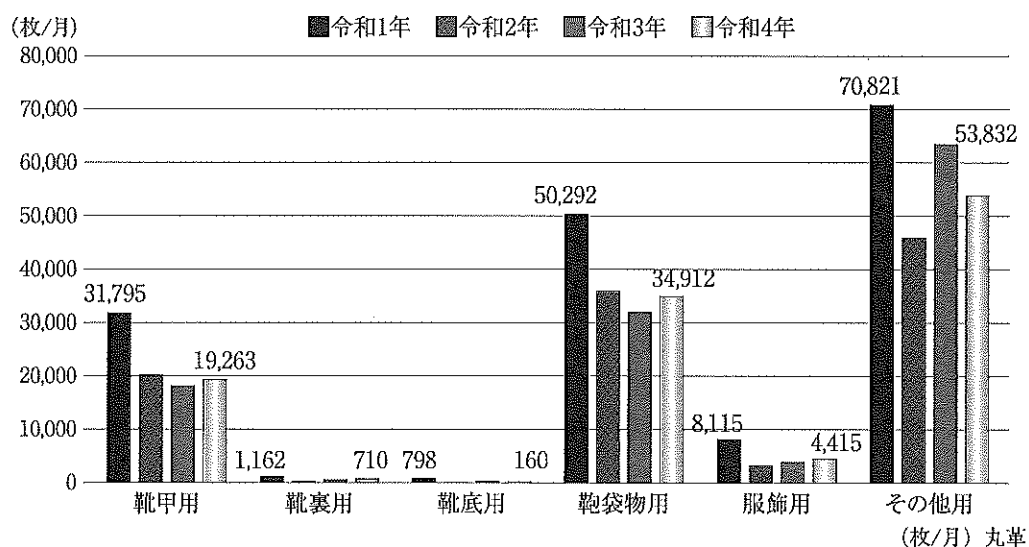
3-3. 主要革種別地域別・用途別生産販売動向（詳細）

ここでは日本で生産している主要な革種ごとに、生産実態の詳細をまとめた。

① 成牛革

まず、＜成牛革＞の用途別生産枚数を令和1年から経年で集計したものが図3-9である。用途としては「その他用」の生産量が最も多く、令和4年で53,832枚/月となっているが、ここ数年では減少傾向にある。次いで用途が多い「鞆袋物用」「靴甲用」についても同様に減少しているが、扱い量の少ない「靴底用」「服飾用」などの用途の方がさらに減少率は高く、今後は上位の3用途におおよそ絞られてくる可能性が高い。

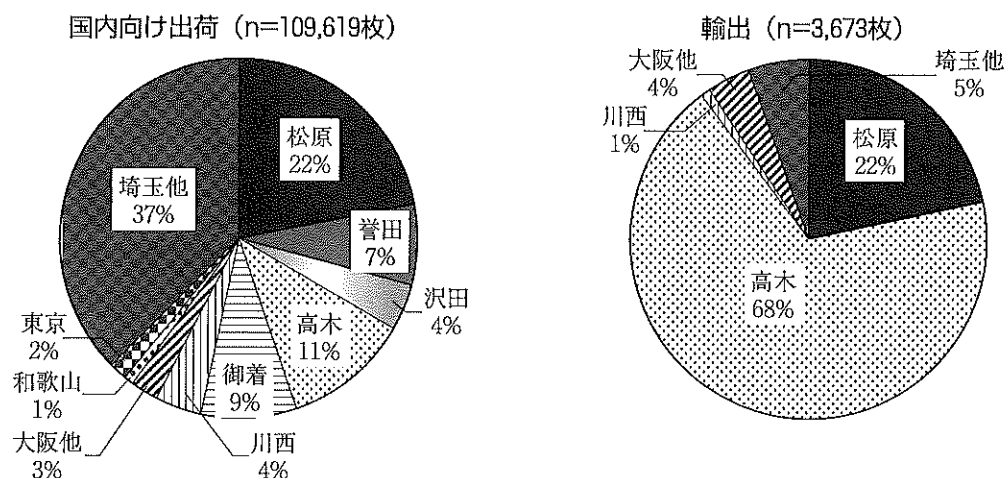
図3-9. 成牛革の用途別生産販売枚数推移



	靴甲用	靴裏用	靴底用	鞆袋物用	服飾用	その他用	計
令和1年	31,795	1,162	798	50,292	8,115	70,821	162,983
令和2年	20,150	223	115	35,954	3,275	45,977	105,694
令和3年	18,077	567	275	31,990	3,839	63,428	118,176
令和4年	19,263	710	160	34,912	4,415	53,832	113,292
令4/令1	-39.4%	-38.9%	-79.9%	-30.6%	-45.6%	-24.0%	-30.5%

図3-10は、成牛革の国内向け出荷枚数の地区別比率と、輸出枚数の地区別比率を表したものである。国内向け出荷109,619枚/月の生産地区の内訳としては、＜埼玉他地区＞が37%を占め、トップのシェアとなっている。次いで＜松原地区＞が22%のシェアを占めており、この上位2地区で全体の約6割を占めている。そして次位の＜高木地区＞までが10%以上のシェアを持っているといった構造になっている。次に輸出3,673枚/月の生産地区の内訳としては、＜高木地区＞が圧倒的に高いシェアを持っており、全体の68%を占めている。次いで＜松原地区＞の22%となり、上位2地区で全体の90%を占める結果となっている。

図3-10. 成牛革の仕向け先別地区生産販売枚数比率



次に成牛革の生産について、各地区で生産量別に製革業者数をカウントしたのが表3-5である。全体のバランスをみると、1-99枚/月の企業が23社、100-499枚/月の企業が60社となり、最も企業数が多いクラスとなった。500-999枚/月の企業が26社、そして1,000枚以上/月の企業数が25社となった。また成牛革の輸出を行っている企業数は全国で9社あった。

地区別に見ると、<松原地区>で1,000枚以上/月の生産を行っている企業が11社存在している。企業数も<高木地区>と並んで多い地区であるが、<高木地区>は499枚/月以下の企業が多い地区となっている。また輸出を行っている企業が多いのもこの2地区となっている。<埼玉他>地区は企業数こそ少ないが、1,000枚以上/月の企業が3社存在し、企業規模が大きい分、全体の生産量が多く、前記したように生産量は前記した2地区を抑えて、トップのシェアとなっている。

表3-5. 成牛革の地区別生産販売枚数別企業数

(社)

地区	企業数	1-99枚	100-499枚	500-999枚	1000枚以上	輸出企業	扱いなし・無回答	休業中
松原	74	3	15	5	11	3	27	13
誉田	44	7	11	2	2	0	13	9
沢田	16	1	3	6	0	0	2	4
高木	68	7	18	6	4	3	25	8
御着	22	2	4	4	3	0	6	3
川西	8	2	1	2	0	1	3	0
大阪他	7	0	2	0	1	1	4	0
和歌山	7	1	1	1	0	0	4	0
東京	31	0	3	0	1	0	26	1
埼玉他	13	0	2	0	3	1	8	0
計	290	23	60	26	25	9	118	38

表3-6では、<成牛革>の地区別に生産枚数を用途別・仕向け先別に集計したものであるが、生産量で言えば<埼玉他地区><松原地区><高木地区>が上位3地区であり、輸出量は<高木地区>が最も多くなっている。また用途別にみると、「靴用」は<高木地区>、「鞆・袋物用」は<松原地区>、「服飾用」は<松原地区>と<御着地区>、「その他用」は<埼玉他地区>が最も多い生産地区となっている。また用途の詳細(表3-7)をみると、「靴・履物用」として

は<高木地区>が幅広い商品に対応する革を生産しており、「鞆・袋物用」としては、<松原地区>が幅広く、量的にも対応している。「服飾用」は<松原地区>と<御着地区>、「ベルト用」としては<御着地区>の生産量が最も多い。「その他用」としては、量的に「カーシート用」が多く、これには「埼玉他地区」の製革業者が大部分に対応している。その他で「グローブミット等運動具用」「家具・インテリア用」などは<松原地区>の製革業者による生産量が多くなっている。

表3-6. 成牛革の地区別用途別生産販売枚数

(枚) 丸革/月産

地区	靴 用		鞆袋物用		服 飾 用		その他用		合 計		総合計
	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	
松 原	4,438		12,829	100	1,483		6,134	700	24,884 (96.9%)	800 (3.1%)	25,684 (22.7%)
誉 田	2,410		4,220		570		1,045		8,245 (100.0%)		8,245 (7.3%)
沢 田	700		1,550		200		2,200		4,650 (100.0%)		4,650 (4.1%)
高 木	6,785	50	5,191	443	275		551	2,020	12,802 (83.6%)	2,513 (16.4%)	15,315 (13.5%)
御 着	2,440		2,650		1,425		3,135		9,650 (100.0%)		9,650 (8.5%)
川 西	800		760		160	20	30		1,750 (98.9%)	20 (1.1%)	1,770 (1.6%)
大阪他	1,560	140	700		85		485		2,830 (95.3%)	140 (4.7%)	2,970 (2.6%)
和歌山	800		140						940 (100.0%)		940 (0.8%)
関西計	19,933 (99.1%)	190 (0.9%)	28,040 (98.1%)	543 (1.9%)	4,198 (99.5%)	20 (0.5%)	13,580 (83.3%)	2,720 (16.7%)	65,751 (95.0%)	3,473 (5.0%)	69,224 (61.1%)
	20,123 (29.1%)		28,583 (41.3%)		4,218 (6.1%)		16,300 (23.5%)		69,224 (100.0%)		
東 京			504		72		1,372		1,948 (100.0%)		1,948 (1.7%)
埼玉他	10		5,825		125		35,960	200	41,920 (99.5%)	200 (0.5%)	42,120 (37.2%)
関東計	10 (100.0%)		6,329 (100.0%)		197 (100.0%)		37,332 (99.5%)	200 (0.5%)	43,868 (99.5%)	200 (0.5%)	44,068 (38.9%)
	10 (0.1%)		6,329 (14.4%)		197 (0.4%)		37,532 (85.2%)		44,068 (100.0%)		
全国計	19,943 (99.1%)	190 (0.9%)	34,369 (98.4%)	543 (1.6%)	4,395 (99.5%)	20 (0.5%)	50,912 (94.6%)	2,920 (5.4%)	109,619 (96.8%)	3,673 (3.2%)	113,292 (100.0%)
	20,133 (17.8%)		34,912 (30.8%)		4,415 (3.9%)		53,832 (47.5%)		113,292 (100.0%)		

表3-7. 成牛革の地区別用途別生産販売枚数(詳細) 上段:(枚)丸革/月産 下段:用途別地区シェア

	靴甲用	安全・官 需靴甲用	スポーツ 靴甲用	その他の 靴甲用	靴裏用	靴底用	靴・履 物用計	ランド セル	カバン 用	ハンド バッグ用	小物用	鞆袋物 用計	服飾ベ ルト用
松原	4,438 25.2%						4,438 22.0%	180 5.2%	3,088 30.5%	5,037 51.8%	4,624 40.0%	12,929 37.0%	407 21.6%
誉田	2,160 12.3%	50 4.5%			200 28.2%		2,410 12.0%	345 9.9%	1,937 19.1%	1,273 13.1%	665 5.8%	4,220 12.1%	100 5.3%
沢田	350 2.0%	350 31.5%					700 3.5%		500 4.9%	1,000 10.3%	50 0.4%	1,550 4.4%	
高木	5,693 32.3%	700 63.1%	382 100.0%	50 33.3%	10 1.4%		6,835 33.9%	11 0.3%	1,045 10.3%	1,530 15.7%	3,048 26.4%	5,634 16.1%	55 2.9%
御着	1,800 10.2%				500 70.4%	140 87.5%	2,440 12.1%		950 9.4%	575 5.9%	1,125 9.7%	2,650 7.6%	1,090 57.9%
川西	800 4.5%						800 4.0%		400 3.9%	210 2.2%	150 1.3%	760 2.2%	
大阪他	1,580 9.0%			100 66.7%		20 12.5%	1,700 8.4%		245 2.4%	45 0.5%	410 3.5%	700 2.0%	85 4.5%
和歌山	800 4.5%						800 4.0%		100 1.0%	16 0.2%	24 0.2%	140 0.4%	
関西計	17,621 100.0%	1,100 99.1%	382 100.0%	150 100.0%	710 100.0%	160 100.0%	20,123 100.0%	536 15.4%	8,265 81.5%	9,686 99.6%	10,096 87.3%	28,583 81.9%	1,737 92.2%
東京										35 0.4%	469 4.1%	504 1.4%	22 1.2%
埼玉他		10 0.9%					10 0.0%	2,950 84.6%	1,875 18.5%		1,000 8.6%	5,825 16.7%	125 6.6%
関東計		10 0.9%					10 0.0%	2,950 84.6%	1,875 18.5%	35 0.4%	1,469 12.7%	6,329 18.1%	147 7.8%
全国計	17,621 100.0%	1,110 100.0%	382 100.0%	150 100.0%	710 100.0%	160 100.0%	20,133 100.0%	3,486 100.0%	10,140 100.0%	9,721 100.0%	11,565 100.0%	34,912 100.0%	1,884 100.0%

	衣料用	服飾手 袋用	草履用	服飾用 計	グローブ ミット等	手芸 工芸用	家具、イン テリア用	カー シート用	工業手袋等 安全具用他	ウェット ブルー	その他	その他 計	総計
松原	776 43.8%	300 66.7%		1,483 33.6%	6,150 57.4%		600 9.7%		84 3.8%			6,834 12.7%	25,684 22.7%
誉田	460 26.0%		10 3.2%	570 12.9%	580 5.4%		250 4.0%		65 2.9%		150 5.9%	1,045 1.9%	8,245 7.3%
沢田	150 8.5%	50 11.1%		200 4.5%	150 1.4%				2,050 92.8%			2,200 4.1%	4,650 4.1%
高木	220 12.4%			275 6.2%	2,210 20.6%	4 0.7%	345 5.6%	5 0.0%			7 0.3%	2,571 4.8%	15,315 13.5%
御着	35 2.0%		300 96.8%	1,425 32.3%	470 4.4%	455 79.4%	50 0.8%		10 0.5%		2,150 84.4%	3,135 5.8%	9,650 8.5%
川西	80 4.5%	100 22.2%		180 4.1%	30 0.3%							30 0.1%	1,770 1.6%
大阪他				85 1.9%	120 1.1%		365 5.9%					485 0.9%	2,970 2.6%
和歌山													940 0.8%
関西計	1,721 97.2%	450 100.0%	310 100.0%	4,218 95.5%	9,710 90.7%	459 80.1%	1,610 26.0%	5 0.0%	2,209 100.0%		2,307 90.6%	16,300 30.3%	69,224 61.1%
東京	50 2.8%			72 1.6%	1,000 9.3%	114 19.9%	118 1.9%				140 5.5%	1,372 2.5%	1,948 1.7%
埼玉他				125 2.8%			4,460 72.1%	31,600 100.0%			100 3.9%	36,160 67.2%	42,120 37.2%
関東計	50 2.8%			197 4.5%	1,000 9.3%	114 19.9%	4,578 74.0%	31,600 100.0%			240 9.4%	37,532 69.7%	44,068 38.9%
全国計	1,771 100.0%	450 100.0%	310 100.0%	4,415 100.0%	10,710 100.0%	573 100.0%	6,188 100.0%	31,605 100.0%	2,209 100.0%	0 0.0%	2,547 100.0%	53,832 100.0%	113,292 100.0%

表3-8. 成牛革の地区別用途別生産販売枚数4年間対比

(枚) 丸革/月産

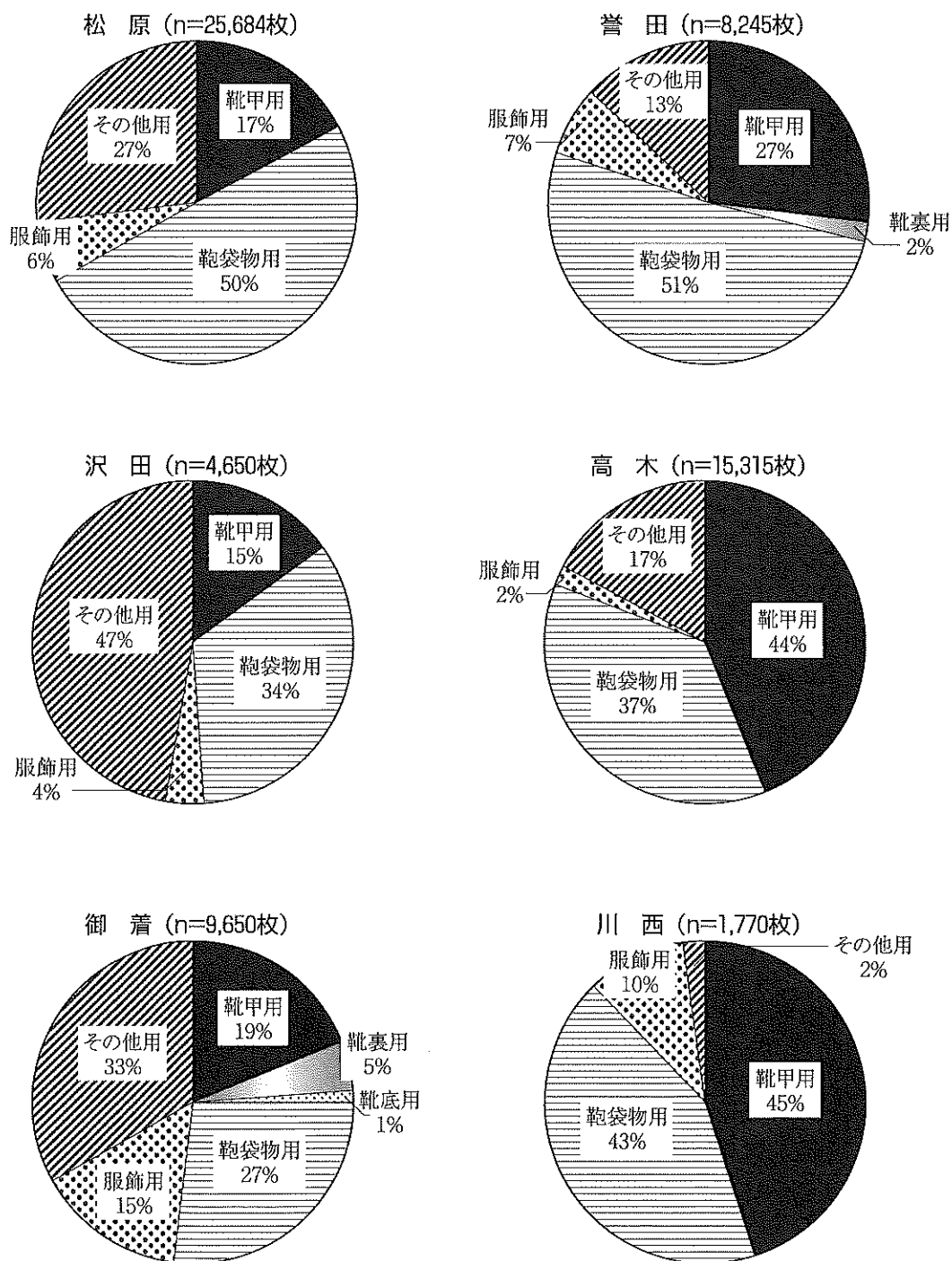
地区 及び年	用途	靴甲用		靴裏用		靴底用		鞆袋物用		服飾用		その他用		合計	
		枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)	枚数	用途別 (%)
た つ の	令1	13,275	21.7	100	0.2	0	-	31,674	51.7	2,131	3.5	14,062	23.0	61,242	37.6
	令2	7,955	20.2	70	0.2	0	-	21,312	54.1	1,256	3.2	8,830	22.4	39,423	37.3
	令3	8,006	20.2	0	-	0	-	18,385	46.3	1,915	4.8	11,416	28.7	39,722	37.6
	令4	7,348	19.0	200	0.5	0	-	18,699	48.5	2,253	5.8	10,079	26.1	38,579	34.1
姫 路	令1	12,275	44.3	1,062	3.8	65	0.2	7,325	26.4	1,358	4.9	5,643	20.4	27,728	17.0
	令2	8,771	42.5	153	0.7	65	0.3	7,567	36.7	1,293	6.3	2,770	13.4	20,619	19.5
	令3	7,446	32.0	517	2.2	215	0.9	6,097	26.2	1,218	5.2	7,750	33.3	23,243	19.7
	令4	8,625	34.5	510	2.0	140	0.6	8,284	33.2	1,700	6.8	5,706	22.9	24,965	22.0
川 西	令1	1,400	17.8	0	-	0	-	2,700	34.4	3,730	47.5	25	0.3	7,855	4.8
	令2	560	25.3	0	-	0	-	1,200	54.3	451	20.4	0	-	2,211	2.1
	令3	500	21.1	0	-	0	-	1,410	59.5	379	16.0	80	3.4	2,369	2.0
	令4	800	45.2	0	-	0	-	760	42.9	180	10.2	30	1.7	1,770	1.6
大 阪 他	令1	1,949	51.3	0	-	36	0.9	793	20.9	216	5.7	808	21.3	3,802	2.3
	令2	1,864	62.2	0	-	0	-	685	22.8	75	2.5	374	12.5	2,998	2.8
	令3	1,425	55.7	50	2.0	10	0.4	564	22.1	99	3.9	409	16.0	2,557	2.2
	令4	1,680	56.6	0	-	20	0.7	700	23.6	85	2.9	485	16.3	2,970	2.6
和 歌 山	令1	1,380	75.8	0	-	0	-	440	24.2	0	-	0	-	1,820	1.1
	令2	800	67.8	0	-	0	-	380	32.2	0	-	0	-	1,180	1.1
	令3	550	44.7	0	-	0	-	680	55.3	0	-	0	-	1,230	1.0
	令4	800	85.1	0	-	0	-	140	14.9	0	-	0	-	940	0.8
関 西 計	令1	30,279	29.6	1,162	1.1	101	0.1	42,932	41.9	7,435	7.3	20,538	20.0	102,447	62.9
	令2	19,950	30.0	223	0.3	65	0.1	31,144	46.9	3,075	4.6	11,974	18.0	66,431	62.9
	令3	17,927	25.9	567	0.8	225	0.3	27,136	39.3	3,611	5.2	19,655	28.4	69,121	58.5
	令4	19,253	27.8	710	1.0	160	0.2	28,583	41.3	4,218	6.1	16,300	23.5	69,224	61.1
関 東 計	令1	1,516	2.5	0	-	697	1.2	7,360	12.2	680	1.1	50,283	83.1	60,536	37.1
	令2	200	0.5	0	-	50	0.1	4,810	12.3	200	0.5	34,003	86.6	39,263	37.1
	令3	150	0.3	0	-	50	0.1	4,854	9.9	228	0.5	43,773	89.2	49,055	41.5
	令4	10	0.0	0	-	0	-	6,329	14.4	197	0.4	37,532	85.2	44,068	38.9
全 国 計	令1	31,795	19.5	1,162	0.7	798	0.5	50,292	30.9	8,115	5.0	70,821	43.5	162,983	100.0
	令2	20,150	19.1	223	0.2	115	0.1	35,954	34.0	3,275	3.1	45,977	43.5	105,694	100.0
	令3	18,077	15.3	567	0.5	275	0.2	31,990	27.1	3,839	3.2	63,428	53.7	118,176	100.0
	令4	19,263	17.0	710	0.6	160	0.1	34,912	30.8	4,415	3.9	53,832	47.5	113,292	100.0
	令4/令3	+6.6%		+25.2%		-41.8%		+9.1%		+15.0%		-15.1%		-4.1%	
	令4/令1	-39.4%		-38.9%		-79.9%		-30.6%		-45.6%		-24.0%		-30.5%	

図3-11では地区別の成牛革の用途別構成を表したが、「靴甲用」の比率が最も高くなったのは<高木地区>(44%)、<川西地区>(45%)、<大阪他地区>(56%)、<和歌山地区>(85%)となっている。また「鞆袋物用」の比率が最も高くなったのは、<松原地区>(50%)、<誉田地区>(51%)の2地区で、「その他用」が最も高くなったのは、<沢田地区>(47%)、<御着地

区> (33%)、<東京地区> (70%)、<埼玉他地区> (86%) の4地区となった。全体的にみると、<誉田地区><御着地区><大阪他地区>の3地区は用途に幅広く対応しているが、関東の2地区と<和歌山地区>は用途をある程度絞り込んだ展開を行っている。

また輸出を行っているのは、<松原地区><高木地区><川西地区><大阪他地区><埼玉他地区>の5地区であるが、扱ひ量は<高木地区>を除けば少量である。

図3-11. 成牛革の地区別用途別販売枚数比率



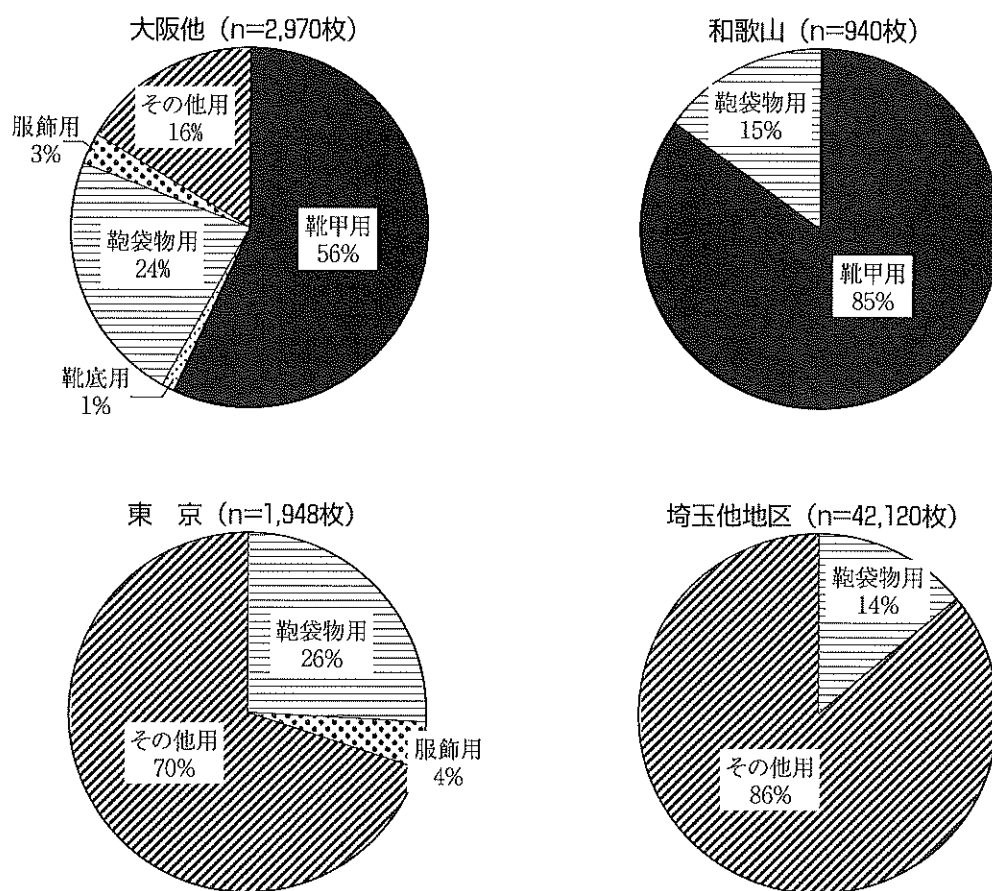
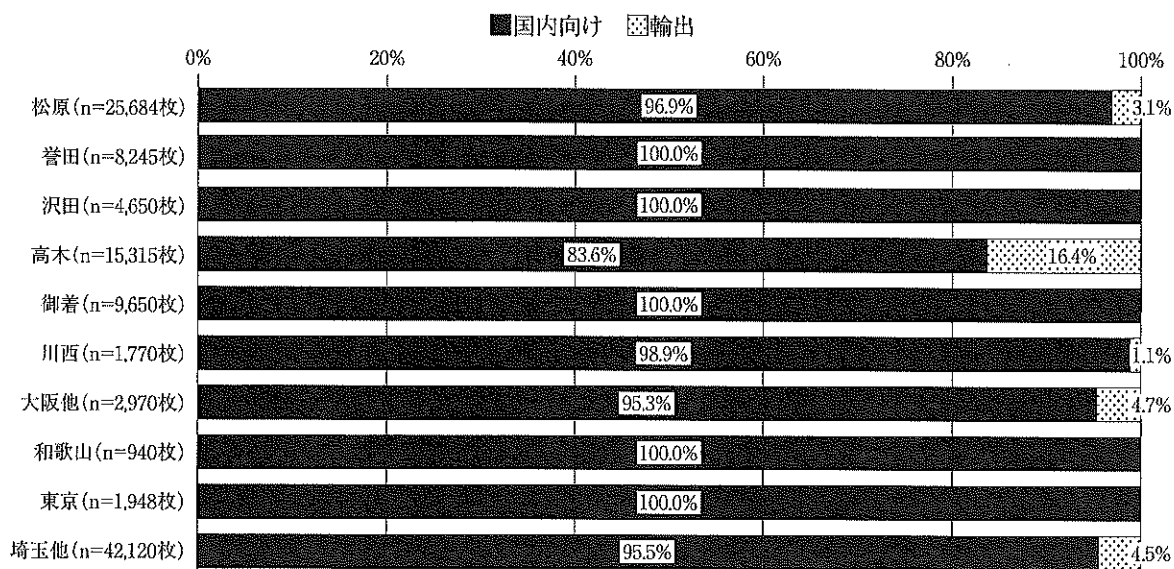


図 3 - 12. 成牛革の地区別仕向け先販売枚数比率



② 豚 革

＜豚革＞の用途別生産枚数を令和1年から経年で集計したものが図3-13である。全体の生産量としては、令和4年で54,428枚/月となっているが、用途としては「その他用」の生産量が最も多く、令和4年で18,980枚/月となっている。豚革の全体の生産量としては安定的に推移しているが、「その他用」の需要は令和3年、4年と減少傾向にある。逆に「鞆袋物用」の需要が急増しており、令和4年の調査では「靴裏用」を抜いている。

図3-13. 豚革の用途別生産販売枚数推移

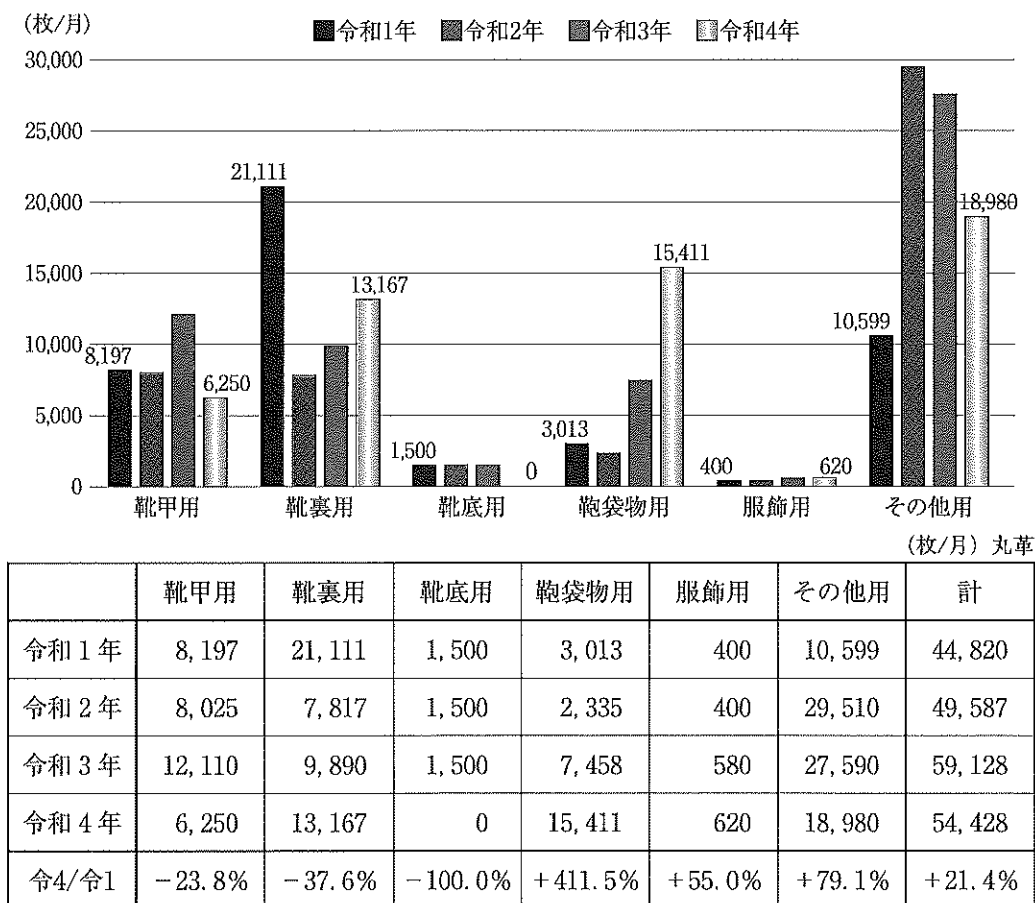
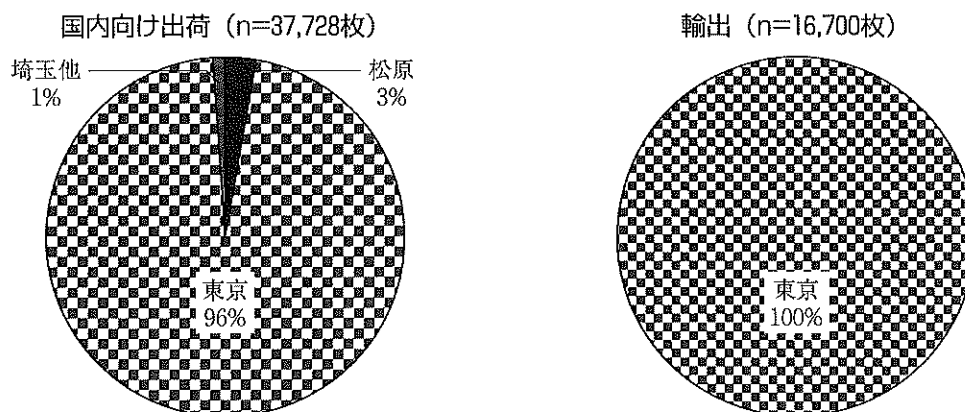


図3-14. 豚革の仕向け先別地区生産販売枚数比率



豚革の仕向け先別に、地区の生産販売比率をまとめたのが図3-14である。国内向け出荷をみると、＜東京地区＞が全体の96%を占めており、ほぼ寡占状況にある。また輸出においては100%＜東京地区＞からの出荷となっている。表3-9は、令和4年の豚革の地区別に生産枚数を用途別・仕向け先別に集計したものであるが、生産している地区が＜東京地区＞＜埼玉他地区＞＜松原地区＞の3地区に限られており、その中でも前記したように＜東京地区＞で全体の97.1%が占められている。表3-10ではその詳細をまとめているが、「靴裏用」「小物用」「その他用」「靴甲用」などが生産量としては多く、「ウェットブルー」での出荷も多いことがわかる。

表3-9. 豚革の地区別用途別生産販売枚数

(枚) 丸革/月産

地区	用途		靴 用		鞆袋物用		服飾用		その他用		合 計		総合計
	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	
松原									1,000		1,000 (100.0%)		1,000 (1.8%)
誉田													0
沢田													0
高木													0
御着													0
川西													0
大阪他													0
和歌山													0
関西計									1,000 (100.0%)		1,000 (100.0%)	0 (0.0%)	1,000 (1.8%)
									1,000 (100.0%)		1,000 (100.0%)		
東京	18,817		15,111	300	620		1,580	16,400	36,128 (68.4%)	16,700 (31.6%)		52,828 (97.1%)	
埼玉他	600								600 (100.0%)	0 (0.0%)		600 (1.1%)	
関東計	19,417 (100.0%)		15,111 (98.1%)	300 (1.9%)	620 (100.0%)		1,580 (8.8%)	16,400 (91.2%)	36,728 (68.7%)	16,700 (31.3%)		53,428 (98.2%)	
		19,417 (36.3%)		15,411 (28.8%)		620 (1.2%)		17,980 (33.7%)		53,428 (100.0%)			
全国計	19,417 (100.0%)		15,111 (98.1%)	300 (1.9%)	620 (100.0%)		2,580 (13.6%)	16,400 (86.4%)	37,728 (69.3%)	16,700 (30.7%)		54,428 (100.0%)	
		19,417 (35.7%)		15,411 (28.3%)		620 (1.1%)		18,980 (34.9%)		54,428 (100.0%)			

表3-10. 豚革の地区別用途別生産販売枚数（詳細） 上段：（枚）丸革/月産 下段：用途別地区シェア

	靴甲用	安全・官 需靴甲用	スポーツ 靴甲用	その他の 靴甲用	靴裏用	靴底用	靴・履 物用計	ランド セル	カバン 用	ハンド バッグ用	小物用	鞆袋物 用計	服飾ベ ルト用
松原													
誉田													
沢田													
高木													
御着													
川西													
大阪他													
和歌山													
関西計													
東京	6,250 100.0%				12,567 95.4%		18,817 96.9%	40 100.0%	510 100.0%	4,566 100.0%	10,295 100.0%	15,411 100.0%	70 100.0%
埼玉他					600 4.6%		600 3.1%						
関東計	6,250 100.0%				13,167 100.0%		19,417 100.0%	40 100.0%	510 100.0%	4,566 100.0%	10,295 100.0%	15,411 100.0%	70 100.0%
全国計	6,250 100.0%	0	0	0	13,167 100.0%	0	19,417 100.0%	40 100.0%	510 100.0%	4,566 100.0%	10,295 100.0%	15,411 100.0%	70 100.0%

	衣料用	服飾手 袋用	草履用	服飾用 計	グローブ ミット等	手芸 工芸用	家具、イン テリア用	カー シート用	工業手袋等 安全具用他	ウェット ブルー	その他	その他 計	総計
松原											1,000 12.3%	1,000 5.3%	1,000 1.8%
誉田													0
沢田													0
高木													0
御着													0
川西													0
大阪他													0
和歌山													0
関西計											1,000 12.3%	1,000 5.3%	1,000 1.8%
東京	550 100.0%			620 100.0%		880 100.0%				10,000 100.0%	7,100 87.7%	17,980 94.7%	52,828 97.1%
埼玉他													600 1.1%
関東計	550 100.0%			620 100.0%		880 100.0%				10,000 100.0%	7,100 87.7%	17,980 94.7%	53,428 98.2%
全国計	550 100.0%	0	0	620 100.0%	0	880 100.0%	0	0	0	10,000 100.0%	8,100 100.0%	18,980 100.0%	54,428 100.0%

図3-15. 豚革の地区別用途別販売枚数比率

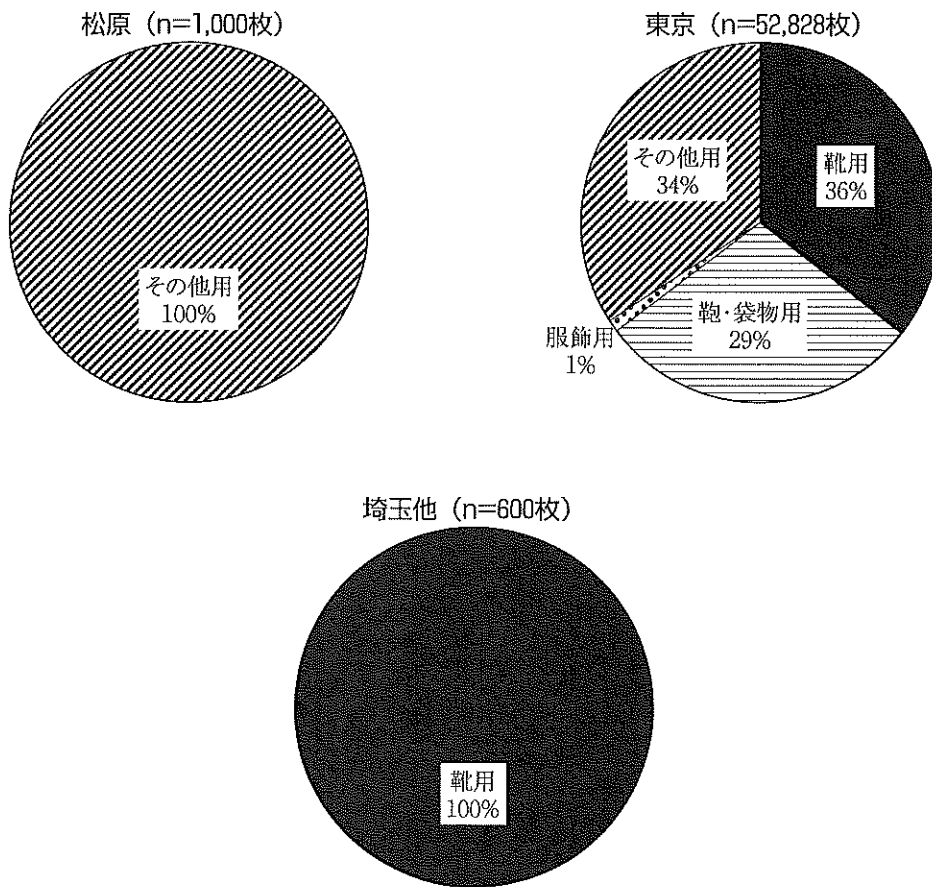
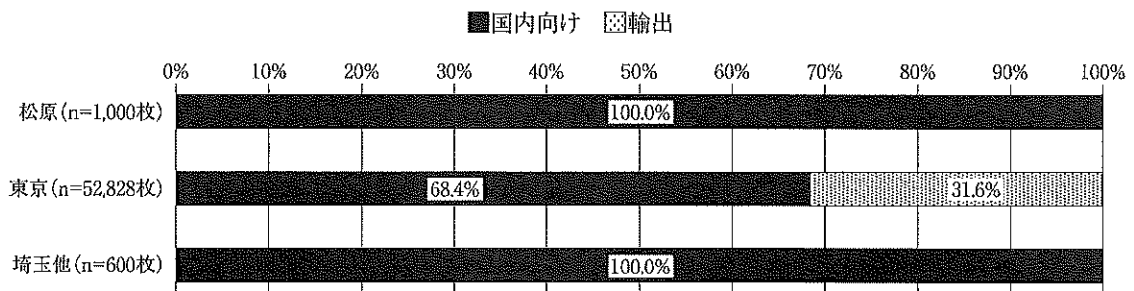


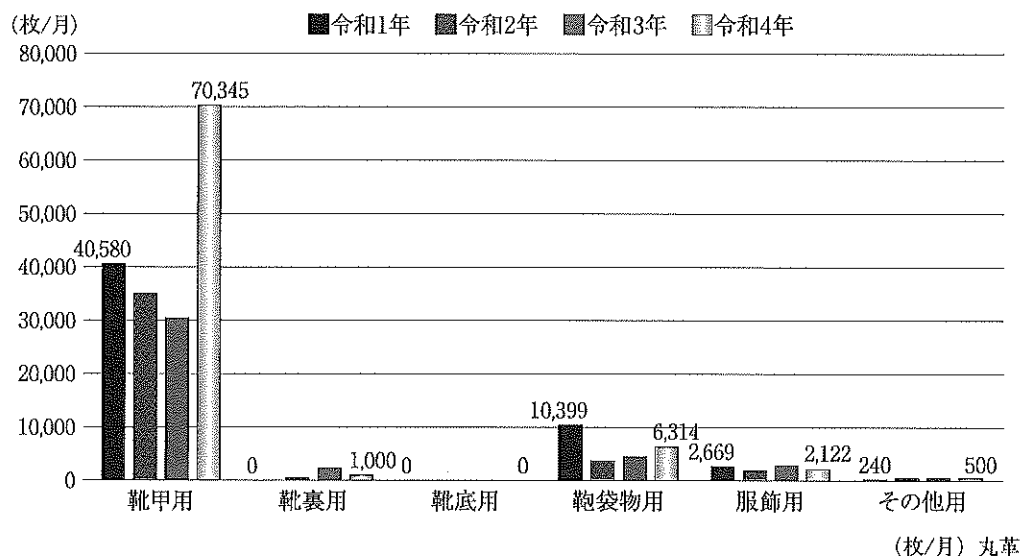
図3-16. 豚革の地区別仕向け先販売枚数比率



③ 山羊・羊革

＜山羊・羊革＞の用途別生産枚数を令和1年から経年で集計したものが図3-17である。山羊・羊革の令和4年の全体生産量は、80,281枚/月となり、令和3年から大幅な増加となった。用途としては「靴甲用」の生産量が最も多く、令和4年で70,345枚/月となっている。この用途の需要が令和4年に大きく増加したことが、全体の生産量の増加に繋がっている。それ以外では「鞆・袋物用」「服飾用」といった用途に使用されている。

図3-17. 山羊・羊革の用途別生産販売枚数推移



(枚/月) 丸革

	靴甲用	靴裏用	靴底用	鞆袋物用	服飾用	その他用	計
令和1年	40,580	0	0	10,399	2,669	240	53,888
令和2年	35,073	500	0	3,670	1,875	500	41,618
令和3年	30,414	2,300	0	4,453	2,854	500	40,521
令和4年	70,345	1,000	0	6,314	2,122	500	80,281
令4/令1	+73.3%	-	-	-39.3%	-20.5%	+108.3%	+49.0%

図3-18. 山羊・羊革の仕向け先別地区生産販売枚数比率

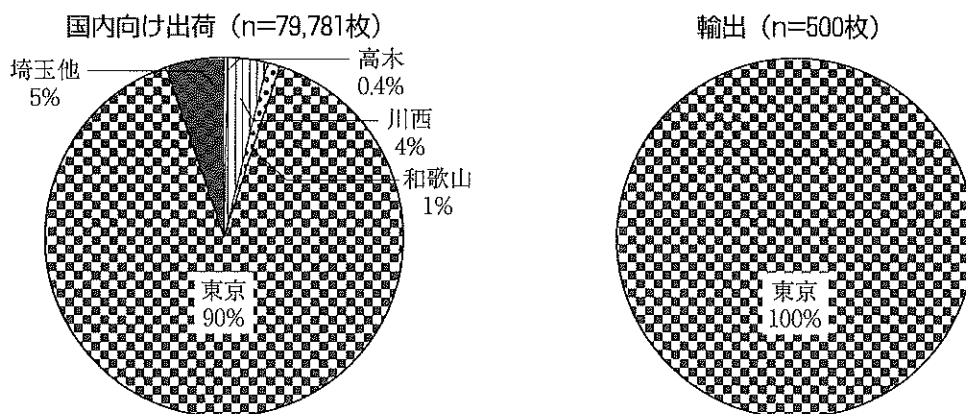


図3-18は、仕向け先別に地区生産量の比率を表したものであるが、ここでも豚革と同様に、<東京地区>が高いシェアを占めており、国内向け出荷の90%、輸出は100%が<東京地区>で生産されたものである。その他生産を行っている地区としては<埼玉他地区><川西地区><和歌山地区><高木地区>となっている。表3-11、表3-12は、用途別の生産量をまとめたものであるが、表3-12で細かく見ていくと、「靴甲用」が圧倒的に多く、その他「小物用」と「衣類用」に使われている。また海外では「鞆袋物用」に使われるケースが増えており、今後は「鞆袋物用」としての需要が増えることも予想される。

表3-11. 山羊・羊革の地区別用途別生産販売枚数

(枚) 丸革/月産

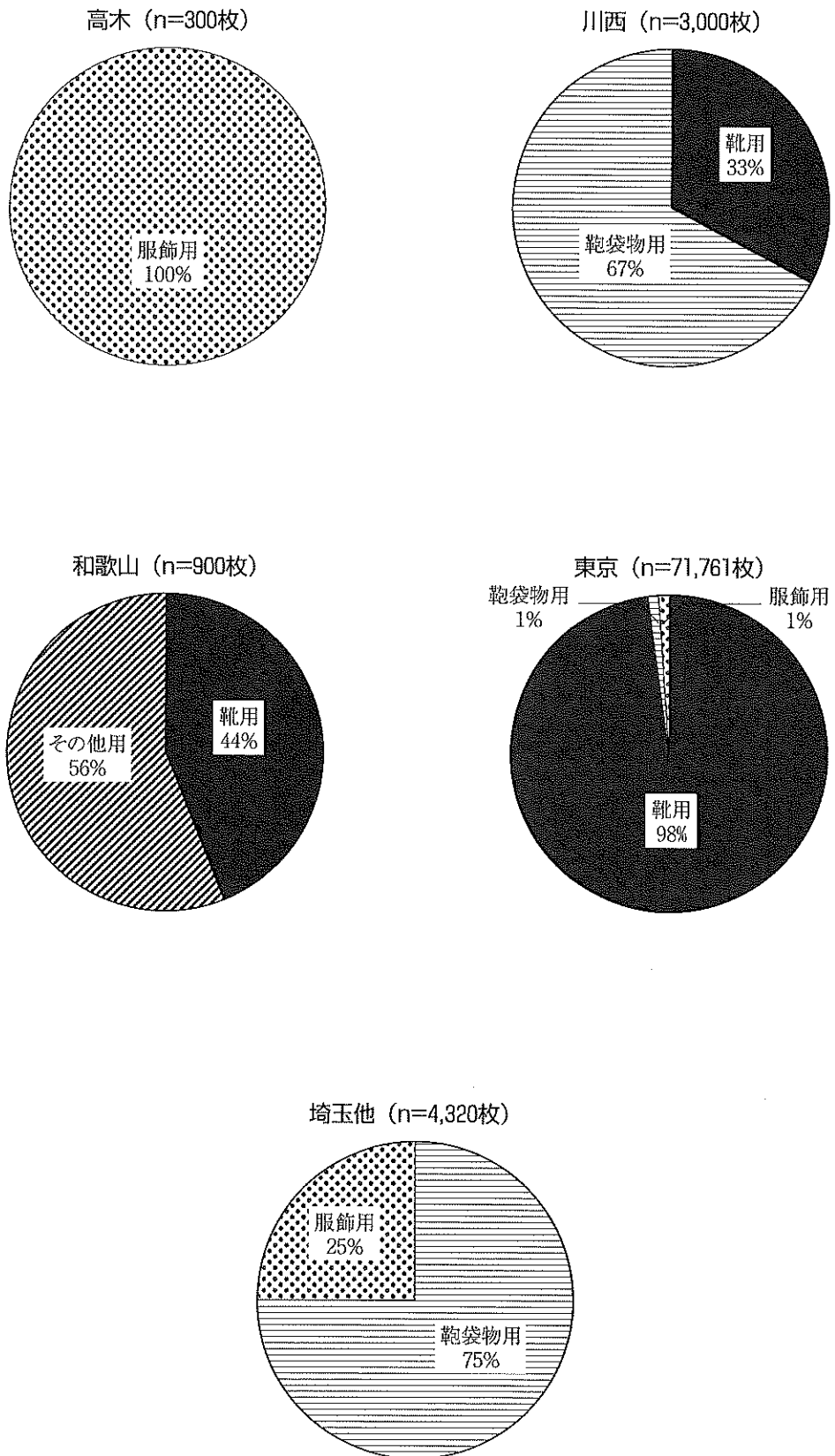
用途 地区	靴 用		鞆袋物用		服 飾 用		その他用		合 計		総合計
	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	国 内	輸 出	
松 原											
誉 田											
沢 田											
高 木					300				300 (100.0%)		300 (0.4%)
御 着											
川 西	1,000		2,000						3,000 (100.0%)		3,000 (3.7%)
大阪他											
和歌山	400						500		900 (100.0%)		900 (1.1%)
関西計	1,400 (100.0%)		2,000 (100.0%)		300 (100.0%)		500 (100.0%)		4,200 (100.0%)		4,200 (5.2%)
	1,400 (33.3%)		2,000 (47.6%)		300 (7.1%)		500 (11.9%)		4,200 (100.0%)		
東 京	69,945		554	500	762				71,261 (99.3%)	500 (0.7%)	71,761 (89.4%)
埼玉他			3,260		1,060				4,320 (100.0%)		4,320 (5.4%)
関東計	69,945 (100.0%)		3,814 (88.4%)	500 (11.6%)	1,822 (100.0%)				75,581 (99.3%)	500 (0.7%)	76,081 (94.8%)
	69,945 (91.9%)		4,314 (5.7%)		1,822 (2.4%)				76,081 (100.0%)		
全国計	71,345 (100.0%)		5,814 (92.1%)	500 (7.9%)	2,122 (100.0%)		500 (100.0%)		79,781 (99.4%)	500 (0.6%)	80,281 (100.0%)
	71,345 (88.9%)		6,314 (7.9%)		2,122 (2.6%)		500 (0.6%)		80,281 (100.0%)		

表3-12. 山羊・羊革の地区別用途別生産販売枚数（詳細） 上段：(枚) 丸革/月産 下段：用途別地区シェア

	靴甲用	安全・官 需靴甲用	スポーツ 靴甲用	その他の 靴甲用	靴裏用	靴底用	靴・履 物用計	ランド セル	カバン 用	ハンド バッグ用	小物用	鞆袋物 用計	服飾ベ ルト用
松原													
誉田													
沢田													
高木													
御着													
川西	1,000 1.4%						1,000 1.4%				2,000 31.7%	2,000 31.7%	
大阪他													
和歌山	400 0.6%						400 0.6%						
関西計	1,400 2.0%						1,400 2.0%				2,000 31.7%	2,000 31.7%	
東京	68,945 98.0%				1,000 100.0%		69,945 98.0%				1,054 16.7%	1,054 16.7%	
埼玉他											3,260 51.6%	3,260 51.6%	
関東計	68,945 98.0%				1,000 100.0%		69,945 98.0%				4,314 68.3%	4,314 68.3%	
全国計	70,345 100.0%	0	0	0	1,000 100.0%	0	71,345 100.0%	0	0	0	6,314 100.0%	6,314 100.0%	0

	衣料用	服飾手 袋用	草履用	服飾用 計	グローブ ミット等	手芸 工芸用	家具、イン テリア用	カー シート用	工業手袋等 安全具用他	ウェット ブルー	その他	その他 計	総計
松原													0
誉田													0
沢田													0
高木	300 17.0%			300 14.1%									300 0.4%
御着													0
川西													3,000 3.7%
大阪他													0
和歌山					500 100.0%							500 100.0%	900 1.1%
関西計	300 17.0%			300 14.1%	500 100.0%							500 100.0%	4,200 5.2%
東京	762 43.2%			762 35.9%									71,761 89.4%
埼玉他	700 39.7%	360 100.0%		1,060 50.0%									4,320 5.4%
関東計	1,462 83.0%	360 100.0%		1,822 85.9%									76,081 94.8%
全国計	1,762 100.0%	360 100.0%	0	2,122 100.0%	500 100.0%	0	0	0	0	0	0	500 100.0%	80,281 100.0%

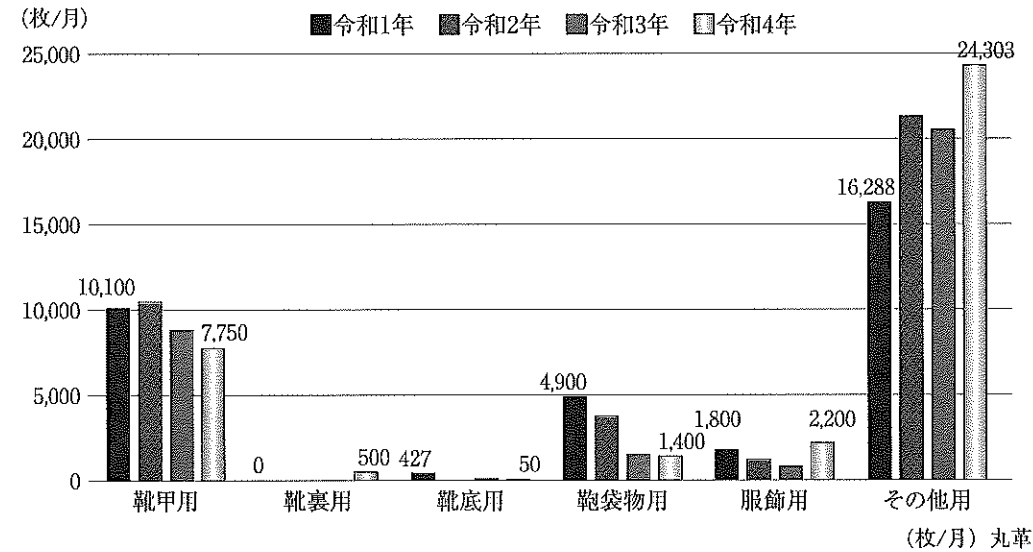
图 3-19. 山羊・羊革の地区別用途別販売枚数比率



④ 牛床革

＜牛床革＞の用途別生産枚数を令和1年から経年で集計したものが図3-20である。牛床革の全体の生産量としては36,203枚/月と、経年で見ても安定的な生産が行われている。また用途としては「その他用」の生産量が最も多く、令和4年で24,303枚/月となっており、この用途の需要はここ数年拡大している。その他では「靴甲用」「鞆袋物用」「服飾用」で使用されている。

図3-20. 牛床革の用途別生産販売枚数推移



	靴甲用	靴裏用	靴底用	鞆袋物用	服飾用	その他用	計
令和1年	10,100	0	427	4,900	1,800	16,288	33,515
令和2年	10,471	0	0	3,750	1,194	21,313	36,728
令和3年	8,800	0	100	1,520	800	20,520	31,740
令和4年	7,750	500	50	1,400	2,200	24,303	36,203
令4/令1	-23.3%	-	-88.3%	-71.4%	+22.2%	+49.2%	+8.0%

図3-21. 牛床革の仕向け先別地区生産販売枚数比率

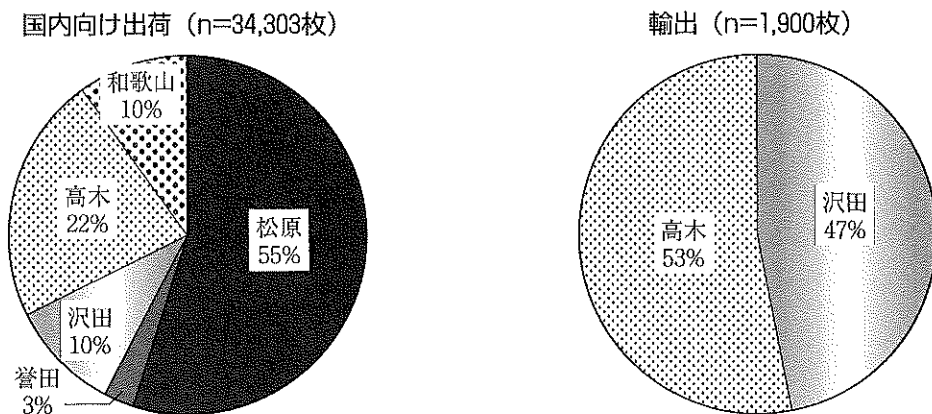


図3-19は、仕向け先別に地区生産量の比率を表したものであるが、国内向け出荷では<松原地区>が55%を占め、次いで<高木地区>(22%)となった。<沢田地区><和歌山地区>も10%を占めている。輸出は<高木地区>(53%)と<沢田地区>(47%)の2地区で占めている。

表3-13、表3-14は、用途別の生産内容をまとめたものであるが、表3-13では、「服飾用」「その他用」において輸出が行われていることがわかる。また表3-14では、「その他用」の他、「工業手袋等安全具用」や「グローブミット等運動具用」などが「靴用」等とほぼ同量の生産が行われているなど、幅広い用途で使用されていることがわかる。

表3-13. 牛床革の地区別用途別生産販売枚数

(枚) 丸革/月産

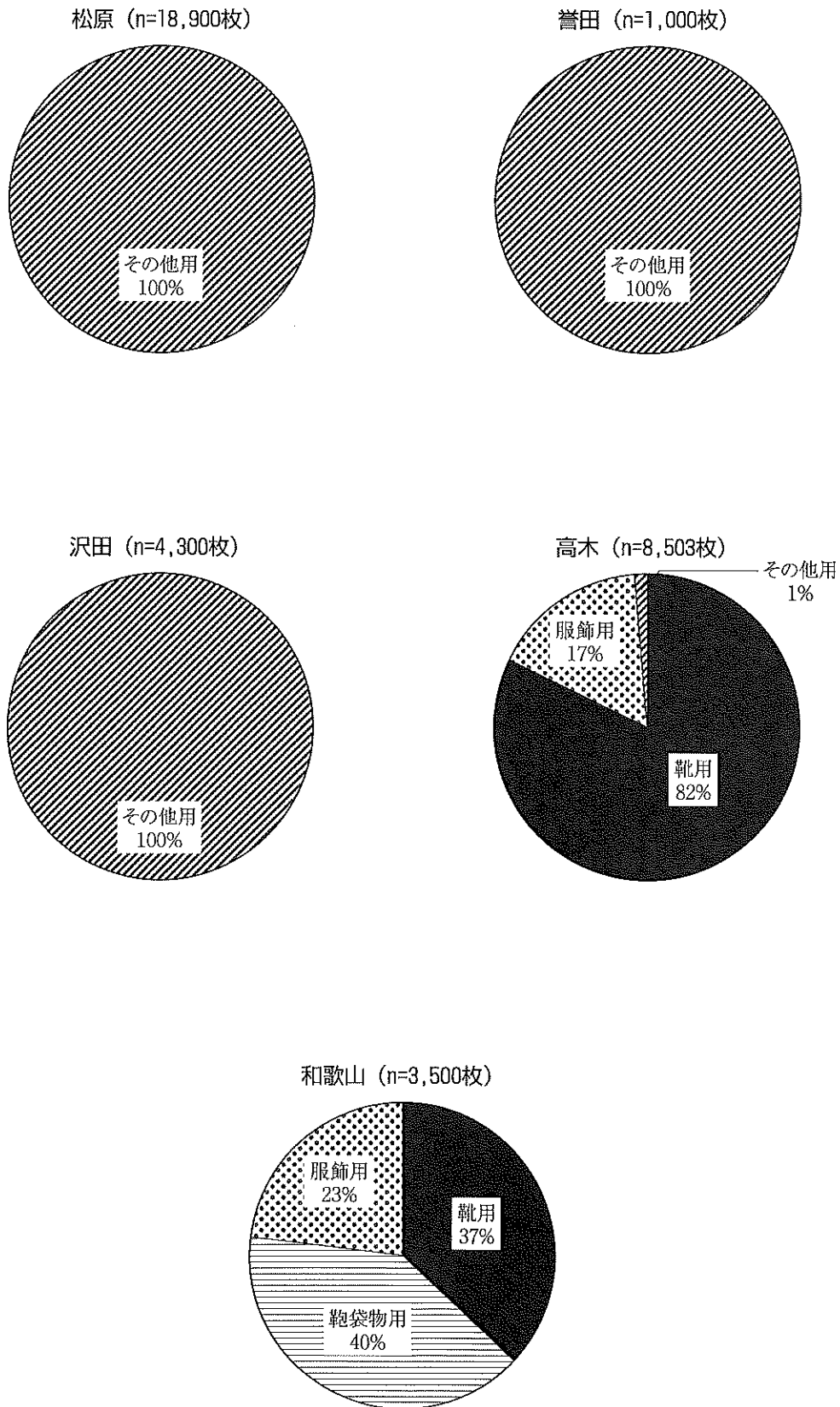
地区	靴用		鞆袋物用		服飾用		その他用		合計		総合計
	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	国内	輸出	
松原							18,900		18,900 (100.0%)		18,900 (52.2%)
誉田							1,000		1,000 (100.0%)		1,000 (2.8%)
沢田							3,400	900	3,400 (79.1%)	900 (20.9%)	4,300 (11.9%)
高木	7,000				400	1,000	103		7,503 (88.2%)	1,000 (11.8%)	8,503 (23.5%)
御着											0
川西											0
大阪他											0
和歌山	1,300		1,400		800				3,500 (100.0%)		3,500 (9.7%)
関西計	8,300 (100.0%)		1,400 (100.0%)		1,200 (54.5%)	1,000 (45.5%)	23,403 (96.3%)	900 (3.7%)	34,303 (94.8%)	1,900 (5.2%)	36,203 (100.0%)
	8,300 (22.9%)		1,400 (3.9%)		2,200 (6.1%)		24,303 (67.1%)		36,203 (100.0%)		
東京											0
埼玉他											0
関東計											0
全国計	8,300 (100.0%)		1,400 (100.0%)		1,200 (54.5%)	1,000 (45.5%)	23,403 (96.3%)	900 (3.7%)	34,303 (94.8%)	1,900 (5.2%)	36,203 (100.0%)
	8,300 (22.9%)		1,400 (3.9%)		2,200 (6.1%)		24,303 (67.1%)		36,203 (100.0%)		

表3-14. 牛床革の地区別用途別生産販売枚数(詳細) 上段:(枚)丸革/月産 下段:用途別地区シェア

	靴甲用	安全・官 需靴甲用	スポーツ 靴甲用	その他の 靴甲用	靴裏用	靴底用	靴・履 物用計	ランド セル	カバン 用	ハンド バッグ用	小物用	鞆袋物 用計	服飾ベ ルト用
松原													
誉田													
沢田													
高木	1,500 54.5%	2,800 100.0%	1,700 100.0%	500 100.0%	500 90.9%		7,000 84.3%						400 33.3%
御着													
川西													
大阪他													
和歌山	1,250 45.5%				50 9.1%		1,300 15.7%	1,000 100.0%	200 100.0%		200 100.0%	1,400 100.0%	800 66.7%
関西計	2,750 100.0%	2,800 100.0%	1,700 100.0%	500 100.0%	550 100.0%		8,300 100.0%	1,000 100.0%	200 100.0%		200 100.0%	1,400 100.0%	1,200 100.0%
東京													
埼玉他													
関東計													
全国計	2,750 100.0%	2,800 100.0%	1,700 100.0%	500 100.0%	550 100.0%	0	8,300 100.0%	1,000 100.0%	200 100.0%	0	200 100.0%	1,400 100.0%	1,200 100.0%

	衣料用	服飾手 袋用	草履用	服飾用 計	グローブ ミット等	手芸 工芸用	家具、イン テリア用	カー シート用	工業手袋等 安全具用他	ウェット ブルー	その他	その他 計	総計
松原					300 13.6%				1,500 30.0%		17,100 100.0%	18,900 77.8%	18,900 52.2%
誉田					1,000 45.4%							1,000 4.1%	1,000 2.8%
沢田					900 40.9%				3,400 68.0%			4,300 17.7%	4,300 11.9%
高木	1,000 100.0%			1,400 63.6%	3 0.1%				100 2.0%			103 0.4%	8,503 23.5%
御着													0
川西													0
大阪他													0
和歌山				800 36.4%									3,500 9.7%
関西計	1,000 100.0%			2,200 100.0%	2,203 100.0%				5,000 100.0%		17,100 100.0%	24,303 100.0%	36,203 100.0%
東京													0
埼玉他													0
関東計													0
全国計	1,000 100.0%	0	0	2,200 100.0%	2,203 100.0%	0	0	0	5,000 100.0%	0	17,100 100.0%	24,303 100.0%	36,203 100.0%

図3-22. 牛床革の地区別用途別販売枚数比率



4. 日本の製革業者の生産能力と生産実績

4-1. 生産能力と生産実績

生産能力は各企業がフル操業した場合に生産できる月産枚数であり、生産実績は令和4年1月～令和4年7月の間に生産した実績の1ヶ月平均を求めた枚数である。そして、操業率は生産実績÷生産能力で算出している。

① 生産能力と生産実績の経年変化及び操業率

図4-1は、全国の鞣し革の生産能力と生産実績の令和1年から令和4年の調査集計結果を表したものである。令和4年は生産能力68万枚強、生産実績が約28万枚となり、操業率は40.8%という結果となった。経年の変化をみても、コロナ禍の状況から少しずつ脱していることが表れているが、生産実績を比較するとまだ回復半ばといった感じがある。また令和4年の生産能力の低下は、コロナ禍の影響によって、製革業者がキャパシティを縮小した結果が表れたものと思われる。

図4-2は革種別に生産能力と生産実績の経年変化をグラフ化したものである。「成牛革」は、令和4年は生産能力が24.5万枚、生産実績は112.2万枚、操業率45.8%という結果となった。生産能力が年々低下している点及び生産実績も前年から再び低下したことは懸念材料である。操業率はやや回復している。

「中小牛革」は、令和4年の生産能力が1.7万枚、生産実績が約7千枚、操業率は40.6%という結果となった。生産能力は前年から再び低下しているが、生産実績は逆に前々年、前年からやや回復している。よって操業率も40%台に回復している。

図4-1. 生産能力/生産実績（丸革・全革種計）

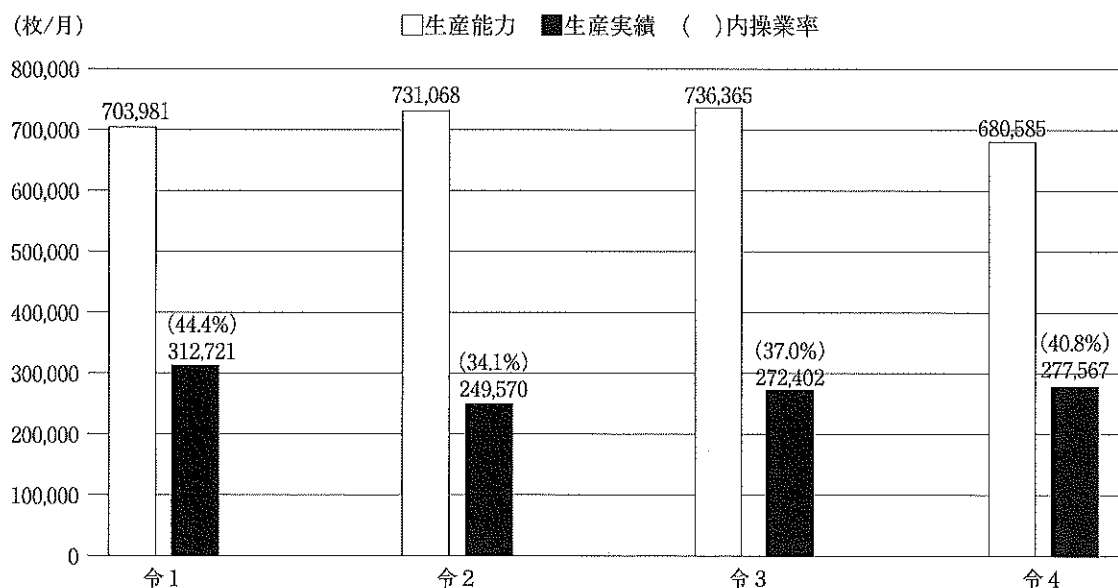
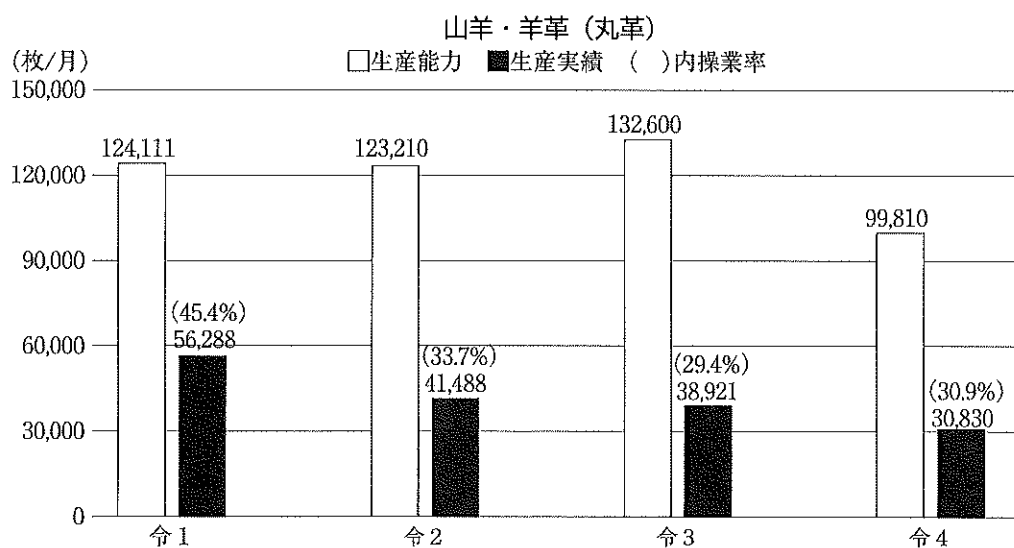
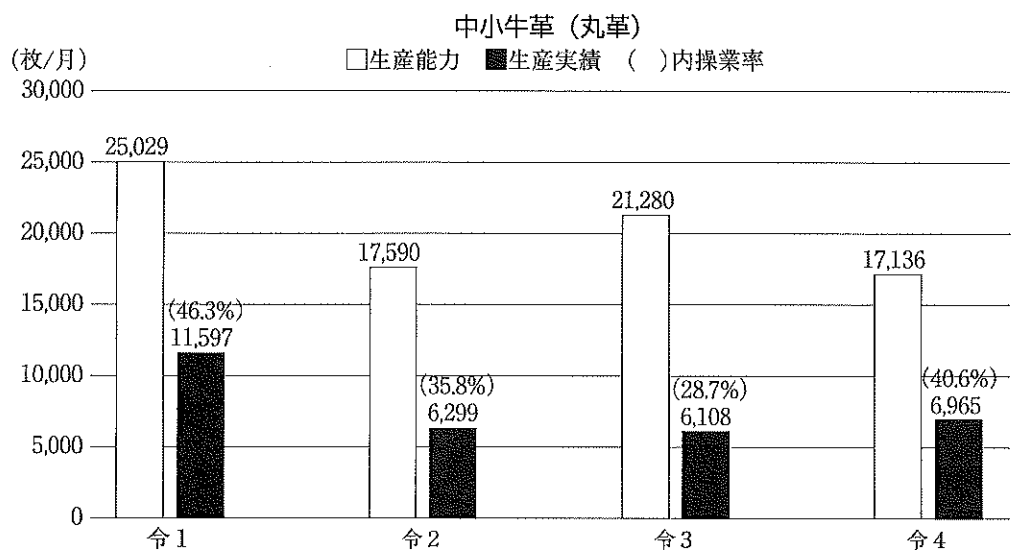
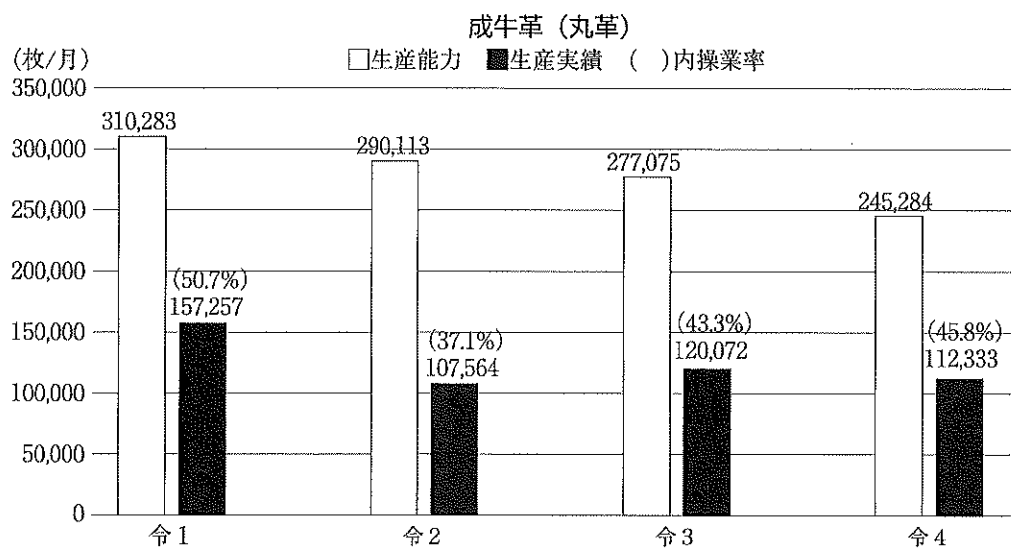
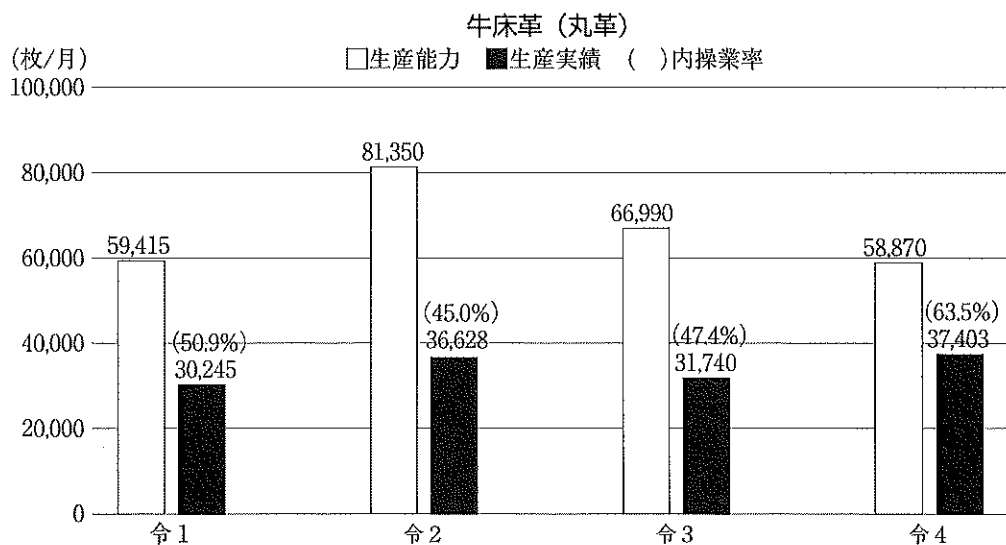
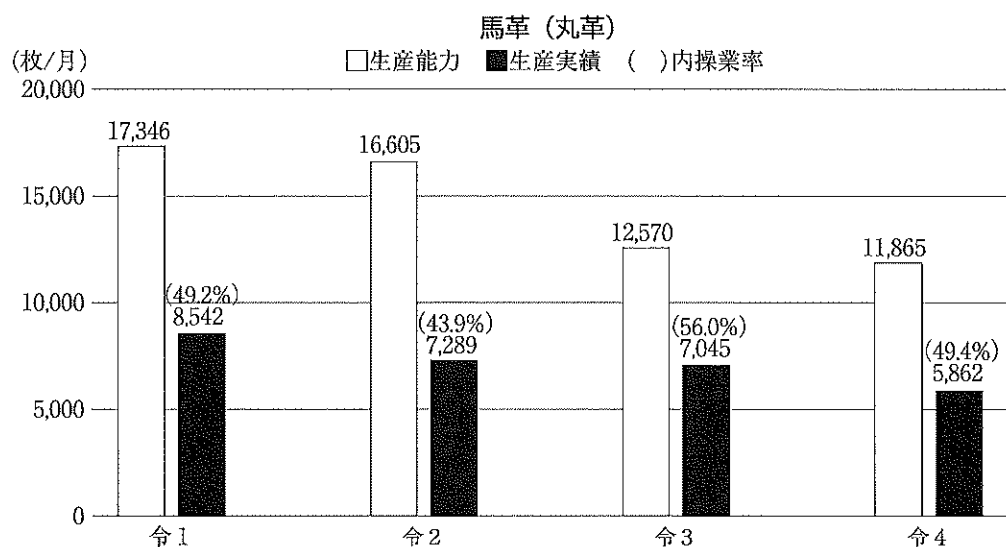
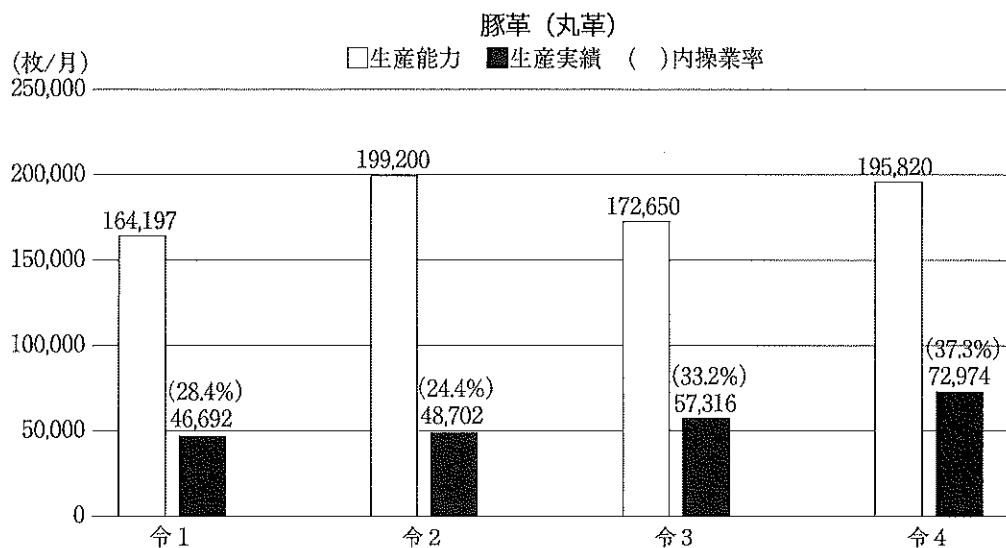


図4-2. 主要革種別生産能力/生産実績 (令和1年~令和4年)





「山羊・羊革」は、令和4年の生産能力が10万枚弱、生産実績が3万枚強となり、操業率は30.9%という結果となった。生産能力が拡大トレンドにあったが、令和4年は大きく低下して10万枚を切る結果となっている。また生産実績は年々低下しており、令和1年と比べて2.5万枚程度の減少となっている。操業率も他の革種と比べて最も低く、前年に30%を切るレベルまで落ち込んだが、今回は僅かに30%を上回る結果となった。

「豚革」は、令和4年の生産能力が19.6万枚、生産実績が7.3万枚となり、操業率は37.3%という結果となった。生産能力、生産実績とも回復基調にある。特に生産実績は令和4年は大きく拡大し、過去4年で最高の実績となっている。併せて操業率も37.3%で、「牛革」等と比較するとまだ低い水準ではあるが、徐々に上昇している。また令和1年との比較において、生産実績の増加率が他革種を大きく上回っており、56.3%の増加となっている。

「馬革」は、令和4年の生産能力が約1.2万枚、生産実績が5.8千枚となり、操業率は49.4%という結果となった。「馬革」は生産能力、生産実績とも年々低下しており、操業率こそ50%前後で推移しているが、全体的に生産が縮小傾向にある。令和1年との比較でも生産能力、生産実績とも30%以上の低下となっている。

「牛床革」は、令和4年の生産能力が約5.9万枚、生産実績が3.7万枚となり、操業率は63.5%という結果となった。生産実績こそ3.5万枚前後の水準で推移しているが、生産能力が大きく拡大した令和2年から再び令和1年のキャパシティに戻った形となっている。ただ操業率は他の革種との比較でも最も高く、唯一60%を超える水準になっている。

表4-1 革種別生産能力と生産実績の対比

(枚) 丸革/月産

年 革種	生産能力					生産実績					操業率(%)				
	令1	令2	令3	令4	令4/令1 (%)	令1	令2	令3	令4	令4/令1 (%)	令1	令2	令3	令4	令4/令1 (%)
成牛革	310,283	290,113	277,075	245,284	-20.9	157,257	107,564	120,072	112,333	-28.6	50.7	37.1	43.3	45.8	-4.9
中牛革	17,305	12,390	15,130	12,180	-29.6	8,818	4,468	3,705	4,715	-46.5	51.0	36.1	24.5	38.7	-12.2
小牛革	7,724	5,200	6,150	4,956	-35.8	2,779	1,831	2,403	2,250	-19.0	36.0	35.2	39.1	45.4	+9.4
馬革	17,346	16,605	12,570	11,865	-31.6	8,542	7,289	7,045	5,862	-31.4	49.2	43.9	56.0	49.4	+0.2
豚革	164,197	199,200	172,650	195,820	+19.3	46,692	48,702	57,316	72,974	+56.3	28.4	24.4	33.2	37.3	+8.8
山羊革	47,567	55,810	80,900	57,560	+21.0	22,738	21,714	22,948	12,469	-45.2	47.8	38.9	28.4	21.7	-26.1
羊革	76,544	67,400	51,700	42,250	-44.8	33,550	19,774	15,973	18,361	-45.3	43.8	29.3	30.9	43.5	-0.4
牛床革	59,415	81,350	66,990	58,870	-0.9	30,245	36,628	31,740	37,403	+23.7	50.9	45.0	47.4	63.5	+12.6
豚床革	3,600	3,000	53,200	51,800	+1338.9	2,100	1,600	11,200	11,200	+433.3	58.3	53.3	21.1	21.6	-36.7
合計	703,981	731,068	736,365	680,585	-3.3	312,721	249,570	272,402	277,567	-11.2	44.4	34.1	37.0	40.8	-3.6

② 地区別・革種別生産能力と生産実績

地区別の令和4年の生産能力と生産実績をまとめた。

<松原地区>は「成牛革」生産中心の地区。また「牛床革」も地区別に見ると最も生産枚数が多くなっている。全般的に操業率も高めである。

<誉田地区>は「成牛革」生産中心の地区。生産体制としては<松原地区>と近いバランス。ただ操業率は他地区との比較においても低くなっている。

<沢田地区>も「成牛革」生産中心の地区。操業率は全体的に50%を超えている。

<高木地区>は革種問わず、全般的に生産対応しており、受け皿が多い地区。革種毎にみた場合、コロナ禍の影響もあって、操業率はいずれもやや低めとなっている。

<御着地区>は「成牛革」生産中心の地区。操業率も「牛」関連革に関しては50%を超えている。

<川西地区>は「山羊・羊革」が最も生産キャパシティも高く、生産実績も高い。ただ操業率は全体的に低くなっている。

表4-2 地区別生産能力/生産実績 (枚/月)

<松原>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	61,090	27,216	44.6%
中小牛革	1,050	950	90.5%
山羊・羊革	0	0	-
豚革	1,000	1,000	100.0%
馬革	0	0	-
牛床革	21,250	18,900	88.9%
その他革	1,650	500	30.3%
計	86,040	48,566	56.4%

<誉田>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	27,100	8,900	32.8%
中小牛革	1,000	650	65.0%
山羊・羊革	0	0	-
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	5,500	1,000	18.2%
その他革	0	0	-
計	33,600	10,550	31.4%

<沢田>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	8,300	4,650	56.0%
中小牛革	0	0	-
山羊・羊革	0	0	-
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	8,200	4,300	52.4%
その他革	160	100	62.5%
計	16,660	9,050	54.3%

<高木>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	44,564	15,289	34.3%
中小牛革	3,636	1,463	40.2%
山羊・羊革	1,260	500	39.7%
豚革	70,000	20,000	28.6%
馬革	8,500	3,652	43.0%
牛床革	15,220	8,403	55.2%
その他革	62,230	10,356	16.6%
計	205,410	59,663	29.0%

(枚/月)

<御着>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	16,240	9,460	58.3%
中小牛革	2,106	1,053	50.0%
山羊・羊革	500	50	10.0%
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	200	100	50.0%
その他革	300	70	23.3%
計	19,346	10,733	55.5%

(枚/月)

<川西>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	5,230	1,770	33.8%
中小牛革	0	0	-
山羊・羊革	15,000	3,000	20.0%
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	0	0	-
その他革	4,000	1,500	37.5%
計	24,230	6,270	25.9%

<大阪他>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	6,190	2,710	43.8%
中小牛革	2,600	1,800	69.2%
山羊・羊革	0	0	-
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	0	0	-
その他革	0	0	-
計	8,790	4,510	51.3%

<和歌山>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	2,400	940	39.2%
中小牛革	4,650	480	10.3%
山羊・羊革	2,800	900	32.1%
豚革	0	0	-
馬革	500	200	40.0%
牛床革	6,000	3,500	58.3%
その他革	800	16	2.0%
計	17,150	6,036	35.2%

<東京>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	3,320	1,928	58.1%
中小牛革	3,800	1,442	37.9%
山羊・羊革	72,750	22,360	30.7%
豚革	124,020	51,374	41.4%
馬革	15	10	66.7%
牛床革	2,500	1,200	48.0%
その他革	10,900	6,718	61.6%
計	217,305	85,032	39.1%

<埼玉他>	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	70,850	39,460	55.7%
中小牛革	400	180	45.0%
山羊・羊革	7,500	4,320	57.6%
豚革	1,500	460	30.7%
馬革	2,850	2,000	70.2%
牛床革	0	0	-
その他革	3,140	1,420	45.2%
計	86,240	47,840	55.5%

<大阪他地区>は完全に「成牛革」「中小牛革」の生産地区で、「中小牛革」については他地区と比べても最も大きい生産実績となっている。操業率も「中小牛革」は約70%となっている。

<和歌山地区>は「豚革」以外を満遍なくこなし、メインの扱いは「牛床革」で、操業率も58.3%となっている。

<東京地区>は「豚革」「山羊・羊革」がメインの生産地区。他地区と比較しても、この2つの革種に関しては圧倒的な規模を持っている。生産実績においても「豚革」「山羊・羊革」とも、同地区が全体の70%強を占めている。ただ「山羊・羊革」の操業率はやや低下している。

<埼玉他地区>は同地区も「牛床革」以外は全て生産をこなす体制を持っている。規模の大きい製革業者が属しており、メインの「成牛革」の生産実績は他地区との比較でトップである。

表4-3. 地区別生産能力と生産実績の4年間対比①

(枚)丸革/月産

地区 及び年	革種	成牛革			中牛革			小牛革			馬革		
		生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)
たつの	令1	127,248	60,530	47.6	1,500	965	64.3	430	280	65.1			
	令2	118,821	41,829	35.2	250	210	84.0	150	100	66.7			
	令3	113,690	43,838	38.6				400	360	90.0	500	50	10.0
	令4	96,490	40,776	42.3	1,900	1,450	76.3	150	150	100.0			
姫路	令1	75,453	26,872	35.6	7,334	2,727	37.2	1,900	350	18.4	12,685	5,712	45.0
	令2	67,550	19,012	28.1	2,710	1,339	49.4	1,600	450	28.1	12,890	5,767	44.7
	令3	70,695	21,305	30.1	4,230	865	20.4	3,050	1,246	40.9	9,300	5,283	56.8
	令4	60,804	24,749	40.7	1,530	410	26.8	2,106	1,053	50.0	8,500	3,652	43.0
川西	令1	9,340	4,880	52.2				3,180	1,428	44.9			
	令2	7,400	2,400	32.4	150	150	100.0	800	200	25.0	200	20	10.0
	令3	7,320	2,369	32.4				2,000	600	30.0			
	令4	5,230	1,770	33.8									
大阪他	令1	8,350	4,139	49.6	2,000	1,813	90.7	500	13	2.6			
	令2	7,292	3,083	42.3	2,500	1,165	46.6	350	286	81.7			
	令3	7,100	2,815	39.6	2,000	879	44.0	100	17	17.0			
	令4	6,190	2,710	43.8	1,400	1,000	71.4	1,200	800	66.7			
和歌山	令1	3,600	1,820	50.6	3,100	1,550	50.0				700	400	57.1
	令2	4,250	1,180	27.8	5,650	1,000	17.7				1,500	300	20.0
	令3	2,500	680	27.2	5,650	550	9.7				400	100	25.0
	令4	2,400	940	39.2	4,650	480	10.3				500	200	40.0
関西計	令1	223,991	98,241	43.9	13,934	7,055	50.6	6,010	2,071	34.5	13,385	6,112	45.7
	令2	205,313	67,504	32.9	11,260	3,864	34.3	2,900	1,036	35.7	14,590	6,087	41.7
	令3	201,305	71,007	35.3	11,880	2,294	19.3	5,550	2,223	40.1	10,200	5,433	53.3
	令4	171,114	70,945	41.5	9,480	3,340	35.2	3,456	2,003	58.0	9,000	3,852	42.8
関東計	令1	86,292	59,016	68.4	3,371	1,763	52.3	1,714	708	41.3	3,961	2,430	61.3
	令2	84,800	40,060	47.2	1,130	604	53.5	2,300	795	34.6	2,015	1,202	59.7
	令3	75,770	49,065	64.8	3,250	1,411	43.4	600	180	30.0	2,370	1,612	68.0
	令4	74,170	41,388	55.8	2,700	1,375	50.9	1,500	247	16.5	2,865	2,010	70.2
全国計	令1	310,283	157,257	50.7	17,305	8,818	51.0	7,724	2,779	36.0	17,346	8,542	49.2
	令2	290,113	107,564	37.1	12,390	4,468	36.1	5,200	1,831	35.2	16,605	7,289	43.9
	令3	277,075	120,072	43.3	15,130	3,705	24.5	6,150	2,403	39.1	12,570	7,045	56.0
	令4	245,284	112,333	45.8	12,180	4,715	38.7	4,956	2,250	45.4	11,865	5,862	49.4

表4-3. 地区別生産能力と生産実績の4年間対比②

(枚) 丸革/月産

地区 及び年		豚 革			山 羊 革			羊 革			牛 床 革		
		生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)	生産能力	生産実績	操業率 (%)
たつの	令1										22,233	16,018	72.0
	令2	500	275	55.0							48,430	24,277	50.1
	令3										42,310	19,420	45.9
	令4	1,000	1,000	100.0							34,950	24,200	69.2
姫路	令1	100	10	10.0	10,400	2,010	19.3	7,380	1,436	19.5	27,325	9,700	35.5
	令2	60,000	20,000	33.3	4,160	1,850	44.5	1,200	400	33.3	23,720	10,451	44.1
	令3	70,000	20,000	28.6	2,500	1,700	68.0	900	250	27.8	17,680	8,120	45.9
	令4	70,000	20,000	28.6	660	200	30.3	1,100	350	31.8	15,420	8,503	55.1
川西	令1												
	令2				4,000	300	7.5						
	令3												
	令4				7,500	1,200	16.0	7,500	1,500	20.0			
大阪他	令1												
	令2												
	令3												
	令4												
和歌山	令1				2,000	1,000	50.0				9,000	4,200	46.7
	令2				1,300	400	30.8	1,000	500	50.0	9,000	1,700	18.9
	令3				21,300	1,400	6.6	1,000	500	50.0	7,000	4,200	60.0
	令4				1,300	400	30.8	1,500	500	33.3	6,000	3,500	58.3
関西計	令1	100	10	10.0	12,400	3,010	24.3	7,380	1,436	19.5	58,558	29,918	51.1
	令2	60,500	20,275	33.5	9,460	2,550	27.0	2,200	900	40.9	81,150	36,428	44.9
	令3	70,000	20,000	28.6	23,800	3,100	13.0	1,900	750	39.5	66,990	31,740	47.4
	令4	71,000	21,000	29.6	9,460	1,800	19.0	10,100	2,350	23.3	56,370	36,203	64.2
関東計	令1	164,097	46,682	28.4	35,167	19,728	56.1	69,164	32,114	46.4	857	327	38.2
	令2	138,700	28,427	20.5	46,350	19,164	41.3	65,200	18,874	28.9	200	200	100.0
	令3	102,650	37,316	36.4	57,100	19,848	34.8	49,800	15,223	30.6			
	令4	124,820	51,974	41.6	48,100	10,669	22.2	32,150	16,011	49.8	2,500	1,200	48.0
全国計	令1	164,197	46,692	28.4	47,567	22,738	47.8	76,544	33,550	43.8	59,415	30,245	50.9
	令2	199,200	48,702	24.4	55,810	21,714	38.9	67,400	19,774	29.3	81,350	36,628	45.0
	令3	172,650	57,316	33.2	80,900	22,948	28.4	51,700	15,973	30.9	66,990	31,740	47.4
	令4	195,820	72,974	37.3	57,560	12,469	21.7	42,250	18,361	43.5	58,870	37,403	63.5

表4-4. 草種別生産能力と生産実績①

成 牛 草

(枚) 丸草/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計		
松 原	56,375	4,555	160	61,090	25,266	1,900	50	27,216	44.6%	
誉 田	24,900	2,200		27,100	8,095	805		8,900	32.8%	
沢 田	7,800	400	100	8,300	4,400	200	50	4,650	56.0%	
たつの 計	89,075	7,155	260	96,490	37,761	2,905	100	40,766	42.2%	
高 木	38,744	500	5,320	44,564	12,787	320	2,182	15,289	34.3%	
御 着	14,300	1,940		16,240	8,565	895		9,460	58.3%	
姫 路 計	53,044	2,440	5,320	60,804	21,352	1,215	2,182	24,749	40.7%	
川 西	4,840	250	140	5,230	1,640	100	30	1,770	33.8%	
大 阪 他	4,640	1,550		6,190	2,220	490		2,710	43.8%	
和 歌 山	2,400			2,400	940			940	39.2%	
関 西	計	153,999	11,395	5,720	171,114	63,913	4,710	2,312	70,935	41.5%
	操業率					41.5%	41.3%	40.4%	41.5%	-
東 京	50	1,100	2,170	3,320	35	773	1,120	1,928	58.1%	
埼 玉 他	66,000	4,700	150	70,850	36,960	2,400	100	39,460	55.7%	
関 東	計	66,050	5,800	2,320	74,170	36,995	3,173	1,220	41,388	55.8%
	操業率					56.0%	54.7%	52.6%	55.8%	-
全 国	合 計	220,049	17,195	8,040	245,284	100,908	7,883	3,532	112,323	45.8%
	操業率					45.9%	45.8%	43.9%	45.8%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

中 牛 草

(枚) 丸草/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計		
松 原	900			900	800			800	88.9%	
誉 田	1,000			1,000	650			650	65.0%	
沢 田				0				0	-	
たつの 計	1,900	0	0	1,900	1,450	0	0	1,450	76.3%	
高 木	1,430	50	50	1,530	380	20	10	410	26.8%	
御 着				0				0	-	
姫 路 計	1,430	50	50	1,530	380	20	10	410	26.8%	
川 西				0				0	-	
大 阪 他	1,400			1,400	1,000			1,000	71.4%	
和 歌 山	4,650			4,650	480			480	10.3%	
関 西	計	9,380	50	50	9,480	3,310	20	10	3,340	35.2%
	操業率					35.3%	40.0%	20.0%	35.2%	-
東 京	1,000	1,700	0	2,700	500	875	0	1,375	50.9%	
埼 玉 他				0				0	-	
関 東	計	1,000	1,700	0	2,700	500	875	0	1,375	50.9%
	操業率					50.0%	51.5%	-	50.9%	-
全 国	合 計	10,380	1,750	50	12,180	3,810	895	10	4,715	38.7%
	操業率					36.7%	51.1%	20.0%	38.7%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

表4-4. 革種別生産能力と生産実績②

小 牛 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計		
松 原	150			150	150			150	100.0%	
誉 田				0				0	-	
沢 田				0				0	-	
たつの 計	150	0	0	150	150	0	0	150	100.0%	
高 木	1,706	200	200	2,106	853	100	100	1,053	50.0%	
御 着				0				0	-	
姫路 計	1,706	200	200	2,106	853	100	100	1,053	50.0%	
川 西				0				0	-	
大阪 他	1,200			1,200	800			800	66.7%	
和 歌 山				0				0	-	
関 西	計	3,056	200	200	3,456	1,803	100	100	2,003	58.0%
	操業率				59.0%	50.0%	50.0%	58.0%	-	
東 京	1,100			1,100	67			67	6.1%	
埼 玉 他	400			400	180			180	16.8%	
関 東	計	1,500	0	0	1,500	247	0	247	16.5%	
	操業率				16.5%	-	-	16.5%	-	
全 国	合 計	4,556	200	200	4,956	2,050	100	100	2,250	45.4%
	操業率				45.0%	50.0%	50.0%	45.4%	-	

注：操業率＝生産実績÷生産能力

馬 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合 計		
松 原				0				0	-	
誉 田				0				0	-	
沢 田				0				0	-	
たつの 計	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
高 木	5,900	2,600		8,500	2,352	1,300		3,652	43.0%	
御 着				0				0	-	
姫路 計	5,900	2,600	0	8,500	2,352	1,300	0	3,652	43.0%	
川 西				0				0	-	
大阪 他				0				0	-	
和 歌 山		500		500		200		200	40.0%	
関 西	計	5,900	3,100	0	9,000	2,352	1,500	0	3,852	42.8%
	操業率				39.9%	48.4%	-	42.8%	-	
東 京			15	15			10	10	66.7%	
埼 玉 他		2,700	150	2,850		1,900	100	2,000	70.2%	
関 東	計	0	2,700	165	2,865	0	1,900	110	2,010	70.2%
	操業率				-	70.4%	66.7%	70.2%	-	
全 国	合 計	5,900	5,800	165	11,865	2,352	3,400	110	5,862	49.4%
	操業率				39.9%	58.6%	66.7%	49.4%	-	

注：操業率＝生産実績÷生産能力

表4-4. 草種別生産能力と生産実績③

豚 草

(枚) 丸草/月産

	生産能力				生産実績				操業率
	クロム 糞し	タンニン 糞し	染草・ その他	合 計	クロム 糞し	タンニン 糞し	染草・ その他	合 計	
松 原			1,000	1,000			1,000	1,000	100.0%
誉 田				0				0	-
沢 田				0				0	-
たつの 計	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	100.0%
高 木	70,000			70,000	20,000			20,000	28.6%
御 着				0				0	-
姫 路 計	70,000	0	0	70,000	20,000	0	0	20,000	28.6%
川 西				0				0	-
大 阪 他				0				0	-
和 歌 山				0				0	-
関 西 計	70,000	0	1,000	71,000	20,000	0	1,000	21,000	29.6%
操業率					28.6%	-	100.0%	29.6%	-
東 京	85,800	28,020	10,200	124,020	25,130	19,394	6,850	51,374	41.4%
埼 玉 他		800		800		600		600	75.0%
関 東 計	85,800	28,820	10,200	124,820	25,130	19,994	6,850	51,974	41.6%
操業率					29.3%	69.4%	67.2%	41.6%	-
全 国 合 計	155,800	28,820	11,200	195,820	45,130	19,994	7,850	72,974	37.3%
操業率					29.0%	69.4%	70.1%	37.3%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

山 羊 草

(枚) 丸草/月産

	生産能力				生産実績				操業率
	クロム 糞し	タンニン 糞し	染草・ その他	合 計	クロム 糞し	タンニン 糞し	染草・ その他	合 計	
松 原				0				0	-
誉 田				0				0	-
沢 田				0				0	-
たつの 計	0	0	0	0	0	0	0	0	-
高 木	660			660	200			200	30.3%
御 着				0				0	-
姫 路 計	660	0	0	660	200	0	0	200	30.3%
川 西	7,500			7,500	1,500			1,500	20.0%
大 阪 他				0				0	-
和 歌 山	1,300			1,300	400			400	30.8%
関 西 計	9,460	0	0	9,460	2,100	0	0	2,100	22.2%
操業率					22.2%	-	-	22.2%	-
東 京	30,350	1,250	15,000	46,600	6,516	693	3,000	10,209	21.9%
埼 玉 他	1,500			1,500	460			460	30.7%
関 東 計	31,850	1,250	15,000	48,100	6,976	693	3,000	10,669	22.2%
操業率					21.9%	55.4%	20.0%	22.2%	-
全 国 合 計	41,310	1,250	15,000	57,560	9,076	693	3,000	12,769	22.2%
操業率					22.0%	55.4%	20.0%	22.2%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

表4-4. 革種別生産能力と生産実績④

羊 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	
松原				0				0	-
誉田				0				0	-
沢田				0				0	-
たつの計	0	0	0	0	0	0	0	0	-
高木	600			600	300			300	50.0%
御着	500			500	50			50	10.0%
姫路計	1,100	0	0	1,100	350	0	0	350	31.8%
川西	7,500			7,500	1,500			1,500	20.0%
大阪他				0				0	-
和歌山	1,500			1,500	500			500	33.3%
関西計	10,100	0	0	10,100	2,350	0	0	2,350	23.3%
関西操業率					23.3%	-	-	23.3%	-
東京	19,150	2,000	5,000	26,150	10,458	693	1,000	12,151	46.5%
埼玉他	6,000			6,000	3,860			3,860	64.3%
関東計	25,150	2,000	5,000	32,150	14,318	693	1,000	16,011	49.8%
関東操業率					56.9%	34.7%	20.0%	49.8%	-
全国合計	35,250	2,000	5,000	42,250	16,668	693	1,000	18,361	43.5%
全国操業率					47.3%	34.7%	20.0%	43.5%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

牛 床 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	
松原	2,900		18,350	21,250	1,800		17,100	18,900	88.9%
誉田	5,500			5,500	1,000			1,000	18.2%
沢田	3,500		4,700	8,200	1,700		2,600	4,300	52.4%
たつの計	11,900	0	23,050	34,950	4,500	0	19,700	24,200	69.2%
高木	14,720		500	15,220	8,400		3	8,403	55.2%
御着	200			200	100			100	50.0%
姫路計	14,920	0	500	15,420	8,500	0	3	8,503	55.1%
川西				0				0	-
大阪他				0				0	-
和歌山	6,000			6,000	3,500			3,500	58.3%
関西計	32,820	0	23,550	56,370	16,500	0	19,703	36,203	64.2%
関西操業率					50.3%	-	83.7%	64.2%	-
東京	2,500			2,500	1,200			1,200	48.0%
埼玉他				0				0	-
関東計	2,500	0	0	2,500	1,200	0	0	1,200	48.0%
関東操業率					48.0%	-	-	48.0%	-
全国合計	35,320	0	23,550	58,870	17,700	0	19,703	37,403	63.5%
全国操業率					50.1%	-	83.7%	63.5%	-

注：操業率＝生産実績÷生産能力

表4-4. 革種別生産能力と生産実績⑤

豚 床 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計		
松 原				0				0	-	
誉 田				0				0	-	
沢 田				0				0	-	
たつの 計	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
高 木	50,000			50,000	10,000			10,000	20.0%	
御 着				0				0	-	
姫路 計	50,000	0	0	50,000	10,000	0	0	10,000	20.0%	
川 西				0				0	-	
大阪 他				0				0	-	
和 歌 山				0				0	-	
関 西	計	50,000	0	0	50,000	10,000	0	0	10,000	20.0%
	操業率				20.0%	-	-	20.0%	-	
東 京	1,800			1,800	1,200			1,200	66.7%	
埼玉 他				0				0	-	
関 東	計	1,800	0	0	1,800	1,200	0	0	1,200	66.7%
	操業率				66.7%	-	-	66.7%	-	
全 国	合計	51,800	0	0	51,800	11,200	0	0	11,200	21.6%
	操業率				21.6%	-	-	21.6%	-	

注：操業率＝生産実績÷生産能力

そ の 他 革

(枚) 丸革/月産

	生産能力				生産実績				操業率	
	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計	クロム 鞣し	タンニン 鞣し	染革・ その他	合計		
松 原		1,150	500	1,650		350	150	500	30.3%	
誉 田				0				0	-	
沢 田	160			160	100			100	62.5%	
たつの 計	160	1,150	500	1,810	100	350	150	600	33.1%	
高 木	10,150	330	1,750	12,230	20	66	270	356	2.9%	
御 着	150	150		300	20	50		70	23.3%	
姫路 計	10,300	480	1,750	12,530	40	116	270	426	3.4%	
川 西	4,000			4,000	1,500			1,500	37.5%	
大阪 他				0				0	-	
和 歌 山	800			800	16			16	2.0%	
関 西	計	15,260	1,630	2,250	19,140	1,656	466	420	2,542	13.3%
	操業率				10.9%	28.6%	18.7%	13.3%	-	
東 京	7,600	1,500		9,100	4,518	1,000		5,518	60.6%	
埼玉 他	3,000		140	3,140	1,320		100	1,420	45.2%	
関 東	計	10,600	1,500	140	12,240	5,838	1,000	100	6,938	56.7%
	操業率				55.1%	66.7%	71.4%	56.7%	-	
全 国	合計	25,860	3,130	2,390	31,380	7,494	1,466	520	9,480	30.2%
	操業率				29.0%	46.8%	21.8%	30.2%	-	

注：操業率＝生産実績÷生産能力

③ 革種別なめし工法・なめし製造工程比率

ここでは革種別に、なめし工法となめし製造工程の比率を算出している。まずなめし工法別にみると、いずれの革種も「クロム鞣し」による生産が多数を占めているが、＜馬革＞のみ「タンニン鞣し」の比率が高い結果となった。また＜豚革＞や＜山羊革＞や＜羊革＞といった革種は「クロム」「タンニン」の他のなめし工法も行われている。

なめし製造工程においては、革種によってやや傾向が分かれており、＜豚革＞＜馬革＞は「原皮から」の生産が多く、「成牛革」はいずれの工程からの生産もある。逆に＜山羊革＞や＜羊革＞は「クラストから」の生産の比率が最も高くなっている。

図 4 - 3 . 革種別なめし工法比率

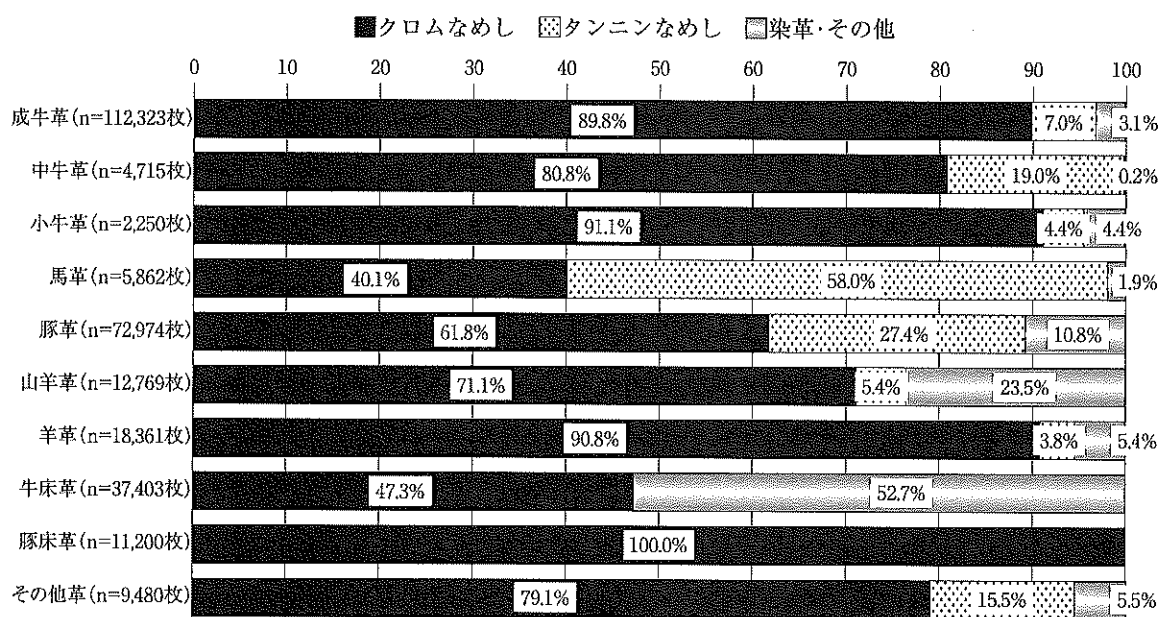
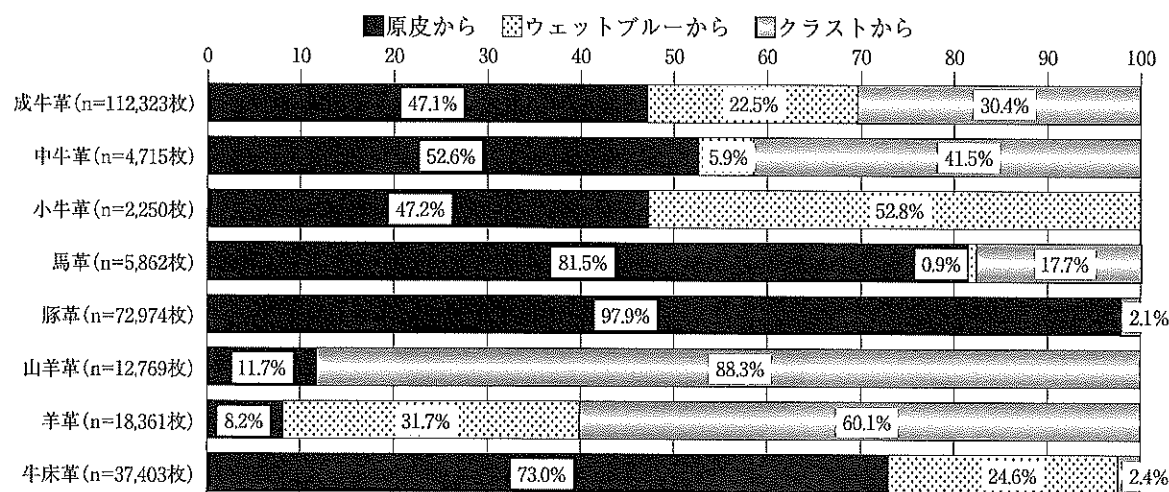


図 4 - 4 . 革種別なめし製造工程比率



5. 日本の製革業者の経営についての意識

5-1. 今後の経営について

この項では各企業の経営者が現在の経営状態についてどのように考えているか、またその主な理由は何か等を知るために、今後の経営に対するアンケート調査を行った。主な理由に関する回答については複数回答である。

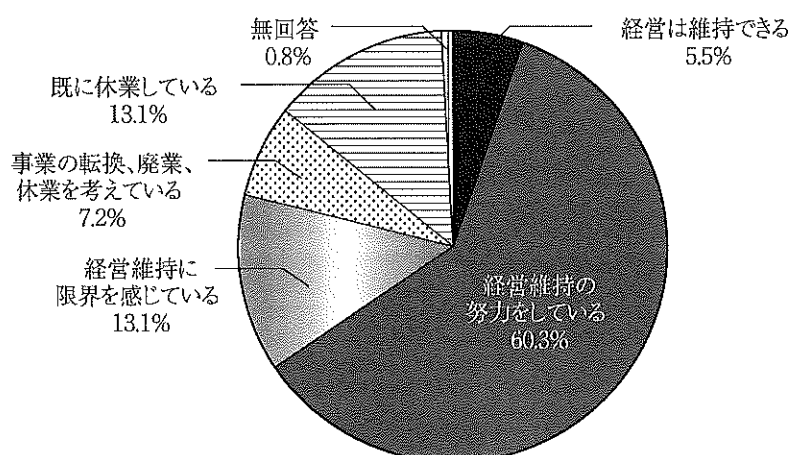
① 経営に対する考え方

図5-1は今後の経営についてどのように考えるかに関して、「1. 経営維持に確信」、「2. 経営維持に努力」、「3. 経営維持に限界」、「4. 転廃休業を考える」、「5. 既に休業している」の5区分のいずれに自社が属するかを問うアンケートを行った結果、製革業者290社（うち無回答2社）の回答を得た。その結果、「経営は維持できる」が全体の5.5%、「経営維持の努力をしている」が全体の60.3%、「経営に限界を感じている」が全体の13.1%、「事業の転換、廃業、休業を考えている」が7.2%という結果となった。尚、全体の13.1%が「既に休業をしている」という回答となっている。

「経営維持の努力をしている」までを肯定的に捉えると、全体の65.8%が経営できているレベルにあるとみられ、全体のおおよそ3分の2の企業である。「経営に限界」と「事業の転換、廃業、休業を考えている」と経営に否定的な企業は20.3%となったが、前年、前々年のコロナ禍の調査結果との比較をみると、30%前後の回答となっていた状況からは多少の改善はみられる（「既に休業している」の回答も少し増えている）。肯定的な回答もコロナ禍以前のように増えはじめ、状況としては少し落ち着いてきた感じは窺える。

また、この回答を従業員規模別に集計した図5-2をみると、その規模に準じた回答結果が表れており、<1-4人>規模の企業において、経営に肯定的な企業の比率は46.6%に止まり、半

図5-1. 経営に対する考え方（全国計・n=290社）



数を割っている。これが<5-9人>規模になってくると、肯定的な回答率が87.5%にまで跳ね上がっている。<10-19人>規模、<20-39人>規模の企業の回答率はほぼ似たような結果となったが、<40人以上>規模となると、否定的な回答はなくなっている。

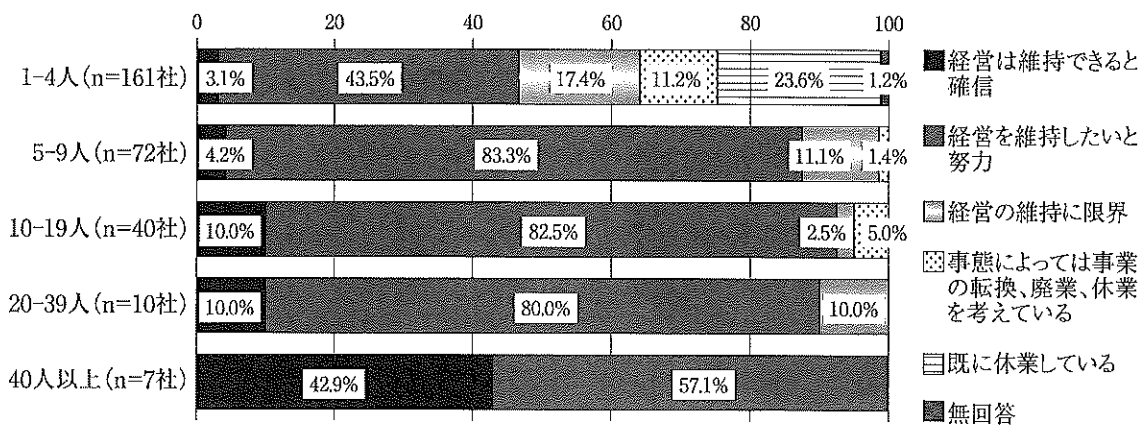
表5-1. 「経営に対する考え方」・3年間回答対比

(社) 下段は比率%

地区	回答企業数			1. 経営は維持できると確信している			2. 経営を維持したいと努力している			3. 経営の維持に限界を感じている			4. 事業の転換、廃業、休業を考える			5. 既に休業している			経営維持企業 (1.+2.)			経営限界企業 (3.+4.+5.)			
	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	令2	令3	令4	
たつの	松原	75	74	74	3	1	2	40	44	44	18	13	12	6	4	3	8	12	13	43	45	46	32	29	28
					4.0%	1.4%	2.7%	53.3%	59.5%	59.5%	24.0%	17.6%	16.2%	8.0%	5.4%	4.1%	10.7%	16.2%	17.6%	57.3%	60.8%	62.2%	42.7%	39.2%	37.8%
	誉田	48	48	44		3	1	15	18	20	19	12	13	5	4	1	9	11	9	15	21	21	33	27	23
					6.3%	2.3%	31.3%	37.5%	45.5%	39.6%	25.0%	29.5%	10.4%	8.3%	2.3%	18.8%	22.9%	20.5%	31.3%	43.8%	47.7%	68.8%	56.3%	52.3%	
	沢田	16	16	16			4	10	10	7	1	1		1	1	1	4	4	4	10	10	11	6	6	5
							25.0%	62.5%	62.5%	43.8%	6.3%	6.3%		6.3%	6.3%	6.3%	25.0%	25.0%	25.0%	62.5%	62.5%	68.8%	37.5%	37.5%	31.3%
	小計	139	138	134	3	4	7	65	72	71	38	26	25	12	9	5	21	27	26	68	76	78	71	62	56
					2.2%	2.9%	5.2%	46.8%	52.2%	53.0%	27.3%	18.8%	18.7%	8.6%	6.5%	3.7%	15.1%	19.6%	19.4%	48.9%	55.1%	58.2%	51.1%	44.9%	41.8%
姫路	高木	71	70	68	4	1	5	38	36	41	12	22	7	10	4	6	7	7	8	42	37	46	29	33	21
					5.6%	1.4%	7.4%	53.5%	51.4%	60.3%	16.9%	31.4%	10.3%	14.1%	5.7%	8.8%	9.9%	10.0%	11.8%	59.2%	52.9%	67.6%	40.8%	47.1%	30.9%
	御着	25	25	22	2		1	15	15	13	3	5	2	1	1	3	4	4	3	17	15	14	8	10	8
				8.0%		4.5%	60.0%	60.0%	59.1%	12.0%	20.0%	9.1%	4.0%	4.0%	13.6%	16.0%	16.0%	13.6%	68.0%	60.0%	63.6%	32.0%	40.0%	36.4%	
	小計	96	95	90	6	1	6	53	51	54	15	27	9	11	5	9	11	11	11	59	52	60	37	43	29
					6.3%	1.1%	6.7%	55.2%	53.7%	60.0%	15.6%	28.4%	10.0%	11.5%	5.3%	10.0%	11.5%	11.6%	12.2%	61.5%	54.7%	66.7%	38.5%	45.3%	32.2%
川西	10	10	8				7	7	7	3	2								7	7	7	3	3	0	
							70.0%	70.0%	87.5%	30.0%	20.0%									70.0%	70.0%	87.5%	30.0%	30.0%	
大阪その他	9	7	7		1	1	6	5	5				1	1	1	2			6	6	6	3	1	1	
					14.3%	14.3%	66.7%	71.4%	71.4%				11.1%	14.3%	14.3%	22.2%				66.7%	85.7%	85.7%	33.3%	14.3%	14.3%
和歌山	7	7	7				6	5	6	1	1				1	1			6	5	6	1	2	1	
							85.7%	71.4%	85.7%	14.3%	14.3%				14.3%	14.3%				85.7%	71.4%	85.7%	14.3%	28.6%	14.3%
関西計	261	257	246	9	6	14	137	140	143	57	56	34	24	17	16	34	38	37	146	146	157	115	111	87	
				3.4%	2.3%	5.7%	52.5%	54.5%	58.1%	21.8%	21.8%	13.8%	9.2%	6.6%	6.5%	13.0%	14.8%	15.0%	55.9%	56.8%	63.8%	44.1%	43.2%	35.4%	
関東計	50	47	44		2	2	32	30	32	9	7	4	5	7	5	4	1	1	32	32	34	18	15	10	
				4.3%	4.5%	64.0%	63.8%	72.7%	18.0%	14.9%	9.1%	10.0%	14.9%	11.4%	8.0%	2.1%	2.3%	64.0%	68.1%	77.3%	36.0%	31.9%	22.7%		
合計	311	304	290	9	8	16	169	170	175	66	63	38	29	24	21	38	39	38	178	178	191	133	126	97	
				2.9%	2.6%	5.5%	54.3%	55.9%	60.3%	21.2%	20.7%	13.1%	9.3%	7.9%	7.2%	12.2%	12.8%	13.1%	57.2%	58.6%	65.9%	42.8%	41.4%	33.4%	

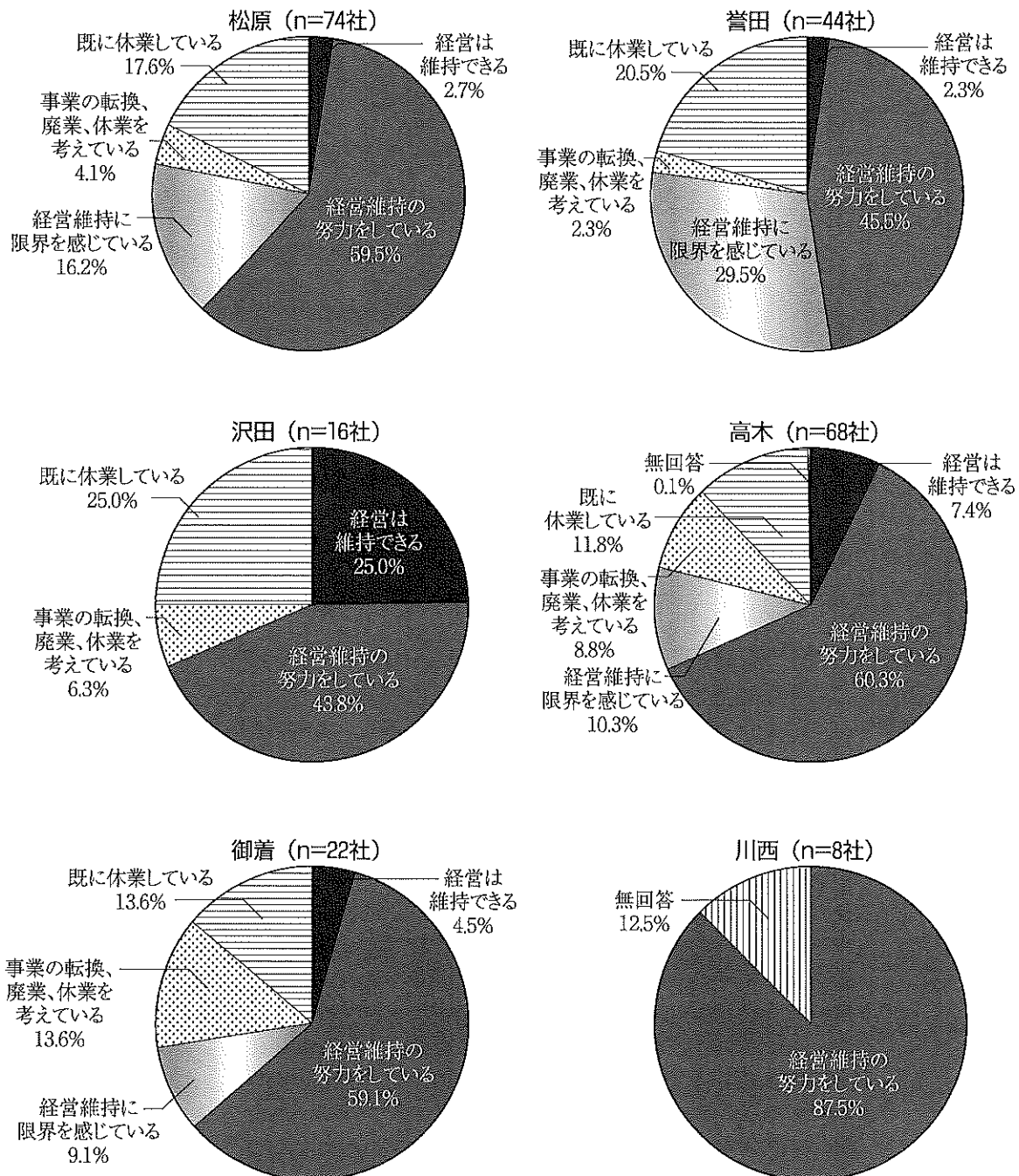
※令和4年の回答では、高木1社、川西1社の合計2社が無回答となっている。比率は無回答企業も入れた数字。

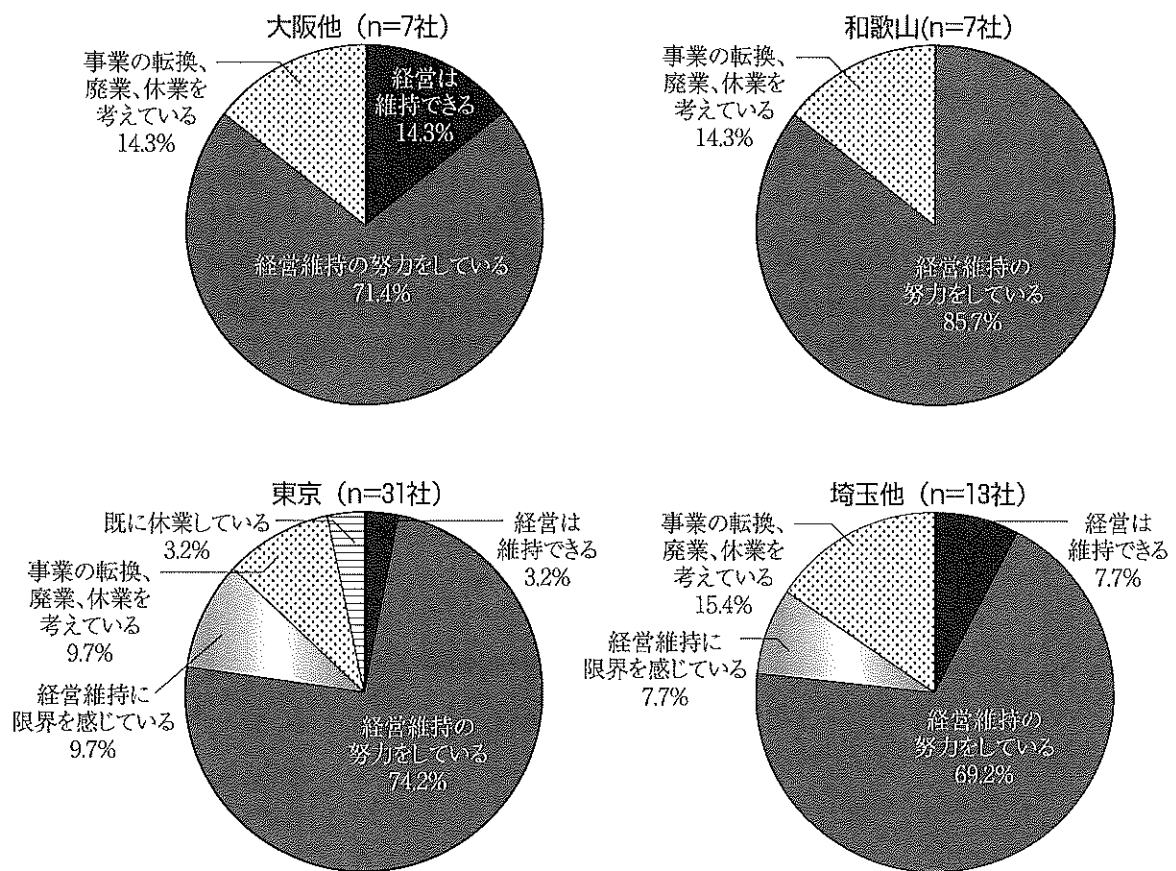
図5-2. 従業員規模別にみる経営に対する考え方



次に地区別でその回答結果を見ると、関西の〈誉田地区〉が全体の50%を超える（「既に休業している」を含む）否定的な回答率となっている他、〈松原地区〉〈御着地区〉〈高木地区〉〈沢田地区〉が30%を超える否定的回答率となっている。ただ、これらいずれの地区も前年、前々年の回答率と比較すると、やや改善傾向がみられる。また〈沢田地区〉は一方で最も肯定的な回答である「経営は維持できる」の回答率が地区内で最も高い25%の回答率となっている。全体的には関東エリアの製革業者の方が肯定的な回答率が高くなっている。

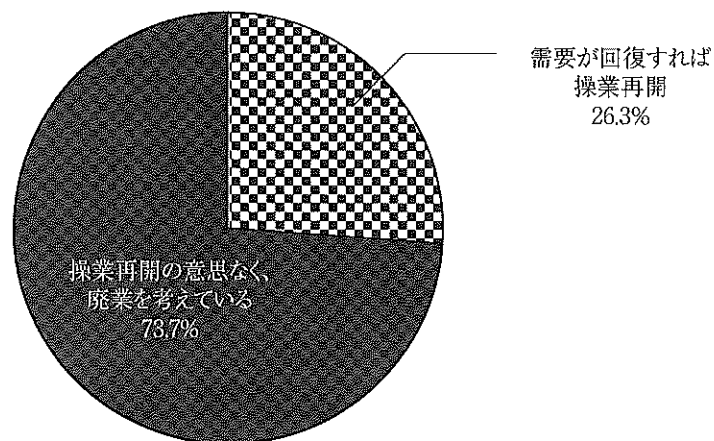
図5-3. 地区別経営に対する考え方・回答構成比





また、「既に休業している」38社（いずれも1～4人規模の企業）に対し、今後の意向も確認したが、38社中、26.3%にあたる10社が「需要が回復すれば操業再開する」と回答しており、再起の意向を見せている。

図5-4. 休業後の意向 (n=38社)



② 経営に対する考え方の理由

ここでは、現在、また今後の経営に対する考え方を確認し、250社の回答を得た。

まず、経営に前向きな要因について集計した結果が図5-5である。最も多い回答率となったのは「技術の優位性に自信がある」で全体の21.0%（61社）となった。次いで「現在実施している競争力強化事業に期待する」で全体の14.1%（41社）、「新商品を作ることで成果が得られる」が11.0%（32社）となっており、この3つが10%以上の回答率となっている。図5-6では関西の製革業者と関東の製革業者と回答の比較をしたものであるが、「技術の優位性に自信がある」との回答は関東の製革業者の回答率が高いことが分かる。その他の選択肢の回答率をみても、ほとんどが関東の製革業者の回答率が高くなっており、全体的に経営に前向きな姿勢でいることが表れている。

次に経営の不安材料について確認した。最も高い回答率となったのは「コスト高で採算が取れない」で全体の36.9%（107社）となり、次いで「注文が不安定」で33.1%（96社）となった。現

図5-5. 経営に前向きな要因（n=290社）

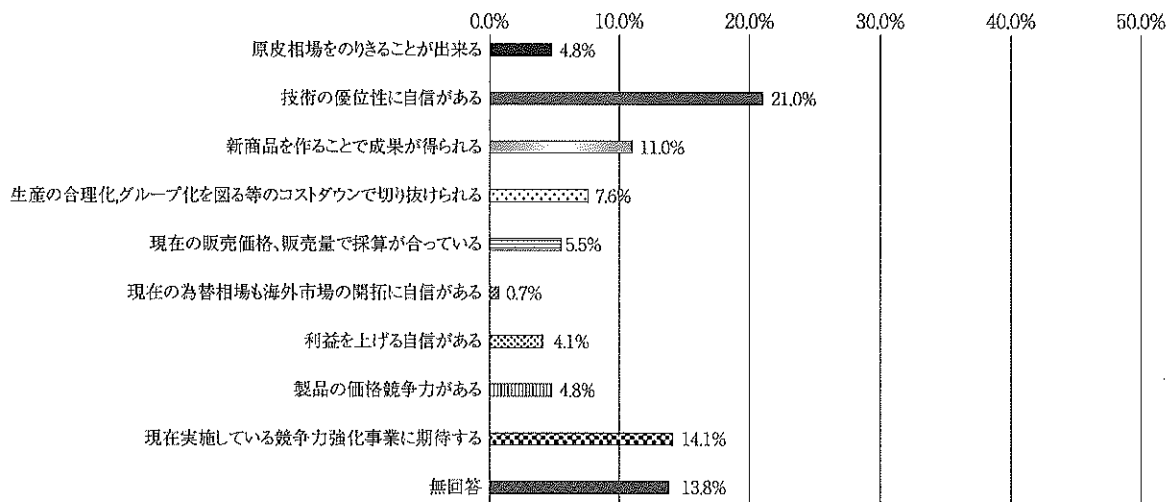
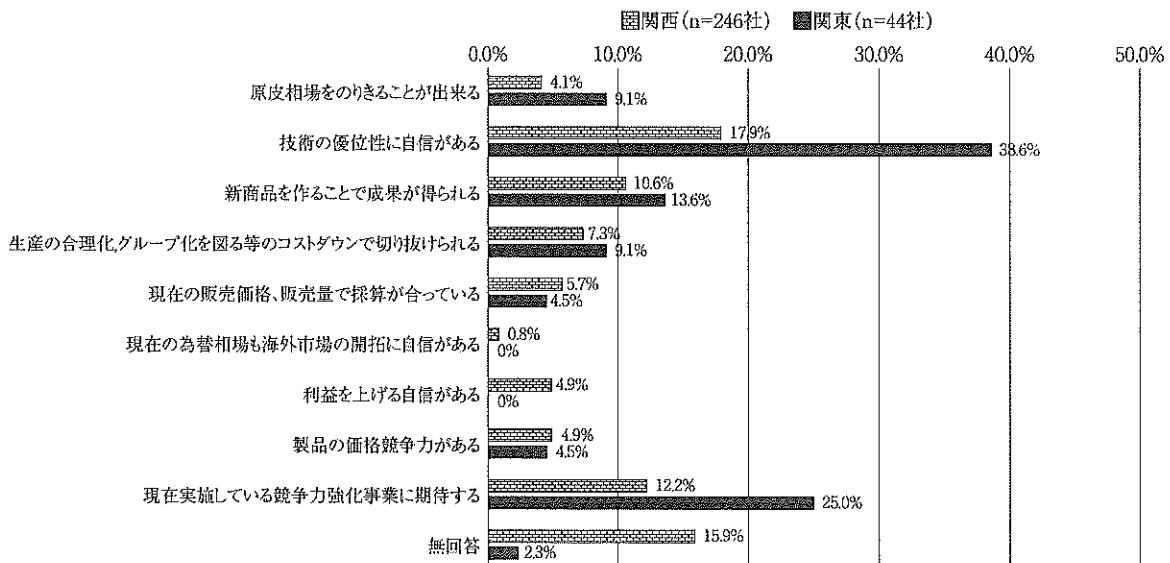


図5-6. 経営に前向きな要因（関西／関東比較）



在の原皮高、輸送費高など、多くのものが値上がりし、現在のコスト高の流れは避けようもなく、今後もずっと付いて回る大きな課題となっている。また「注文が不安定」の回答も、今の状況だけではなく、様々な要因によって起こる現象でもあり、いつの時代でも不安要因として残るものである。これら2つの項目の近年の背景にあるのは、他選択にもある「新型コロナウイルス感染症の影響が不安」(24.5%)、「戦争による世界情勢の悪化が不安」(14.5%)といったものが、コスト高や注文が不安定な要因にもなっていると思われる。その結果、「製品価格を上げられない」(22.1%)にも繋がっているとみられる。また関西と関東の比較においては、関東の製革業者がよりこの2項目に関して不安を感じている様子が窺える。

それ以外の項目では「人手の確保が困難」の20.7% (60社)が目立っている。前記したような項目と関連こそしていると思われるが、こちらも慢性的な課題であり、日本が人口減少時代に突入している状況において、有効な解決策がなかなか見いだせない、どの産業においても大きな課題として挙げられているものである。

図5-7. 経営の不安材料 (n=290社)

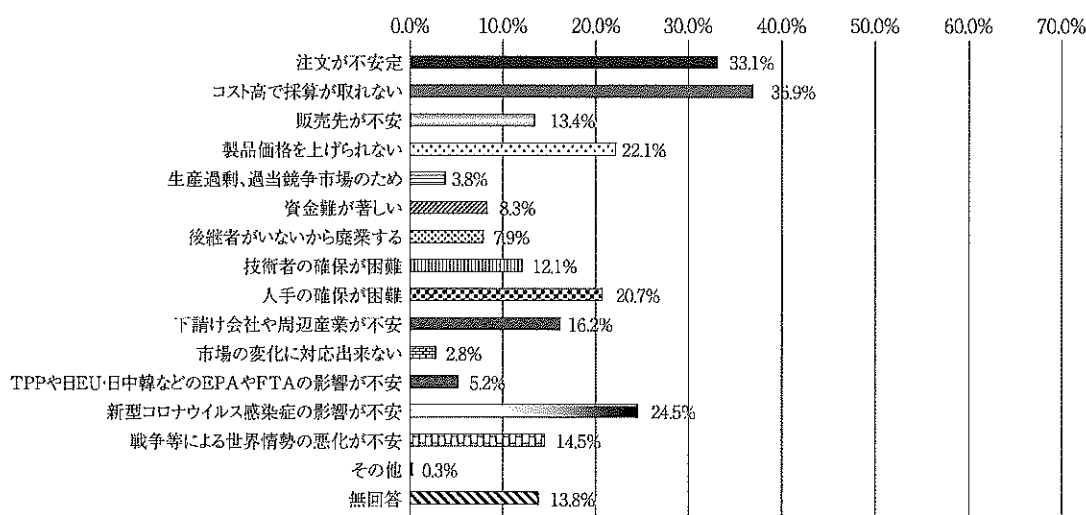


図5-8. 経営の不安材料 (関西/関東比較)

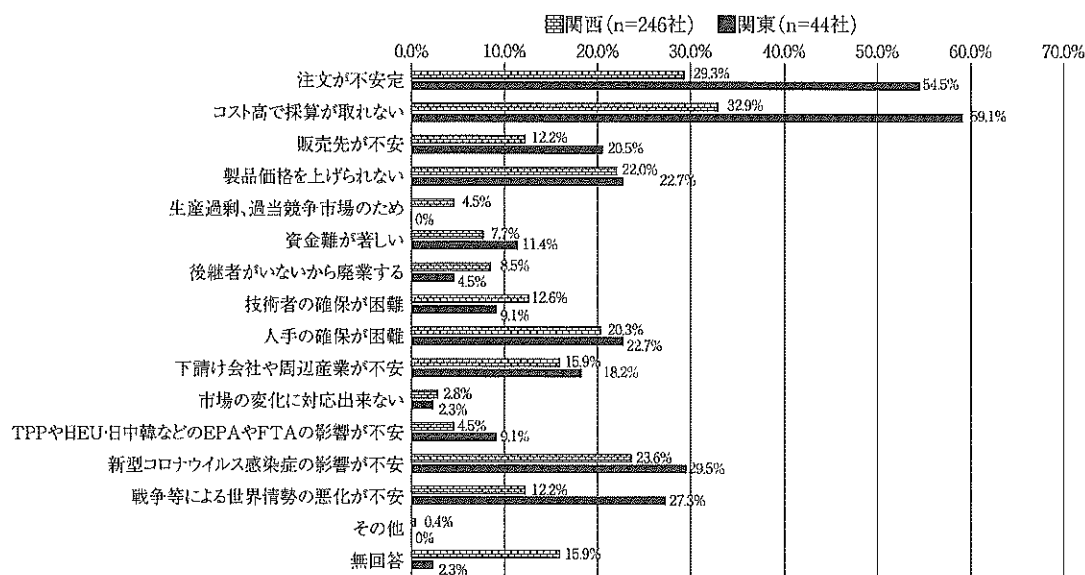
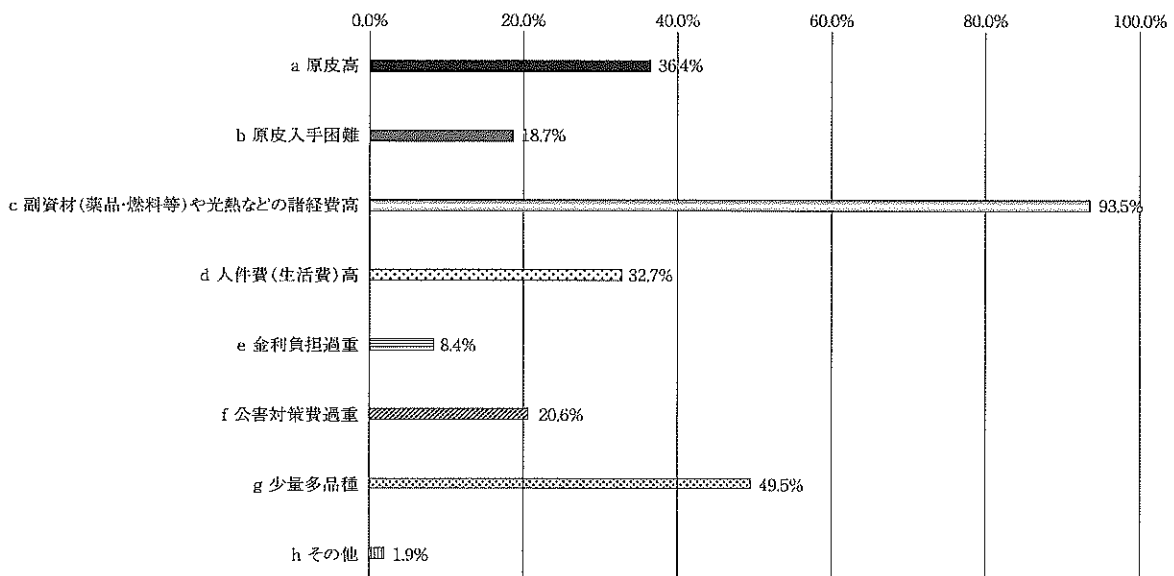


図5-9は前質問で「コスト高で採算が取れない」と回答した107社に対し、改めてその要因を確認した結果である。その結果、「副資材や光熱などの諸経費高」を挙げた企業が全体の93.5%（100社）となり、ほとんどの企業がこの要因を挙げている。次いで「少量多品種」で49.5%（53社）となっており、こちらは時代のニーズの流れでもあり、生産側として解決できる問題ではないため、こうした面を踏まえた価格設定ができない限り、解決には至らない課題でもある。

その他「原皮高」（36.4%）、「人件費高」（32.7%）などの項目の回答率が高めとなっているが、「原皮高」に関しては、前年調査結果よりもさらに回答率が高くなっており、直近で大きな課題として上がってきている要因でもある。

図5-9. コスト高で採算が取れない要因（n=107社）



5-2. インターネットの活用について

現在、いずれの業界、業種の企業においてもインターネットは必要不可欠なものになっている。現在のビジネスにおいて企業としての情報発信は非常に重要であり、その手段として最も手軽、且つ低コストで活用できる点、またほとんどの企業がそのツールとして活用していることもあり、やり取りを行うためにも、最低限のインターネット環境は整えておいた方が望ましいことは明らかである。

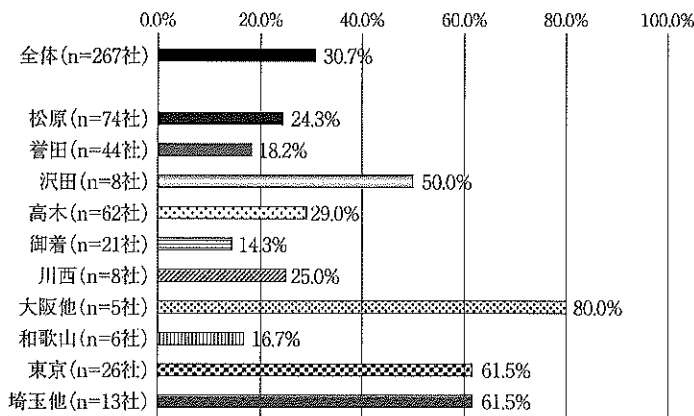
その上で、現在の製革産業において、製革業者がどの程度インターネット環境を整えているのか、またどの程度活用できているのかを確認した。全267社（無回答23社を除く）に対し、まずはホームページを作っているかを確認した結果が図5-10の表である。その結果、全体の所有率は30.7%（82社）に止まった。当然この数字は他の産業と比べるとかなり低い水準と言わざるを得ない。ただ令和1年調査結果との比較においては、全体で13社の増加（所有率23.5%→30.7%）という結果となっている。

地区別にみると、企業数の分母が小さい地区の方が所有率が高めに出る傾向があるが、全体的にみても<東京地区><埼玉他地区>の関東エリアの製革業者の方がホームページの所有率が高いと言えそうである。企業数が多い<松原地区>や<誉田地区><高木地区>などは、30%未満に止まっており、まだまだ改善の余地がありそうである。

その理由として、現在のビジネスに限られた取り引き先だけと行っているケースでは、確かにこうしたホームページなどはなくても事業を行っていけるため、そうした企業が多い地区はこの数字が上がっていくことはあまり考えられない。少しでもビジネスを拡大したい、もしくは取り引き先を変えたいと考えている企業であれば、やはりホームページは今後必須のものと言えよう。

また、従業者規模別に集計したのが図5-11であるが、従業者数に連れて所有率も高くなっており、<40人以上>の7社の所有率は100%、<20-39人>の10社は90%となっているのに対し、<1-4人>の146社は13%の所有率に止まっている。

図5-10. ホームページ所有率

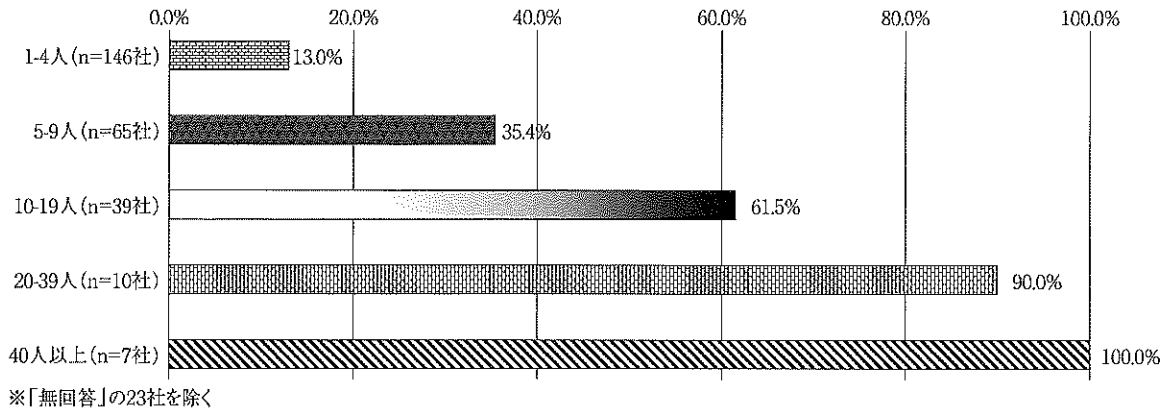


※「無回答」の23社を除く

<令和1年調査結果との比較>
(所有者数)

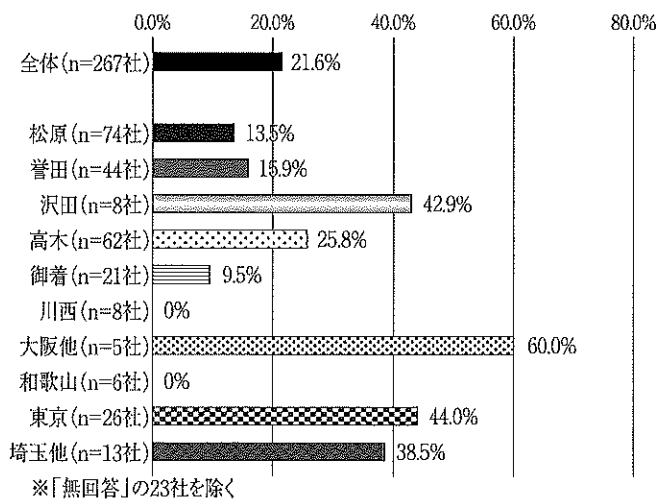
	令和1年	令和4年
全 体	69社	82社
松 原	17社	18社
誉 田	8社	8社
沢 田	2社	4社
高 木	14社	18社
御 着	5社	3社
川 西	2社	2社
大阪他	2社	4社
和歌山	1社	1社
東 京	11社	16社
埼玉他	7社	8社

図5-11. 従業員規模別ホームページ所有率



次にインターネットを使って、事業を行っている（販売している）、もしくはインターネットを活用したPRを行っているかどうかを確認した結果が図5-12である。その結果、全体の21.6%（57社）の回答率となった。令和1年の調査結果との比較においては、展開している社数が全体で18社の増加（展開率13.4%→21.6%）となっている。前述のホームページの所有率からさらに回答率が小さくなるのは当然であるが、製革業者の5分の1の企業しかビジネスにインターネットを活用していないことは、日本の製革産業の認知の低さにも連動していると思われる。また地区別にみても、その回答率はホームページの所有率とある程度連動していて、全体的に回答率は落ちているものの、やはり関東エリアの製革業者の方が活用度合いが高い結果となっている。

図5-12. ネット販売・ネットによるPR展開率

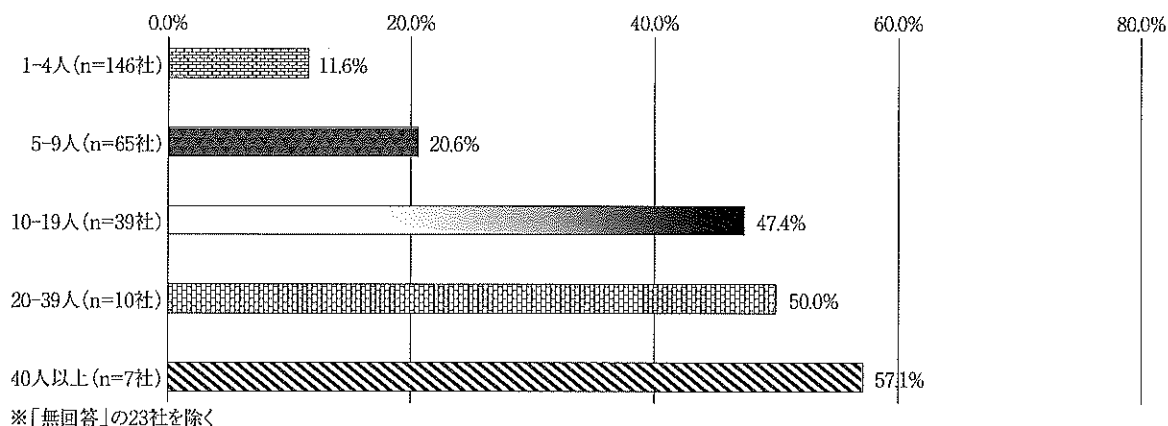


<令和1年調査結果との比較>
(展開社数)

	令和1年	令和4年
全体	39社	57社
松原	8社	10社
誉田	8社	7社
沢田	1社	3社
高木	11社	16社
御着	1社	2社
川西	0社	0社
大阪他	2社	3社
和歌山	1社	0社
東京	6社	11社
埼玉他	1社	5社

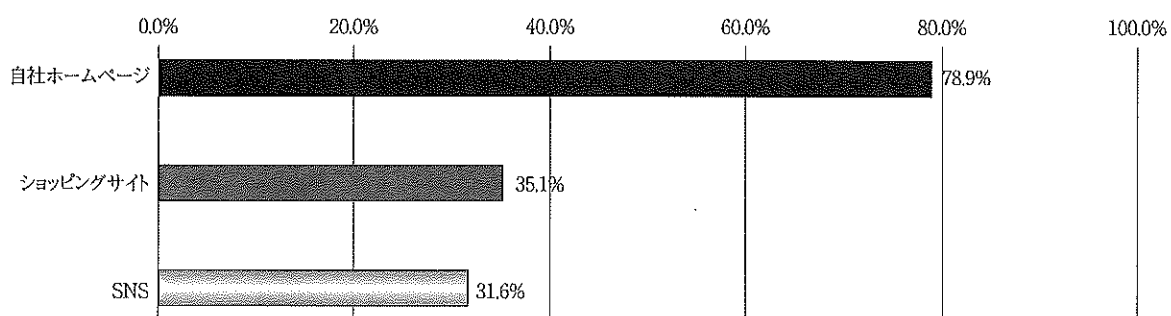
またここでも従業員規模別にネット販売やPR展開を行っているかどうかを確認したが、ここでは、<10-19人>規模以上の企業においては大きな差は出ず、50%前後の回答率となった。<1-4人>規模の146社では11.6%となっている。

図5-13. 従業員規模別ネット販売・ネットによるPR展開率



ネットの活用の内容を確認したが、図5-14にあるように、「自社ホームページ」そのものをPR材料と考えている企業が多く、ビジネス（販売）や積極的な情報発信ツールとなる「ショッピングサイト」や「SNS」の活用となると、前者が57社中の35.1%にあたる20社、後者が31.6%にあたる18社となっている。つまり全267社中、販売ツールとしてインターネットを使っている企業は全体の7.5%、「SNS」などを使って情報発信を行っている企業が全体の6.7%という結果になり、まだまだ少ないことがわかる。ただ令和1年の調査結果との比較においては、「自社ホームページによる展開」が30社→45社への増加、「ショッピングサイトの展開」が12社→20社への増加となっており、少しずつではあるがこうした前向きな取り組みが進んでいることは評価できる。

図5-14. 販売やPRの展開ツールについて (n=57社)

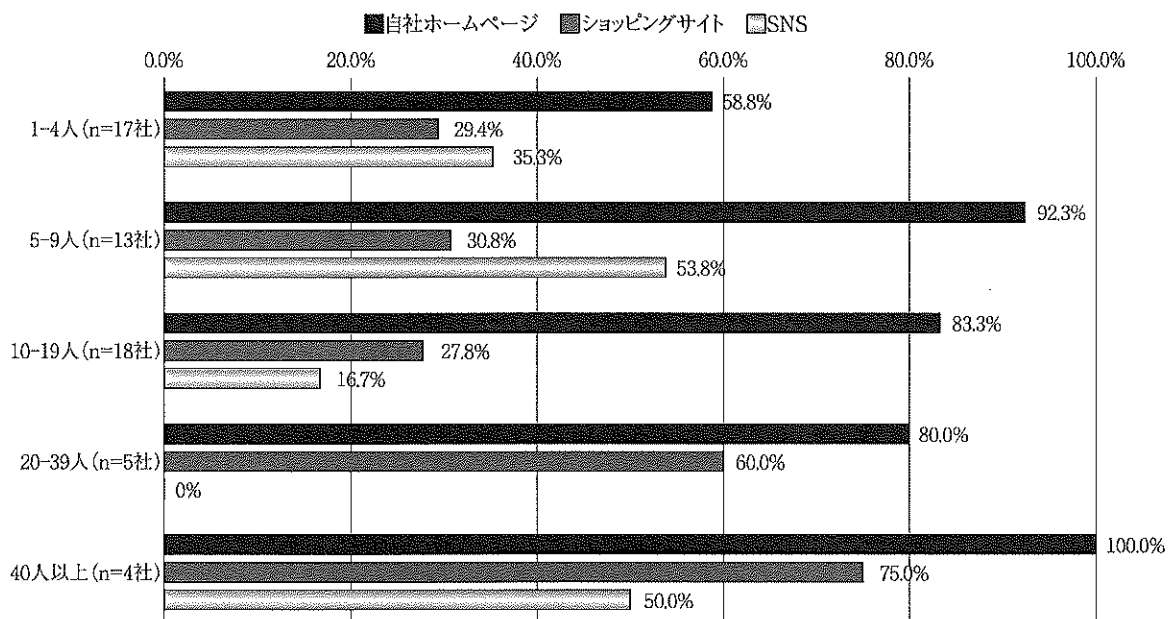


<令和1年調査結果との比較>
(展開社数)

	令和1年	令和4年
自社ホームページ	30社	45社
ショッピングサイト	12社	20社

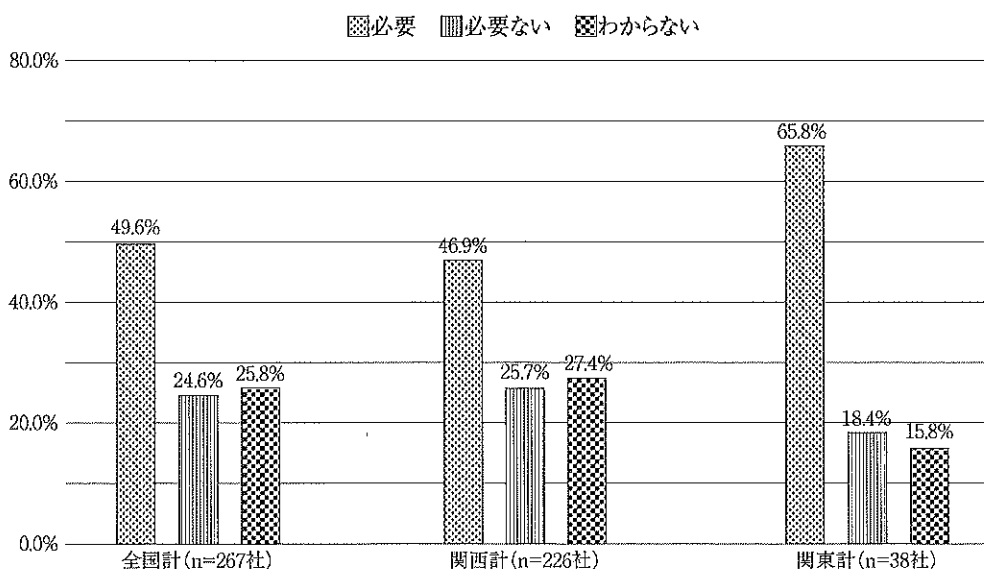
これも従業員規模別に回答内容（図5-15）を見ると、「自社ホームページ」の回答率がいずれも高いことはわかる。「ショッピングサイト」の展開は従業員規模の大きい企業ほど高い傾向がみえているが、「SNS」の展開に関しては、必ずしも従業員数に比例せず、＜5-9人＞規模の企業が53.8%と＜40人以上＞規模の企業の50.0%を上回っている。また＜20-39人＞規模の企業の回答率は0%であること等から、「SNS」の展開に関しては、経営面と必ずしも連動しているわけではなく、経営者の嗜好や判断によるところが大きいとみられる。

図5-15. 従業員規模別ネット販売・PRの展開ツール比率



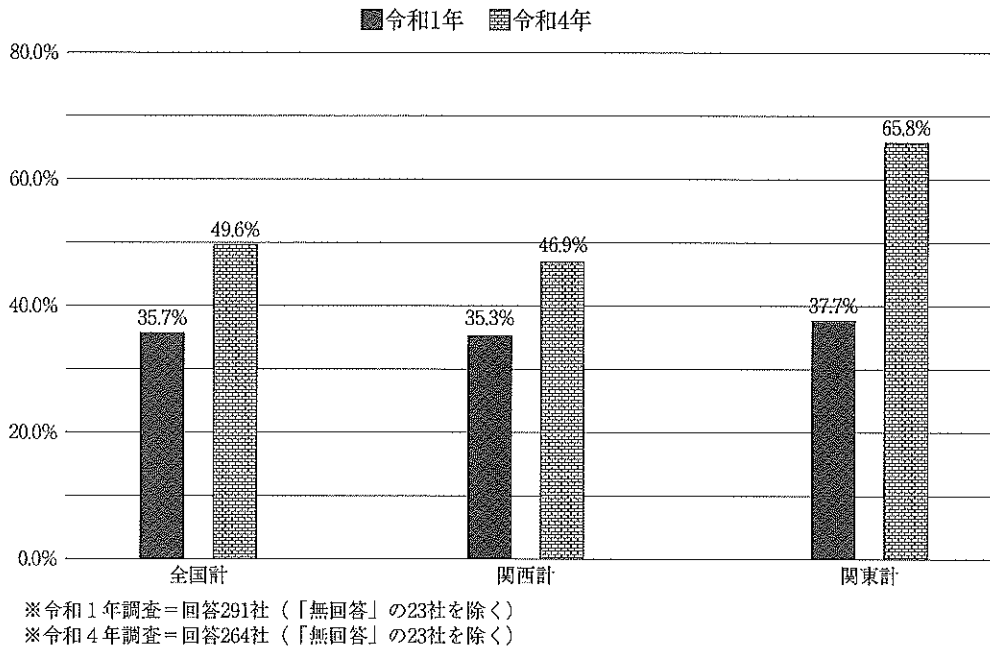
ただこうしたインターネットの活用が必要だと感じている企業が、図5-16の結果に表れているようにまだ全体の50%弱にすぎない。また「必要がない」と感じている企業が24.6%となっている。ただ令和1年の調査結果との比較（図5-17）においては、「必要」の回答率が13.9ポイント

図5-16. インターネットを活用した販売について



トの増加、関東地区だけでは28.1ポイントの大幅な増加となっている。ここ数年は新型コロナウイルスパンデミックという異常な状況であったことも、こうした回答率の上昇に繋がったと言えるであろう。ただそれでも現状で肯定的な回答率が50%未満であることは、今後さらにビジネスとして難しい状況になっていく可能性が高いと言わざるを得ないだろう。

図5-17. インターネットを活用した販売について
(令和1年調査結果との比較:「必要」回答率)



(集計・分析 クルーシャルモーメント株式会社)

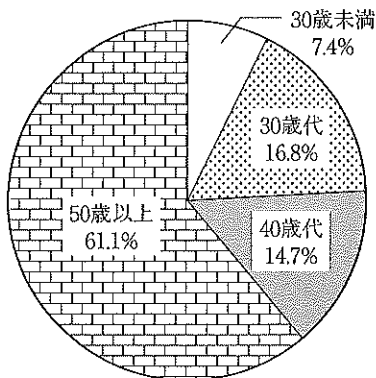
6. 地区別集計：①松原地区

① 製革業者データ

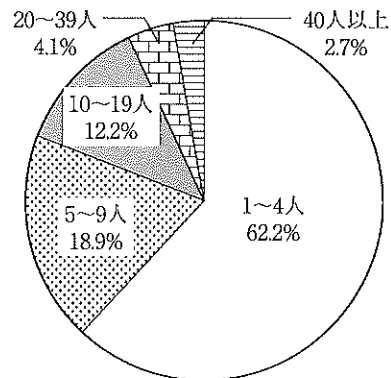
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	74社 (前年比±0社)
従業者数/平均従業者数	529人 (前年比：+2人)
性別構成	男性：318人 女性：211人
平均従業者数/1社	7.1人 (前年比±0)

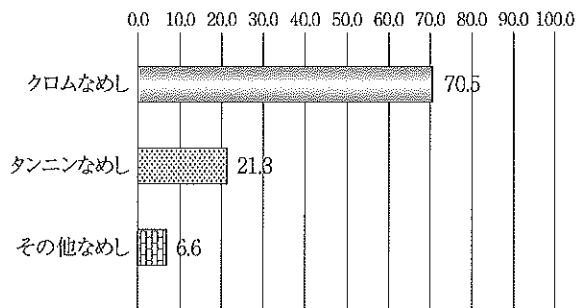
従業者年代別構成比



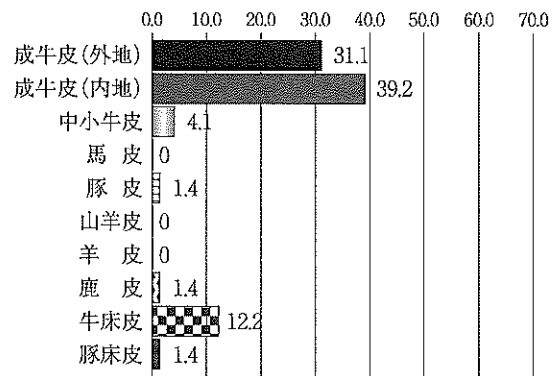
従業者数規模別構成比



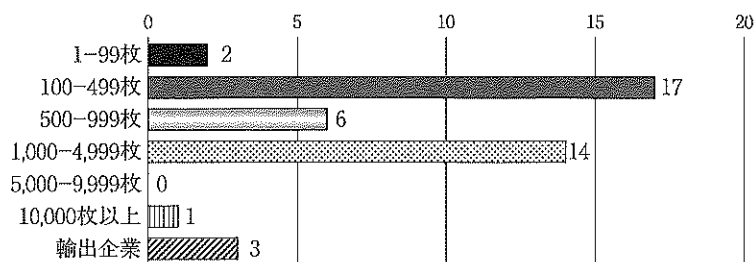
なめし区分比率 (n=61社) (%)



使用原皮 (n=74社) (%)

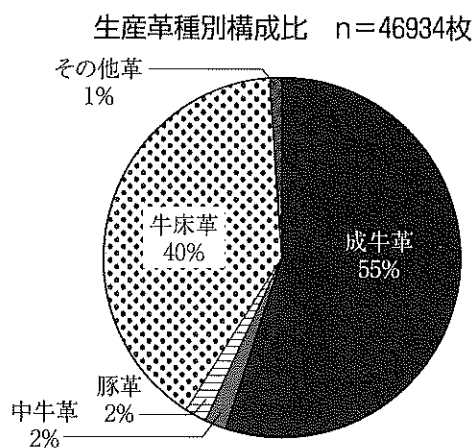


なめし革月産生産規模別企業数 (n=40社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	46,934枚/月
仕向け先構成比	国内向け：98.3% 輸出：1.7%

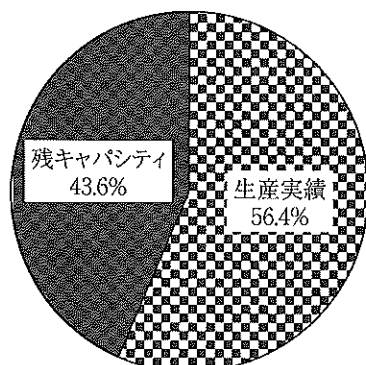


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	25,684	54.7%
中牛革	800	1.7%
小牛革	50	0.1%
馬革	0	0.0%
豚革	1,000	2.1%
山羊革	0	0.0%
羊革	0	0.0%
牛床革	18,900	40.3%
豚床革	0	0.0%
その他革	500	1.1%
計	46,934	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

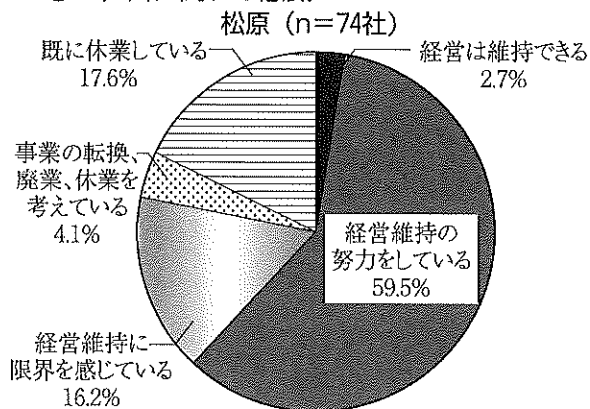
生産実績（令和4年）
〈生産能力=86040枚/月〉



(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	61,090	27,216	44.6%
中小牛革	1,050	950	90.5%
山羊・羊革	0	0	-
豚革	1,000	1,000	100.0%
馬革	0	0	-
牛床革	21,250	18,900	88.9%
その他革	1,650	500	30.3%
計	86,040	48,566	56.4%

④ 経営に関する意識



ホームページ所有率	24.3%
ネット販売・PR展開率	13.5%
SNS展開率	6.8%

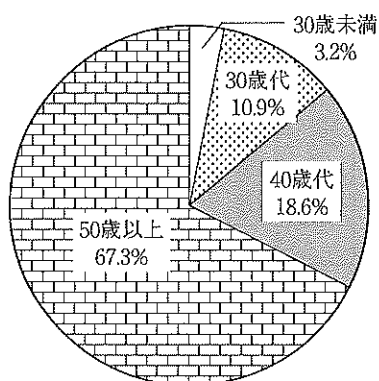
6. 地区別集計：②誉田地区

① 製革業者データ

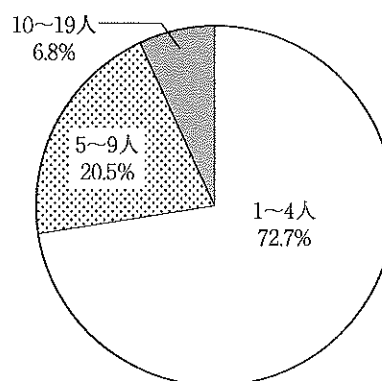
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	44社（前年比-4社）
従業者数/平均従業者数	156人（前年比：±0人）
性別構成	男性：98人 女性：58人
平均従業者数/1社	3.5人（前年比+0.2ポイント）

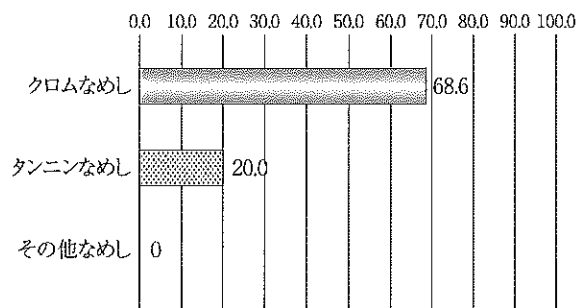
従業者年代別構成比



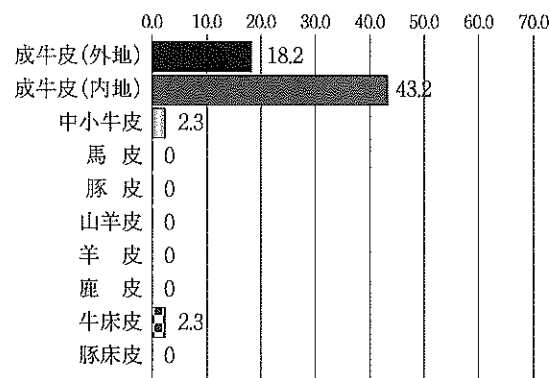
従業者数規模別構成比



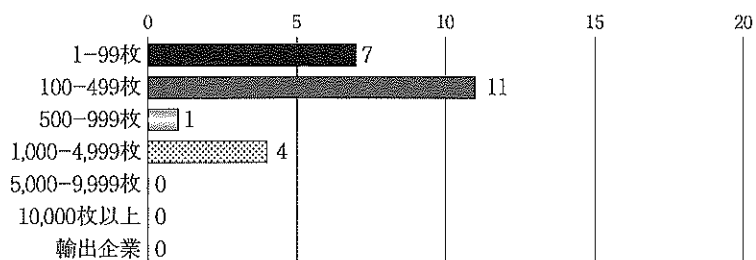
なめし区分比率 (n=35社) (%)



使用原皮 (n=44社) (%)

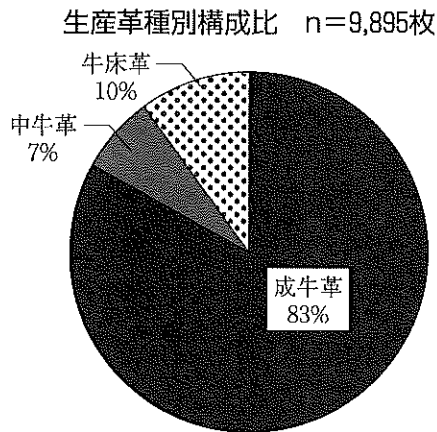


なめし革月産生産規模別企業数 (n=23社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	9,895枚/月
仕向け先構成比	国内向け：100% 輸出：0%

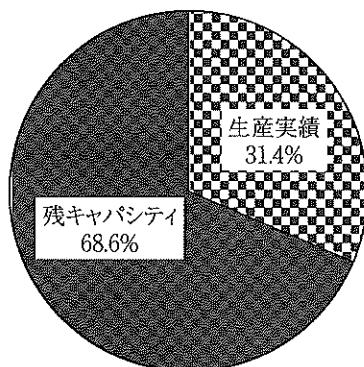


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	8,245	83.3%
中牛革	650	6.6%
小牛革	0	0.0%
馬革	0	0.0%
豚革	0	0.0%
山羊革	0	0.0%
羊革	0	0.0%
牛床革	1,000	10.1%
豚床革	0	0.0%
その他革	0	0.0%
計	9,895	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=33,600枚/月〉

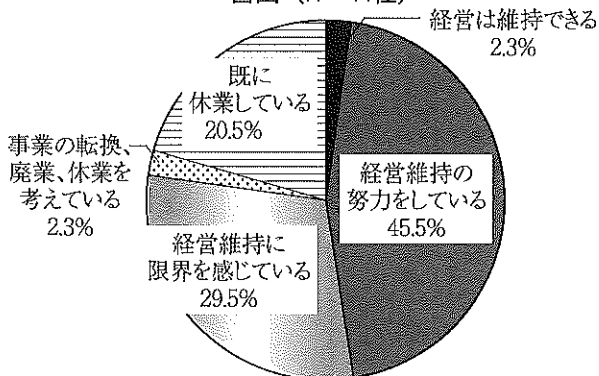


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	27,100	8,900	32.8%
中小牛革	1,000	650	65.0%
山羊・羊革	0	0	-
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	5,500	1,000	18.2%
その他革	0	0	-
計	33,600	10,550	31.4%

④ 経営に関する意識

営田 (n=44社)

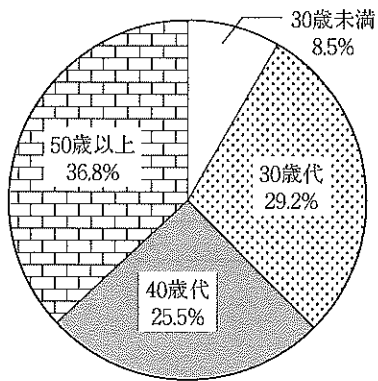


ホームページ所有率	18.2%
ネット販売・PR展開率	15.9%
SNS展開率	9.1%

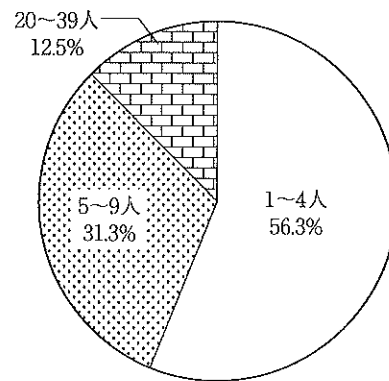
6. 地区別集計：③沢田地区

① 製革業者データ		※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数
企業数	16社 (前年比±0社)	
従業者数/平均従業者数	106人 (前年比：+15人)	
性別構成	男性：58人 女性：48人	
平均従業者数/1社	6.6人 (前年比+0.9ポイント)	

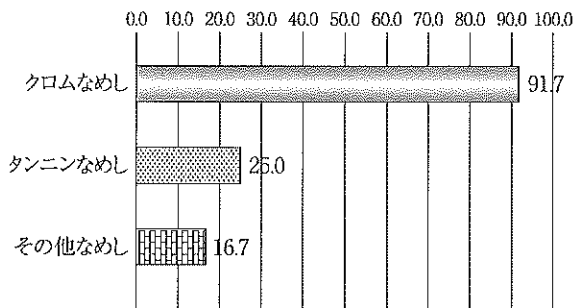
従業者年代別構成比



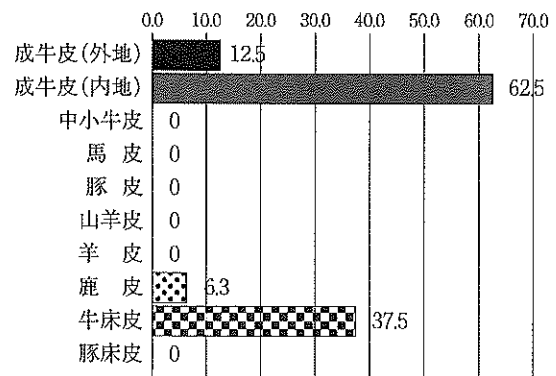
従業者数規模別構成比



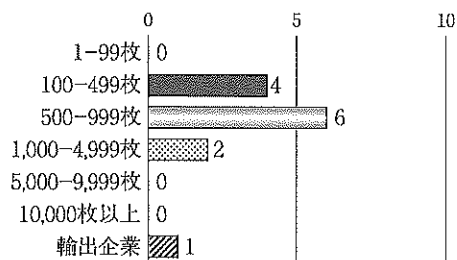
なめし区分比率 (n=12社) (%)



使用原皮 (n=16社) (%)



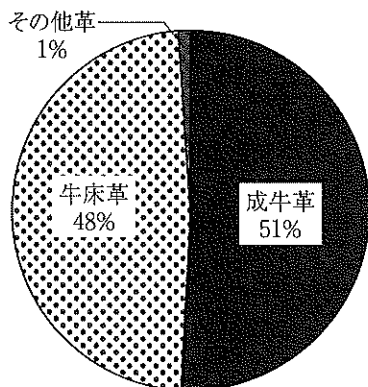
なめし革月産生産規模別企業数 (n=12社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	9,050枚/月
仕向け先構成比	国内向け：90.1% 輸出：9.9%

生産革種別構成比 n=9,050枚



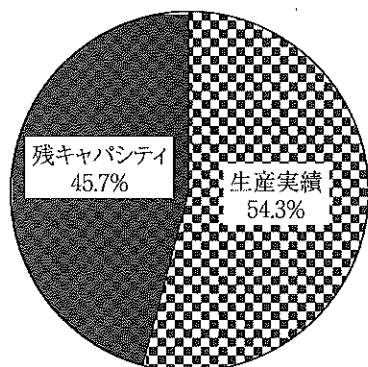
(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	4,650	51.4%
中牛革	0	0.0%
小牛革	0	0.0%
馬革	0	0.0%
豚革	0	0.0%
山羊革	0	0.0%
羊革	0	0.0%
牛床革	4,300	47.5%
豚床革	0	0.0%
その他革	100	1.1%
計	9,050	100.0%

③ 生産能力/生産実績

※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=16,660枚/月〉

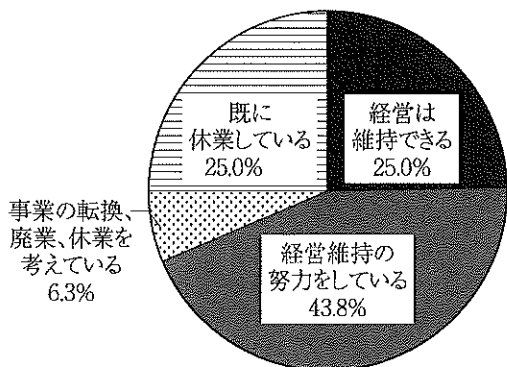


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	8,300	4,650	56.0%
中小牛革	0	0	-
山羊・羊革	0	0	-
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	8,200	4,300	52.4%
その他革	160	100	62.5%
計	16,660	9,050	54.3%

④ 経営に関する意識

沢田 (n=16社)



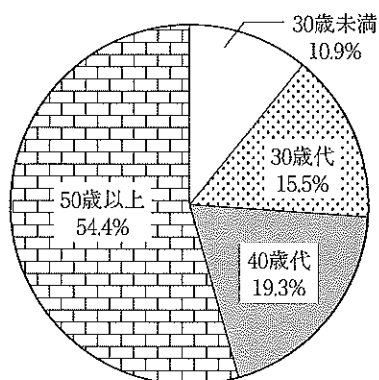
ホームページ所有率	50.0%
ネット販売・PR展開率	42.9%
SNS展開率	0%

6. 地区別集計：④高木地区

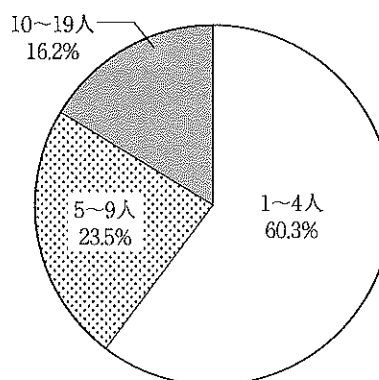
① 製革業者データ ※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	68社（前年比-3社）
従業者数/平均従業者数	342人（前年比：-23人）
性別構成	男性：225人 女性：117人
平均従業者数/1社	5.0人（前年比-0.1ポイント）

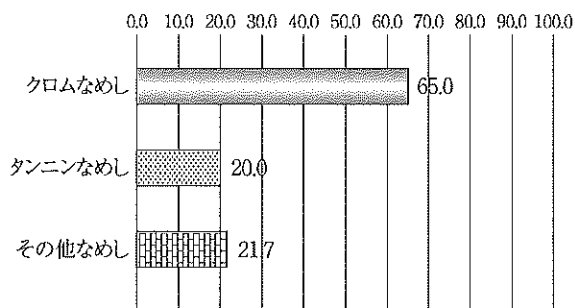
従業者年代別構成比



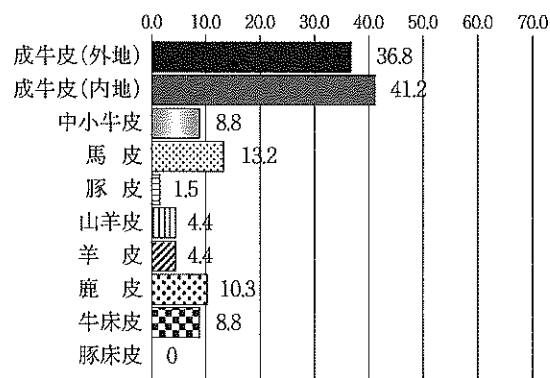
従業者数規模別構成比



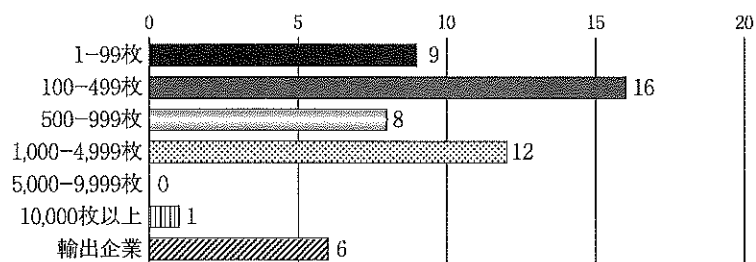
なめし区分比率 (n=60社) (%)



使用原皮 (n=68社) (%)

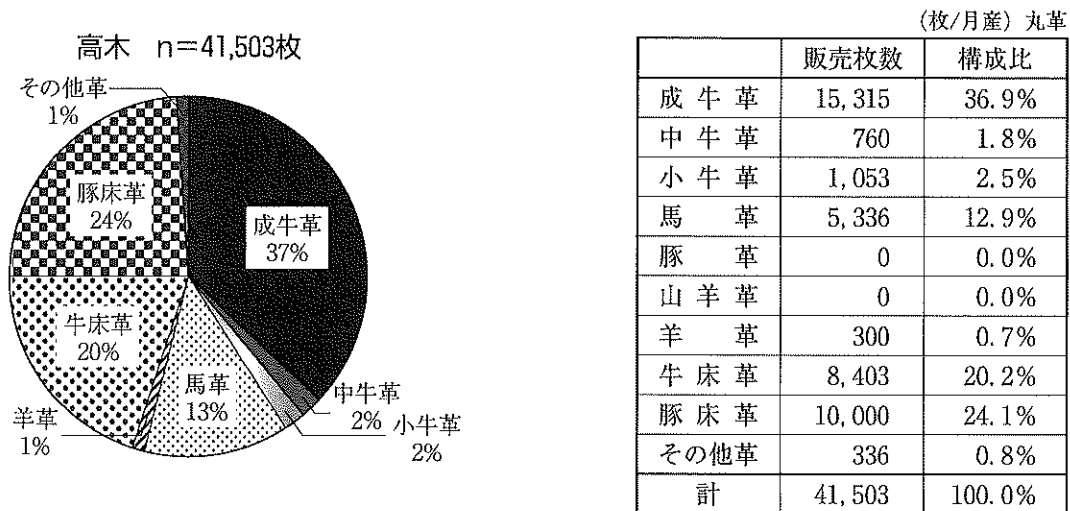


なめし革月産生産規模別企業数 (n=46社) (社)



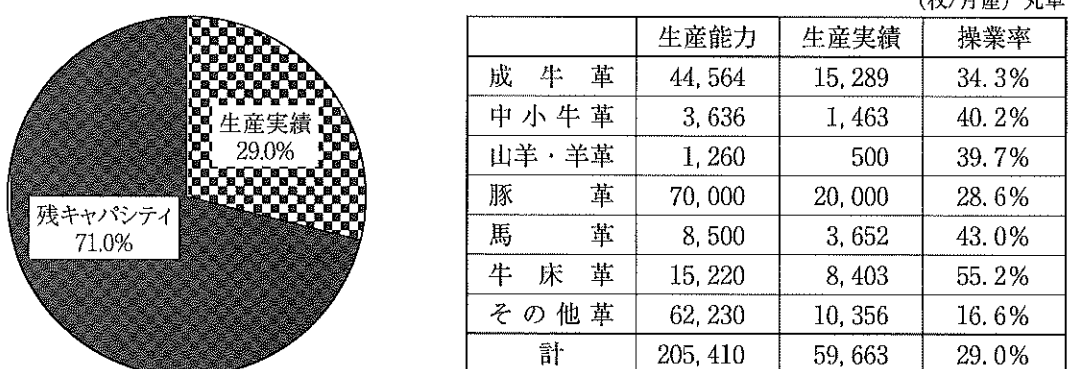
② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	41,503枚/月
仕向け先構成比	国内向け：67.4% 輸出：32.6%

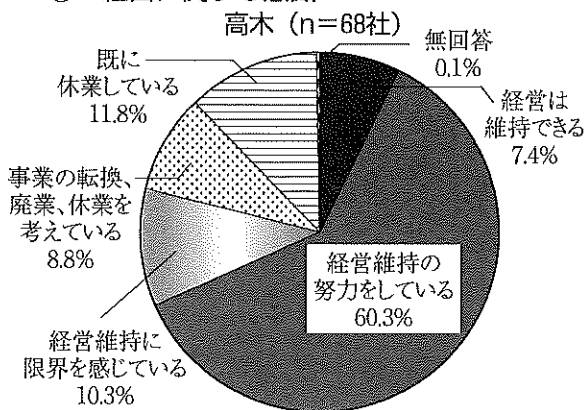


③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
 〈生産能力=205,410枚/月〉



④ 経営に関する意識



ホームページ所有率	29.0%
ネット販売・PR展開率	25.8%
SNS展開率	7.4%

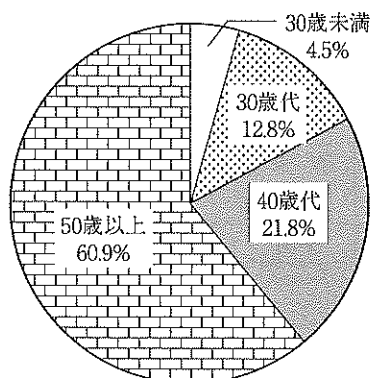
6. 地区別集計：⑤御着地区

① 製革業者データ

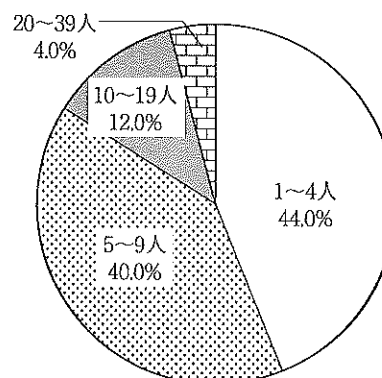
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	22社（前年比－3社）
従業者数/平均従業者数	133人（前年比：－3人）
性別構成	男性：96人 女性：37人
平均従業者数/1社	5.2人（前年比－0.2ポイント）

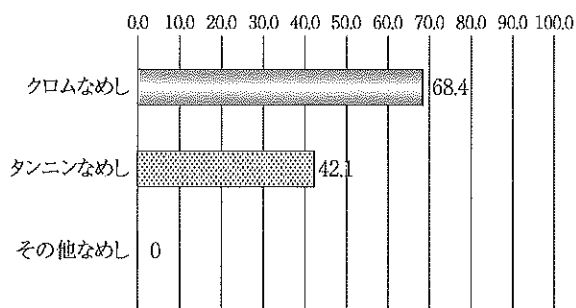
従業者年代別構成比



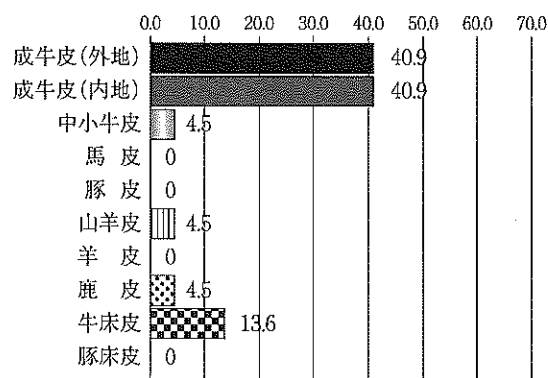
従業者数規模別構成比



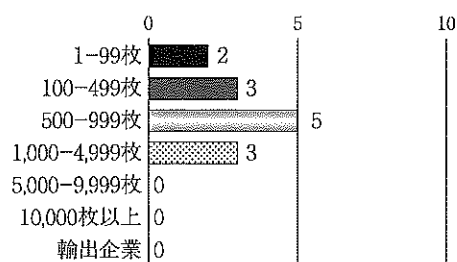
なめし区分比率 (n=19社) (%)



使用原皮 (n=22社) (%)



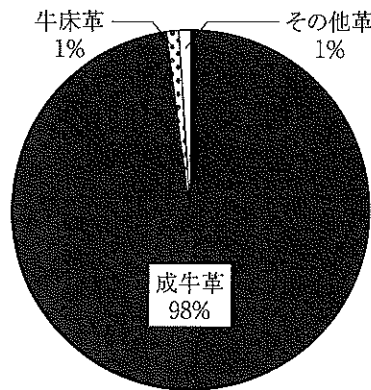
なめし革月産生産規模別企業数 (n=13社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	9,820枚/月
仕向け先構成比	国内向け：100% 輸出：0%

生産革種別構成比 n=9,820枚

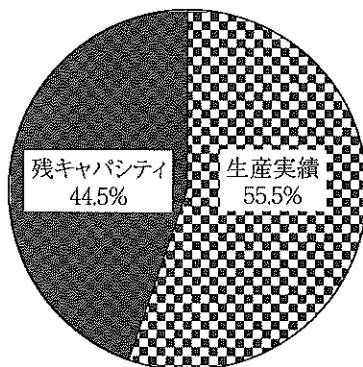


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	9,650	98.3%
中牛革	0	0.0%
小牛革	0	0.0%
馬革	0	0.0%
豚革	0	0.0%
山羊革	0	0.0%
羊革	0	0.0%
牛床革	100	1.0%
豚床革	0	0.0%
その他革	70	0.7%
計	9,820	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=19,346枚/月〉

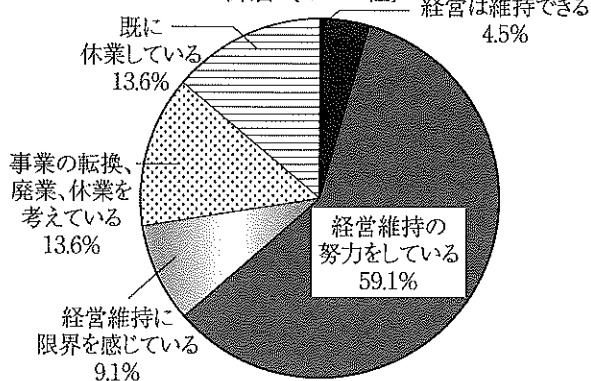


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	16,240	9,460	58.3%
中小牛革	2,106	1,053	50.0%
山羊・羊革	500	50	10.0%
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	200	100	50.0%
その他革	300	70	23.3%
計	19,346	10,733	55.5%

④ 経営に関する意識

御着 (n=22社)



ホームページ所有率	14.3%
ネット販売・PR展開率	9.5%
SNS展開率	0%

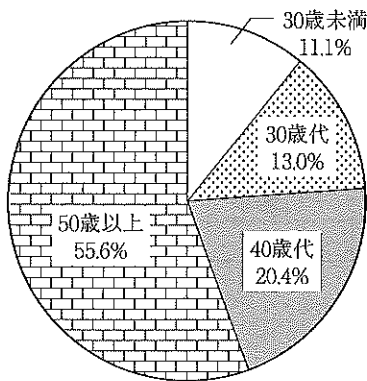
6. 地区別集計：⑥川西地区

① 製革業者データ

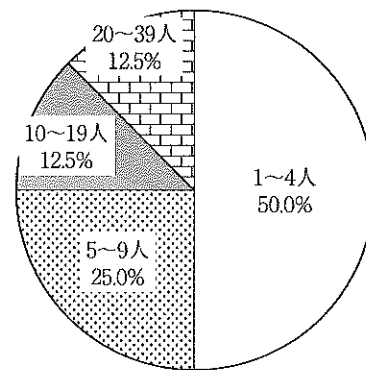
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	8社（前年比-2社）
従業者数/平均従業者数	54人（前年比：-11人）
性別構成	男性：38人 女性：16人
平均従業者数/1社	6.8人（前年比+0.3ポイント）

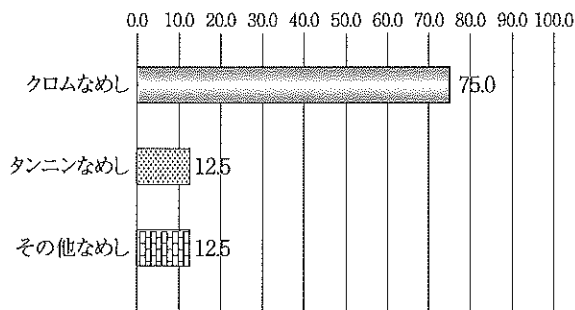
従業者年代別構成比



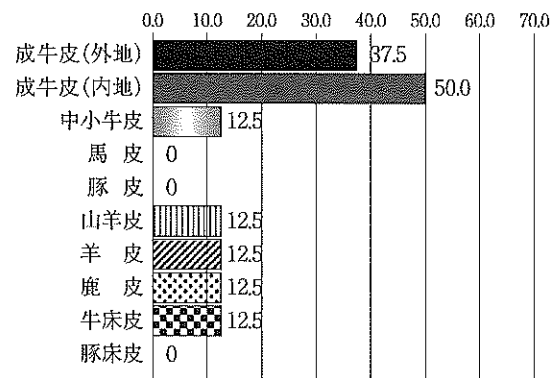
従業者数規模別構成比



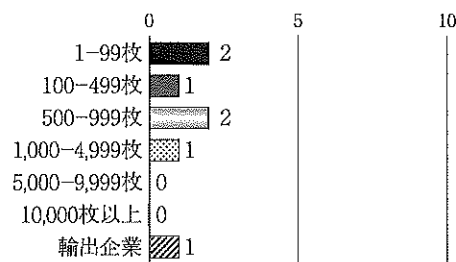
なめし区分比率 (n=8社) (%)



使用原皮 (n=8社) (%)



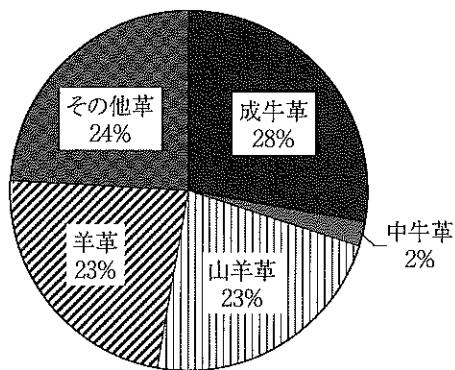
なめし革月産生産規模別企業数 (n=6社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	6,370枚/月
仕向け先構成比	国内向け：99.2% 輸出：0.8%

生産革種別構成比 n=6,370枚

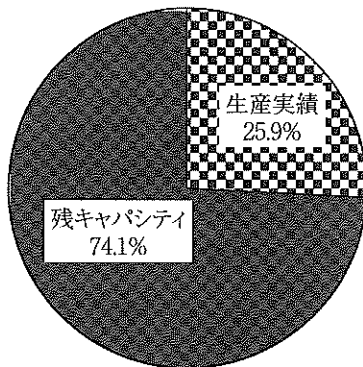


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	1,770	27.8%
中牛革	100	1.6%
小牛革	0	0.0%
馬革	0	0.0%
豚革	0	0.0%
山羊革	1,500	23.5%
羊革	1,500	23.5%
牛床革	0	0.0%
豚床革	0	0.0%
その他革	1,500	23.5%
計	6,370	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=24,230枚/月〉

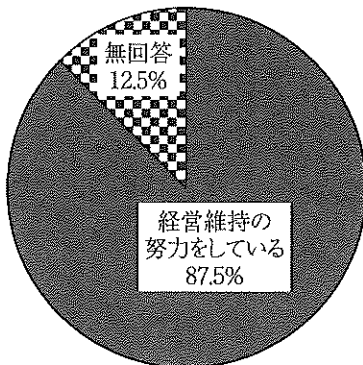


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	5,230	1,770	33.8%
中小牛革	0	0	-
山羊・羊革	15,000	3,000	20.0%
豚革	0	0	-
馬革	0	0	-
牛床革	0	0	-
その他革	4,000	1,500	37.5%
計	24,230	6,270	25.9%

④ 経営に関する意識

川西（n=8社）



ホームページ所有率	25.0%
ネット販売・PR展開率	0%
SNS展開率	0%

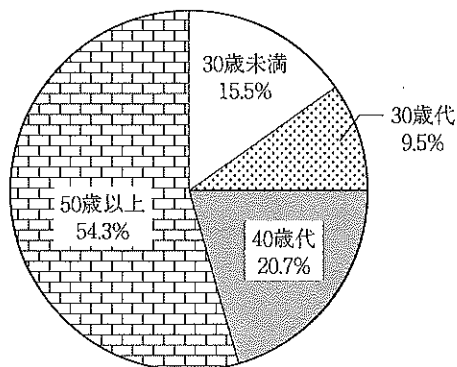
6. 地区別集計：⑦大阪他地区

① 製革業者データ

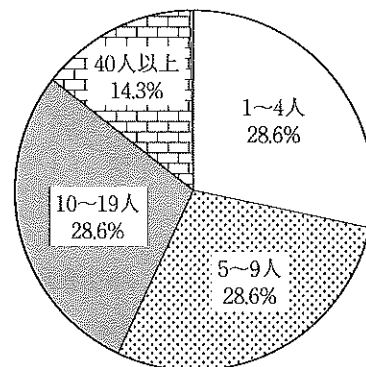
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	7社（前年比±0社）
従業者数/平均従業者数	116人（前年比：-19人）
性別構成	男性：91人 女性：25人
平均従業者数/1社	16.6人（前年比-2.7ポイント）

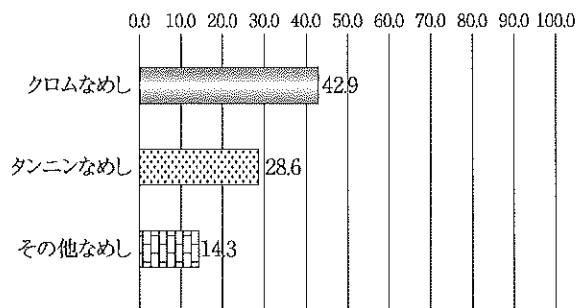
従業者年代別構成比



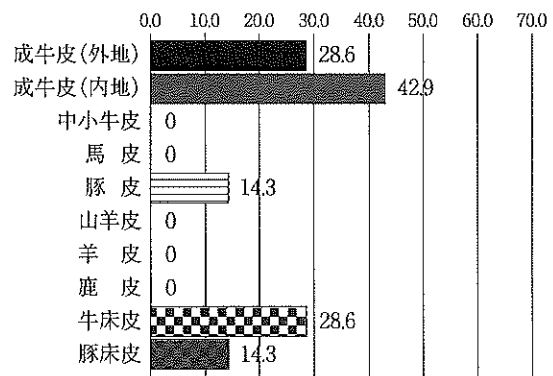
従業者数規模別構成比



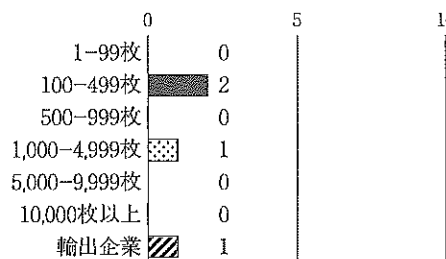
なめし区分比率（n=7社） (%)



使用原皮（n=7社） (%)



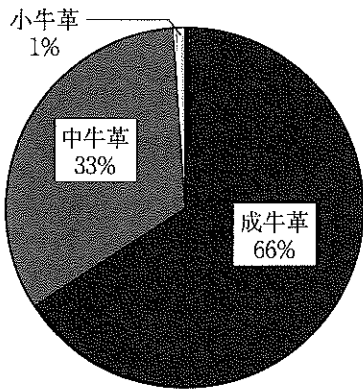
なめし革月産生産規模別企業数（n=3社） (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	4,480枚/月
仕向け先構成比	国内向け：96.9% 輸出：3.1%

生産革種別構成比 n=4,480枚

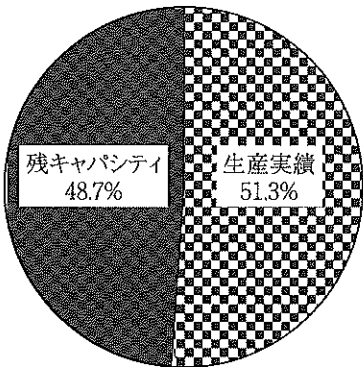


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	2,970	66.3%
中牛革	1,490	33.3%
小牛革	20	0.4%
馬革	0	0.0%
豚革	0	0.0%
山羊革	0	0.0%
羊革	0	0.0%
牛床革	0	0.0%
豚床革	0	0.0%
その他革	0	0.0%
計	4,480	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=8,790枚/月〉

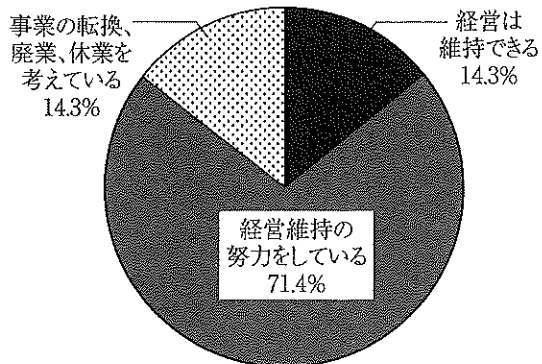


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	6,190	2,710	43.8%
中小牛革	2,600	1,800	43.8%
山羊・羊革	0	0	—
豚革	0	0	—
馬革	0	0	—
牛床革	0	0	—
その他革	0	0	—
計	8,790	4,510	51.3%

④ 経営に関する意識

大阪他（n=7社）



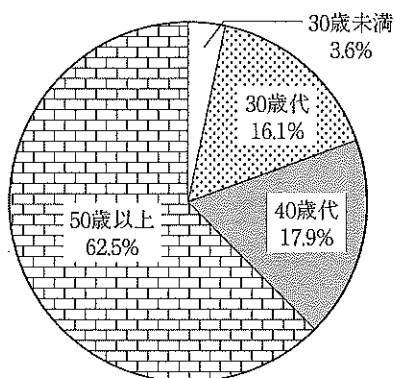
ホームページ所有率	80.0%
ネット販売・PR展開率	60.0%
SNS展開率	14.3%

6. 地区別集計：⑧和歌山地区

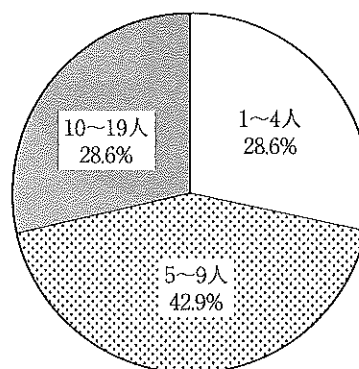
① 製革業者データ ※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	7社（前年比±0社）
従業者数/平均従業者数	56人（前年比：-1人）
性別構成	男性：46人 女性：10人
平均従業者数/1社	8.0人（前年比-0.1ポイント）

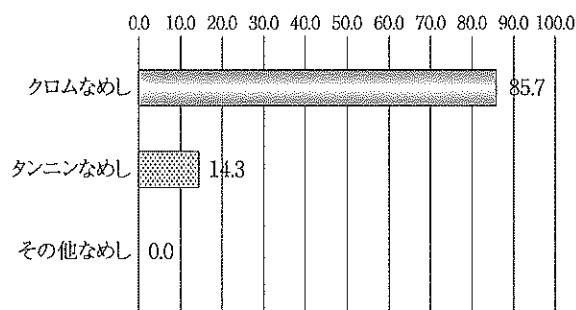
従業者年代別構成比



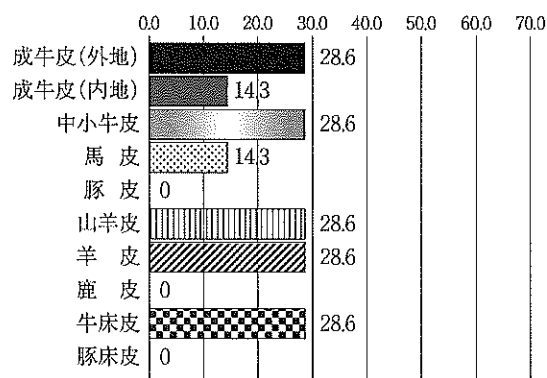
従業者数規模別構成比



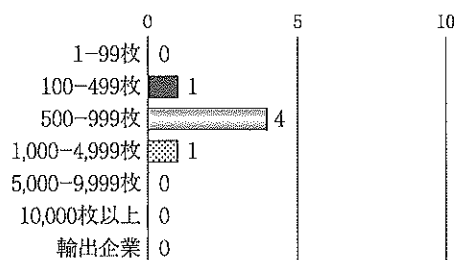
なめし区分比率 (n=7社) (%)



使用原皮 (n=7社) (%)



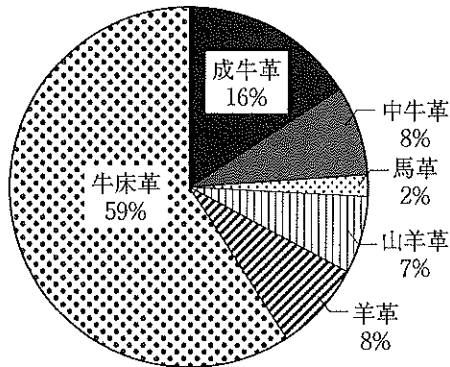
なめし革月産生産規模別企業数 (n=6社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	5,936枚/月
仕向け先構成比	国内向け：100% 輸出：0%

生産革種別構成比 n=5,936枚

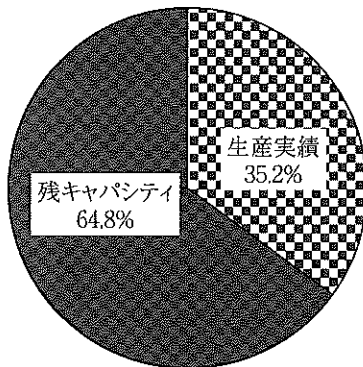


(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	940	15.8%
中牛革	480	8.1%
小牛革	0	0.0%
馬革	100	1.7%
豚革	0	0.0%
山羊革	400	6.7%
羊革	500	8.4%
牛床革	3,500	59.0%
豚床革	0	0.0%
その他革	16	0.3%
計	5,936	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=17,150枚/月〉

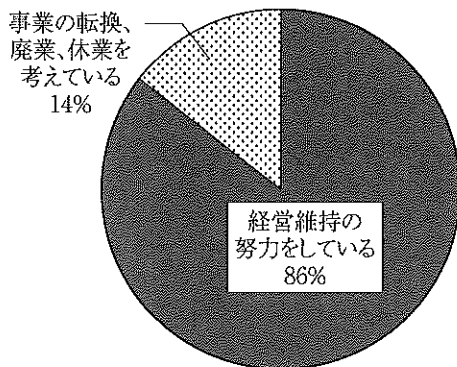


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	2,400	940	39.2%
中小牛革	4,650	480	10.3%
山羊・羊革	2,800	900	32.1%
豚革	0	0	-
馬革	500	200	40.0%
牛床革	6,000	3,500	58.3%
その他革	800	16	2.0%
計	17,150	6,036	35.2%

④ 経営に関する意識

和歌山 (n=7社)



ホームページ所有率	16.7%
ネット販売・PR展開率	0%
SNS展開率	0%

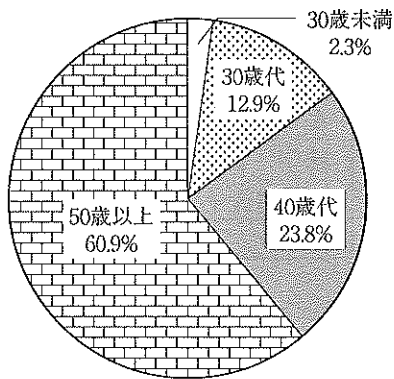
6. 地区別集計：⑨東京地区

① 製革業者データ

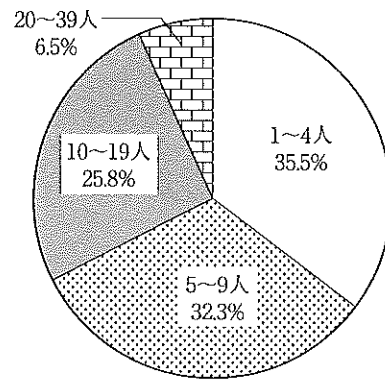
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	31社 (前年比-4社)
従業者数/平均従業者数	256人 (前年比:-13人)
性別構成	男性:204人 女性:52人
平均従業者数/1社	8.3人 (前年比+0.6ポイント)

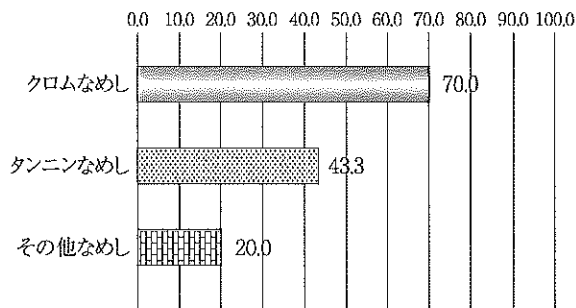
従業者年代別構成比



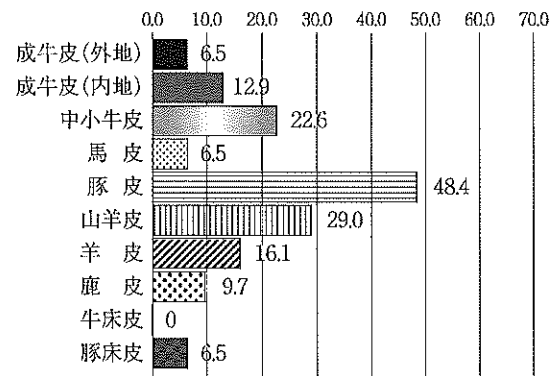
従業者数規模別構成比



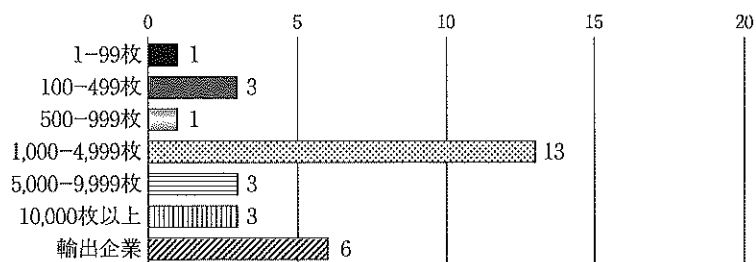
なめし区分比率 (n=30社) (%)



使用原皮 (n=31社) (%)

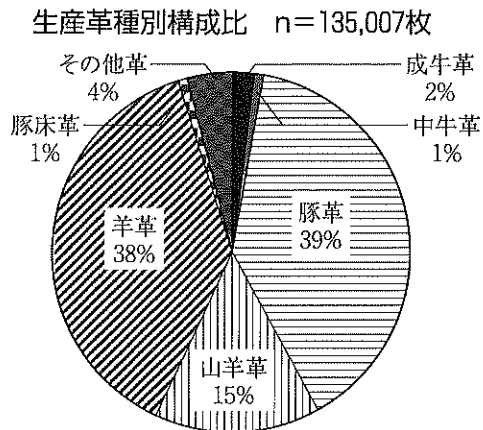


なめし革月産生産規模別企業数 (n=24社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	135,007枚/月
仕向け先構成比	国内向け：85.9% 輸出：14.1%



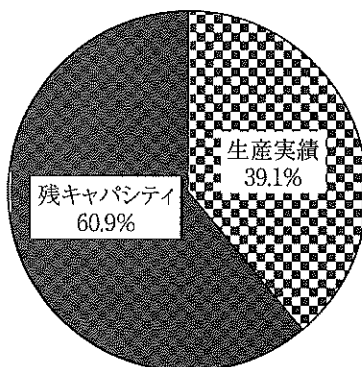
(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	1,948	1.4%
中牛革	1,475	1.1%
小牛革	67	0.0%
馬革	10	0.0%
豚革	52,828	39.1%
山羊革	20,759	15.4%
羊革	51,002	37.8%
牛床革	0	0.0%
豚床革	1,200	0.9%
その他革	5,718	4.2%
計	135,007	100.0%

③ 生産能力/生産実績

※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=217,305枚/月〉

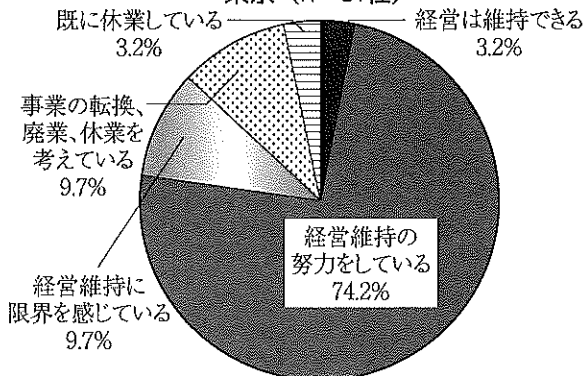


(枚/月産) 丸革

	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	3,320	1,928	58.1%
中小牛革	3,800	1,442	37.9%
山羊・羊革	72,750	22,360	30.7%
豚革	124,020	51,374	41.4%
馬革	15	10	66.7%
牛床革	2,500	1,200	48.0%
その他革	10,900	6,718	61.6%
計	217,305	85,032	39.1%

④ 経営に関する意識

東京 (n=31社)



ホームページ所有率	61.5%
ネット販売・PR展開率	44.0%
SNS展開率	3.2%

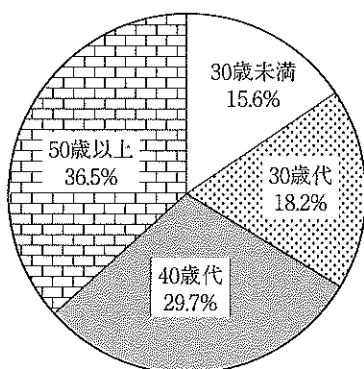
6. 地区別集計：⑩埼玉他地区

① 製革業者データ

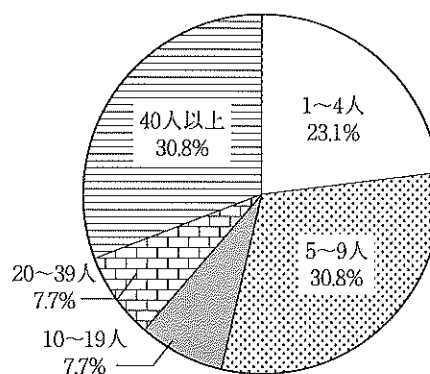
※データはいずれも令和4年度調査結果。n数は無回答を除く回答社数

企業数	13社 (前年比+1社)
従業者数/平均従業者数	683人 (前年比：+59人)
性別構成	男性：465人 女性：218人
平均従業者数/1社	52.5人 (前年比+0.5ポイント)

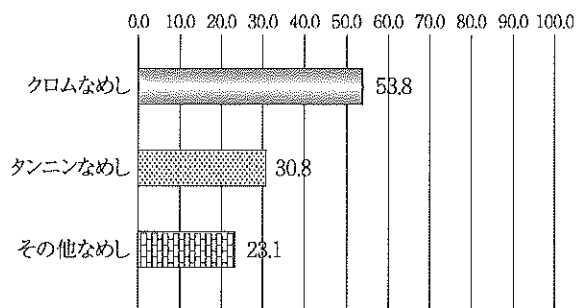
従業者年代別構成比



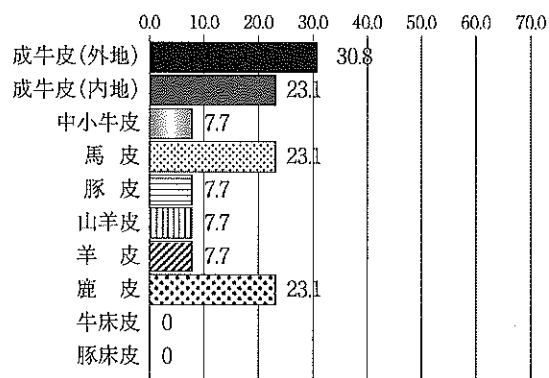
従業者数規模別構成比



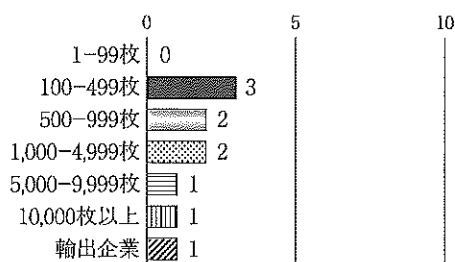
なめし区分比率 (n=13社) (%)



使用原皮 (n=13社) (%)

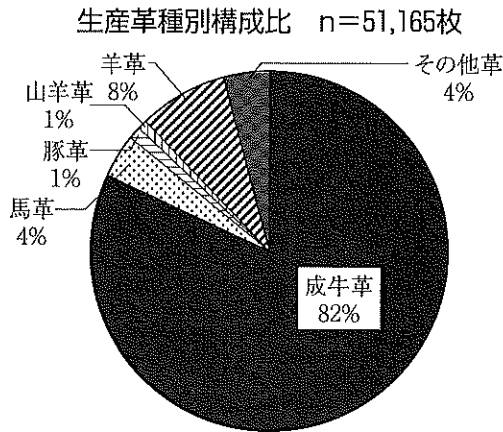


なめし革月産生産規模別企業数 (n=9社) (社)



② 生産販売データ

生産販売枚数（月産/丸革）	51,165枚/月
仕向け先構成比	国内向け：99.6% 輸出：0.4%



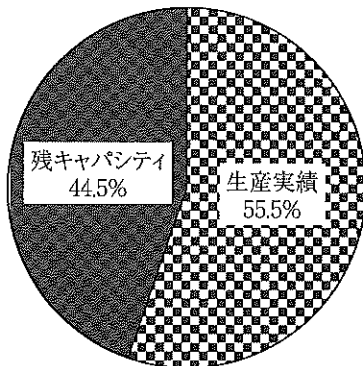
(枚/月産) 丸革

	販売枚数	構成比
成牛革	42,120	82.3%
中牛革	0	0.0%
小牛革	180	0.4%
馬革	1,925	3.8%
豚革	600	1.2%
山羊革	460	0.9%
羊革	3,860	7.5%
牛床革	0	0.0%
豚床革	0	0.0%
その他革	2,020	3.9%
計	51,165	100.0%

③ 生産能力/生産実績 ※生産実績は上記生産販売枚数とは異なる。

生産実績（令和4年）
〈生産能力=86,240枚/月〉

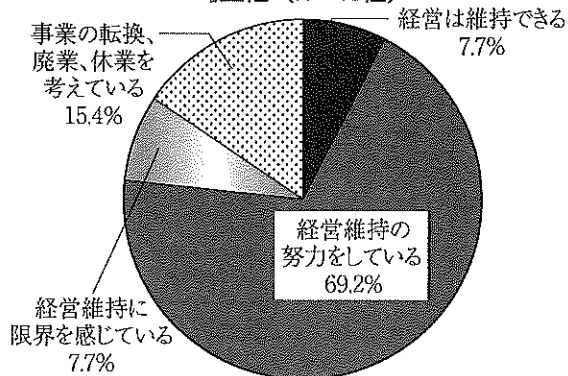
(枚/月産) 丸革



	生産能力	生産実績	操業率
成牛革	70,850	39,460	55.7%
中小牛革	400	180	45.0%
山羊・羊革	7,500	4,320	57.6%
豚革	1,500	460	30.7%
馬革	2,850	2,000	70.2%
牛床革	0	0	-
その他革	3,140	1,420	45.2%
計	86,240	47,840	55.5%

④ 経営に関する意識

埼玉他 (n=13社)



ホームページ所有率	61.5%
ネット販売・PR展開率	38.5%
SNS展開率	15.4%

7. 卷末資料

表7-1. 生産販売実績

成牛革

(枚) 月産/丸革

用途	地区		松原		誉田		沢田		高木		御着		川西		大阪他		和歌山		東京		埼玉他			
	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用		
靴	紳士靴	1,088	560	300	3,331	1,100	140	100	1,260	140	100													
	婦人靴	3,350	1,600	50	2,312	700	800	700	180														10	
	安全・官需靴		50	350	700																			
	スポーツ靴				382																			
	その他の靴				50				100															
	靴裏		200		10		500																	
	靴底						140		20															
	ランドセル	180	345		11																		2,950	
	かばん	3,088	1,937	500	1,045	950	400	100	245														1,875	
	ハンドバッグ	5,037	1,273	1,000	1,470	60	210	16	45														35	
小物	小物	4,524	100	665	2,665	383	150	24	410														1,000	
	服飾ベルト	407	100		55				85														22	
	服飾料	776	460	150	220	35	60	20															50	
	服飾手袋	300		50			100																	
	草履		10																					
	草履底																							
	グローブ	5,450	700	150	190	2,020	470	30	120														1,000	
	手芸工芸				4		455																	114
	家具、インテリア	600	250		345	50	365																	118
	その他	カーシート				5																		31,400
工業手袋等安全具		84	65	2,050																			200	
伝導ベルトサドル																								
パッキング等工業用																								
ウエットブロー																								
その他			150		7																		100	
合計		24,884	800	8,245	0	4,650	0	12,802	2,513	9,650	0	1,720	50	2,830	140	940	0	1,948	0	41,920	200			

表7-1. 生産販売実績

中小牛革

(枚) 月産/丸革

用途	地区 需要先	松原		菅田		沢田		高木		御着		川西		大阪他		和歌山		東京		埼玉		他
		国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用			
靴	紳士靴	500						849						1,100								
	婦人靴							121						270	280			525				
	安全・官需靴																					
	スポーツ靴																					
	その他の靴																					
	靴																					
	靴																					
	ランドセル												50									
	かばん								65						40							
	ハンドバッグ																					
服飾用品	小物							546						100	200			250	500		180	
	服飾ベルト							3				50						50				
	衣料							200														
	服飾手袋							10														
	草履																					
	草履底																					
	グローブミット等運動具用	350																				
	手芸工芸用																					
	家具、インテリア用																					
	その他用	カーシート用																				
工業手袋等安全具用																						
伝導ベルトサドル																						
パッキング等工業用																						
ウエットブロー																						
その他							19															
合計	850	0	650	0	0	0	0	1,813	0	0	0	100	0	1,510	480	0	1,042	500	180	0	0	

表7-1. 生産販売実績

豚 革

(枚) 月産/丸革

用途	地区		松	原	菅	田	沢	田	高	木	御	着	川		西	大	阪	他	和	歌	山	東	京	埼	玉	他	
	国内用	輸出用											国内用	輸出用													国内用
靴	紳士靴	甲用																				4,750					
	婦人靴	甲用																				1,500					
	安全・官需靴	甲用																									
	スポーツ靴	甲用																									
靴	その他の靴	甲用																									
	靴	裏用																				12,560		600			
靴袋物用	ランドセル	用																				40					
	かばん	用																				410	100				
	ハンドバッグ	用																				4,366	200				
	小物	用																				10,295					
服飾用	服飾ベルト	用																				70					
	衣料	用																				550					
その他用	服飾手袋	用																									
	草履	用																									
	草履底	用																									
	グローブミット等運動具	用																									
	手芸工芸	用																				880					
	家具、インテリア	用																									
	カーシート	用																									
	工業手袋等安全具	用																									
	伝導ベルトサドル	用																									
	パッキング等工業用	ウエットブル	用																								
その他の	用																										
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,121	16,700	600	0	0	

表7-1. 生産販売実績

牛床草

(枚) 月産/丸革

用途	地区		松原		菅田		沢田		高木		御着		川西		大阪他		和歌山		東京		埼玉他	
	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用	国内用	輸出用
靴	紳士靴	甲用							1,500								650					
	婦人靴	甲用															600					
	安全・官需靴	甲用							2,800													
	スポーツ靴	甲用							1,700													
	その他の靴	甲用							500													
	靴	袈	用						500													
	靴	底	用														50					
	ランドセル	用														1,000						
	かばん	用														200						
	ハンドバッグ	用															200					
小物	用																800					
服飾	ベルト	用						400														
衣服	料	用							1,000													
服飾	手袋	用																				
草履	履	用																				
草履	底	用																				
その他	グローブ	ミット等運動具	300					900	3													
	手芸	工芸	用																			
	家具、インテリア	用																				
	カーシート	用																				
	工業手袋	等安全具	用	1,500							100											
	伝導	ベルトサドル	用					2,300														
	パッキング	等工業用	用					1,100														
	ウエット	ブーツ	用																			
	その他		用	17,100																		
	合計			18,900	0	1,000	0	3,400	900	7,403	1,000	100	0	0	0	0	3,500	0	0	0	0	0

表7-2. 生産実績内訳

生産実績内訳①

(枚) 丸革/月産

種類 地区	成牛革									合計 枚数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	
松原	21,816	1,800	1,650	1,900			50			27,216
誉田	4,295	3,500	300	805						8,900
沢田	3,900	500		200			50			4,650
高木	6,640	5,447	700	260	60		1,782		400	15,289
御着	2,465	6,100		895						9,460
川西	1,240	400		100			30			1,770
大阪他	2,220			490						2,710
和歌山			940							940
関西計	42,576	17,747	3,590	4,650	60	0	1,912	0	400	70,935
東京			35	100		673	1,120			1,928
埼玉他		7,460	29,500	2,400			100			39,460
関東計	0	7,460	29,535	2,500	0	673	1,220	0	0	41,388
全国計	42,576	25,207	33,125	7,150	60	673	3,132	0	400	112,323

(枚) 丸革/月産

種類 地区	中牛革									合計 枚数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	
松原	800									800
誉田	650									650
沢田										0
高木		280	100	20			10			410
御着										0
川西										0
大阪他	1,000									1,000
和歌山			480							480
関西計	2,450	280	580	20	0	0	10	0	0	3,340
東京			500			875				1,375
埼玉他										0
関東計	0	0	500	0	0	875	0	0	0	1,375
全国計	2,450	280	1,080	20	0	875	10	0	0	4,715

(枚) 丸革/月産

種類 地区	小牛革									合計 枚数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	原皮から	ウエトブルから	クラストから	
松原		150								150
誉田										0
沢田										0
高木		853		100			100			1,053
御着										0
川西										0
大阪他	800									800
和歌山										0
関西計	800	1,003	0	100	0	0	100	0	0	2,003
東京	63	4								67
埼玉他		180								180
関東計	63	184	0	0	0	0	0	0	0	247
全国計	863	1,187	0	100	0	0	100	0	0	2,250

生産実績内訳②

(枚) 丸革/月産

地区	種類	豚 革									合 計 枚 数
		クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
		原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	
松原							1,000				1,000
誉田											0
沢田											0
高木	20,000										20,000
御着											0
川西											0
大阪他											0
和歌山											0
関西計	20,000	0	0	0	0	0	1,000	0	0		21,000
東京	23,630		1,500	19,378		16	6,850				51,374
埼玉他				600							600
関東計	23,630	0	1,500	19,978	0	16	6,850	0	0		51,974
全国計	43,630	0	1,500	19,978	0	16	7,850	0	0		72,974

(枚) 丸革/月産

地区	種類	山 羊 革									合 計 枚 数
		クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
		原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	
松原											0
誉田											0
沢田											0
高木			200								200
御着											0
川西	1,500										1,500
大阪他											0
和歌山			400								400
関西計	1,500	0	600	0	0	0	0	0	0		2,100
東京			6,516			693			3,000		10,209
埼玉他			460								460
関東計	0	0	6,976	0	0	693	0	0	3,000		10,669
全国計	1,500	0	7,576	0	0	693	0	0	3,000		12,769

(枚) 丸革/月産

地区	種類	羊 革									合 計 枚 数
		クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
		原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	原皮から	ウェアブルーから	クラストから	
松原											0
誉田											0
沢田											0
高木			300								300
御着			50								50
川西	1,500										1,500
大阪他											0
和歌山		500									500
関西計	1,500	500	350	0	0	0	0	0	0		2,350
東京		458	10,000			693		1,000			12,151
埼玉他		3,860									3,860
関東計	0	4,318	10,000	0	0	693	0	1,000	0		16,011
全国計	1,500	4,818	10,350	0	0	693	0	1,000	0		18,361

生産実績内訳③

(枚) 丸革/月産

地区	馬 革									合 計 枚 数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	
松原										0
誉田										0
沢田										0
高木	2,167	50	135	1,300						3,652
御着										0
川西										0
大阪他										0
和歌山				200						200
関西計	2,167	50	135	1,500	0	0	0	0	0	3,852
東京							10			10
埼玉他				1,000		900	100			2,000
関東計	0	0	0	1,000	0	900	110	0	0	2,010
全国計	2,167	50	135	2,500	0	900	110	0	0	5,862

(枚) 丸革/月産

地区	牛 床 革									合 計 枚 数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	
松原	1,800						17,100			18,900
誉田		1,000								1,000
沢田	1,700							1,700	900	4,300
高木	6,700	1,700					3			8,403
御着		100								100
川西										0
大阪他										0
和歌山		3,500								3,500
関西計	10,200	6,300	0	0	0	0	17,103	1,700	900	36,203
東京		1,200								1,200
埼玉他										0
関東計	0	1,200	0	0	0	0	0	0	0	1,200
全国計	10,200	7,500	0	0	0	0	17,103	1,700	900	37,403

(枚) 丸革/月産

地区	豚 床 革									合 計 枚 数
	クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他			
	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	原皮から	ウェアブルから	クラストから	
松原										0
誉田										0
沢田										0
高木	10,000									10,000
御着										0
川西										0
大阪他										0
和歌山										0
関西計	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
東京	1,200									1,200
埼玉他										0
関東計	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	1,200
全国計	11,200	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200

生産実績内訳④

(枚) 丸革/月産

地区	種類	その他 革								
		クロムなめし			タンニンなめし			染革・その他		合計
			計		計		計	枚数		
松原					350			150	500	
誉田									0	
沢田			100						100	
高木			20		66			270	356	
御着			20		50				70	
川西			1,500						1,500	
大阪他									0	
和歌山			16						16	
関西計	0	0	1,656	0	0	466	0	0	420	2,542
東京			4,518			1,000				5,518
埼玉他			1,320						100	1,420
関東計	0	0	5,838	0	0	1,000	0	0	100	6,938
全国計	0	0	7,494	0	0	1,466	0	0	520	9,480

表7-3. なめし革輸入統計 (HSコード: 41.04~41.13の集計)

※数量 (㎡) は判明分のみを集計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
統計	数量(㎡)	2,547,759	3,044,152	3,664,373	2,261,465	2,060,329
	数量(kg)	3,261,703	3,758,856	5,149,565	2,955,647	2,795,842
	金額(1,000円)	9,250,576	9,851,395	7,209,362	7,612,157	8,483,486
中華人民共和国	数量(㎡)	1,104,500	849,078	39,997	573,012	572,045
	数量(kg)	1,321,608	821,468	58,914	580,410	555,393
	金額(1,000円)	3,688,656	3,356,837	249,312	2,170,560	2,352,822
香港	数量(㎡)	193,956	162,366	46	130,586	132,820
	数量(kg)	288,687	196,700	79	100,685	105,083
	金額(1,000円)	1,025,747	892,583	1,213	607,911	619,449
ベトナム	数量(㎡)	384,131	435,922	6,118	625,911	506,129
	数量(kg)	348,516	445,623	5,293	676,353	681,664
	金額(1,000円)	1,642,644	2,055,512	10,524	1,693,640	2,151,711
タイ	数量(㎡)	145,228	201,867	218,577	186,097	170,465
	数量(kg)	207,124	201,813	565,817	162,093	166,881
	金額(1,000円)	726,419	1,043,868	388,941	861,815	691,437
フィリピン	数量(㎡)	133,405	168,298	51	203,364	240,660
	数量(kg)	168,792	212,328	20	300,490	348,271
	金額(1,000円)	685,935	876,608	214	1,171,152	1,536,236
バングラディシュ	数量(㎡)	15,792	3,579	243,038	12,330	18,404
	数量(kg)	15,009	3,196	216,966	11,655	18,382
	金額(1,000円)	53,164	18,240	579,035	52,935	99,673
カンボジア	数量(㎡)	95,201	82,713	-	56,050	46,560
	数量(kg)	79,423	68,833	213	47,420	40,677
	金額(1,000円)	575,023	517,045	1,092	355,264	322,278
インドネシア	数量(㎡)	70,349	59,726	51,907	30,938	41,790
	数量(kg)	68,115	54,375	17,881	43,942	34,578
	金額(1,000円)	199,371	193,683	116,420	101,041	158,804
イギリス	数量(㎡)	1,932	1,138	36,058	2,751	1,871
	数量(kg)	1,101	1,272	108,009	1,989	1,121
	金額(1,000円)	9,101	10,438	148,516	16,001	14,320
フランス	数量(㎡)	1,392	944	24,451	160	190
	数量(kg)	1,010	883	24,910	162	230
	金額(1,000円)	47,567	46,375	259,022	9,344	12,317
ドイツ	数量(㎡)	1,401	739	41,624	819	502
	数量(kg)	418	237	123,846	219	180
	金額(1,000円)	5,956	2,923	96,206	3,559	2,561
イタリア	数量(㎡)	448	1,295	363,855	127	741
	数量(kg)	557	1,273	539,161	60	206
	金額(1,000円)	4,191	6,193	1,879,312	617	3,798
アメリカ	数量(㎡)	2,151	3,496	62,201	2,569	6,529
	数量(kg)	2,373	3,246	184,056	1,845	3,905
	金額(1,000円)	26,573	28,645	245,639	17,101	27,482
オーストラリア	数量(㎡)	5,171	3,428	202,146	618	583
	数量(kg)	4,900	3,512	521,464	301	208
	金額(1,000円)	11,322	9,586	228,372	2,067	2,543

■革種別集計

※「その他革」の数量（㎡）は判明分のみ集計

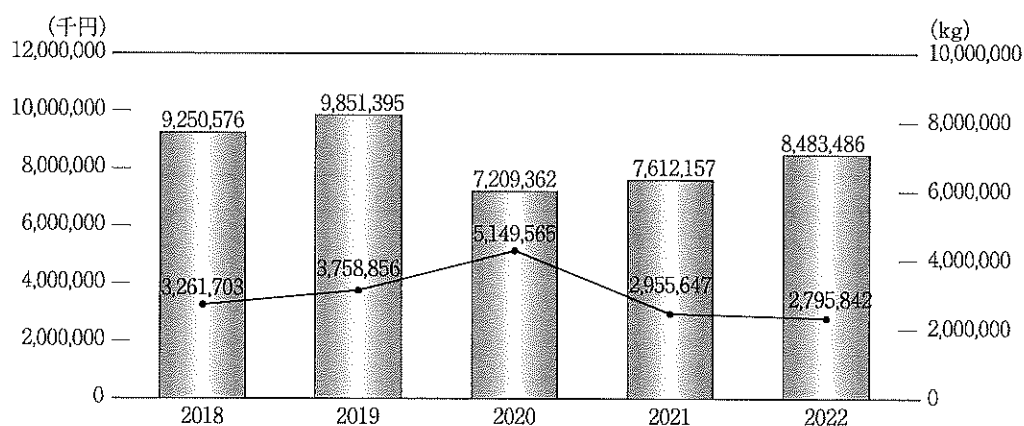
	単位	2018	2019	2020	2021	2022
牛・馬革 41.04、41.07	数量(㎡)	2,075,189	2,197,934	3,361,332	1,638,787	1,706,254
	数量(kg)	2,300,980	2,287,578	4,904,701	1,987,599	1,966,495
	金額(1,000円)	8,343,936	8,879,325	6,019,943	6,968,861	7,857,501
羊革 41.05、41.12	数量(㎡)	27,925	34,694	178,231	20,804	26,034
	数量(kg)	11,780	16,654	123,070	8,004	9,948
	金額(1,000円)	161,368	162,005	400,110	119,118	169,363
その他革 41.06、41.13	数量(㎡)	444,645	811,524	124,810	601,874	328,041
	数量(kg)	948,943	1,454,624	121,794	960,044	819,399
	金額(1,000円)	745,272	810,065	789,309	524,178	456,622

■地域別集計

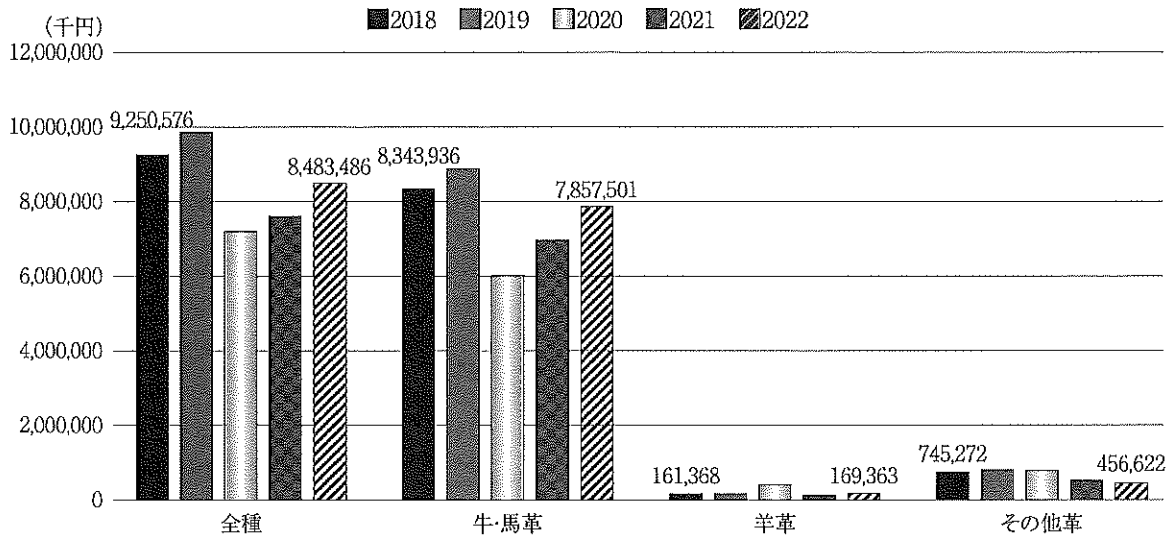
※数量（㎡）は判明分のみ集計

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
東アジア	数量(㎡)	1,540,017	1,802,532	97,295	1,091,633	951,517
	数量(kg)	2,132,003	2,469,729	139,672	1,670,398	1,347,198
	金額(1,000円)	5,024,534	4,796,587	389,850	3,175,454	3,285,182
東南アジア	数量(㎡)	870,549	1,017,516	276,653	1,102,521	1,013,400
	数量(kg)	953,273	1,093,476	589,609	1,230,538	1,292,822
	金額(1,000円)	3,843,748	4,704,822	539,985	4,185,169	4,862,750
西アジア	数量(㎡)	102,582	196,790	442,672	54,613	74,006
	数量(kg)	138,880	167,348	374,845	46,928	137,624
	金額(1,000円)	253,781	206,783	940,481	190,340	257,786
欧州	数量(㎡)	19,378	14,553	640,031	4,481	9,282
	数量(kg)	25,729	17,623	1,050,612	2,711	10,413
	金額(1,000円)	78,021	90,083	2,976,891	34,865	40,382
北アメリカ	数量(㎡)	9,948	9,333	1,896,297	7,599	9,231
	数量(kg)	6,819	7,168	2,230,908	4,771	5,570
	金額(1,000円)	38,614	43,534	1,879,203	24,262	33,991
オセアニア	数量(㎡)	5,171	3,428	202,146	618	583
	数量(kg)	4,900	3,512	521,464	301	208
	金額(1,000円)	11,322	9,586	228,372	2,067	2,543

なめし革輸入金額・数量推移（全世界）

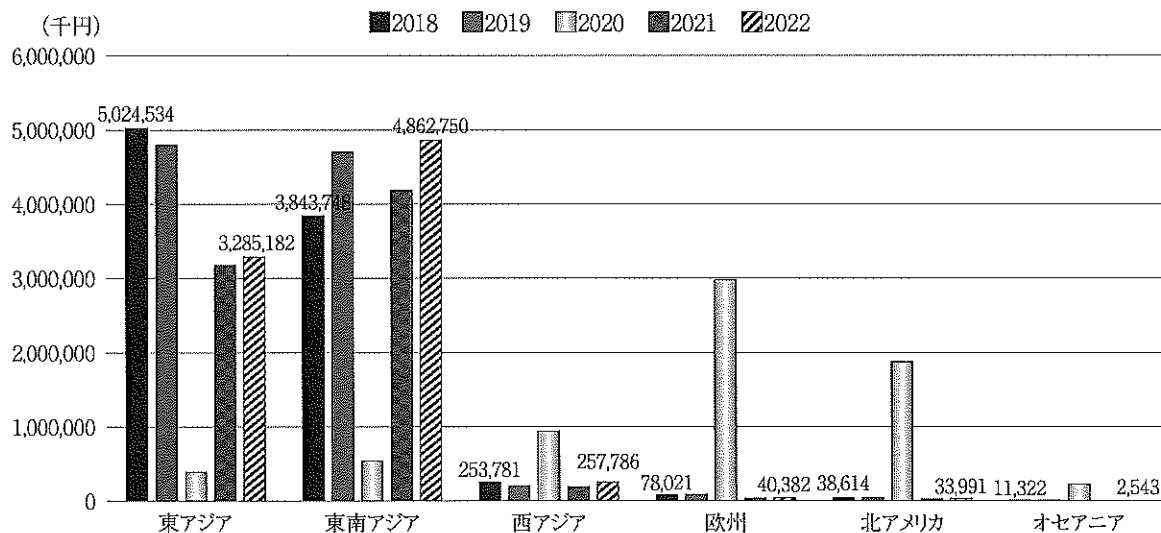


革種別なめし革輸入金額推移



	2018	2019	2020	2021	2022
全種	9,250,576	9,851,395	7,209,362	7,612,157	8,483,486
牛・馬革	8,343,936	8,879,325	6,019,943	6,968,861	7,857,501
羊革	161,368	162,005	400,110	119,118	169,363
その他革	745,272	810,065	789,309	524,178	456,622

地域別なめし革輸入金額推移



	2018	2019	2020	2021	2022
東アジア	5,024,534	4,796,587	389,850	3,175,454	3,285,182
東南アジア	3,843,748	4,704,822	539,985	4,185,169	4,862,750
西アジア	253,781	206,783	940,481	190,340	257,786
欧州	78,021	90,083	2,976,891	34,865	40,382
北アメリカ	38,614	43,534	1,879,203	24,262	33,991
オセアニア	11,322	9,586	228,372	2,067	2,543